

福島県の土木行政の歩み

《土木部創設70年記念》



あぶくま高原自動車道路

平成21年8月

福島県建設技術協会



「福島県の土木行政の歩み」発行にあたって

福島県建設技術協会会長

小柳秀一

会員の皆さんには、日頃より本会の運営にご尽力を賜り心より御礼を申し上げます。

さて、この度「福島県の土木行政の歩み」を作成しましたが、本県における土木行政の幕開けは、昭和14年の福島県庁に土木部が設置された時に始まります。

それから70年、土木行政を取り巻く環境は大きく変化しておりますが、私どもは県民の安全・安心を守るためにも、着実に社会資本の整備を進め、少子・高齢社会に対応した生活の基盤を次の世代に引き継いで行かねばなりません。

今年70年目を迎えた土木部においては、平成9年度の約2340億円をピークに急激な右肩下がりとなっています。また、県予算に占める割合も平成6年度の25.6%から13%台へと半減の状況です。

このような状況にあっても、地域の方々からは、道路や河川等の生活基盤、社会資本整備の要望が最も多く寄せられています。

さらには、生活の安全を確保するためには、これら施設の日頃の維持管理に加え、老朽化した施設の更新も必要です。

これは県だけに限らず、県を含むすべての地方自治体の課題ではないのでしょうか。今、正に我々土木行政に携わっている職員には、知恵と工夫が求められています。

20世紀は建設の時代でしたが、21世紀は管理の時代です。

21世紀も1/10が経ってしまいましたが、この節目の年に先達の仕事を、平成の時代を振り返り、次の時代に一里塚として残して置きたいと思っています。

土木部創設50年には「福島県土木史」が刊行されましたが、本県における土木行政の辞典として今も多くの人に活用されています。

本誌も今後の業務の中で、多くの会員皆さんの役に立てて頂ければ幸いです。

平成21年8月

目 次

「福島県の土木行政の歩み」発行にあたって 福島県建設技術協会長 小柳 秀一

第一章 土木部の組織

1 福島県の成り立ち	1
2 明治時代の組織	2
3 大正時代の組織	4
4 昭和時代前半の組織	5
5 昭和時代後半の組織	8
6 平成の組織の変遷	10
7 庁舎の移り変わり	
・目で見える県庁舎の歴史	13
・目で見える土木事務所の歴史	16

第二章 土木部の事業

1 予算及び職員数	31
2 土木総務・企画技術領域	《年譜と目で見える主要事業》 37
3 道 路 領 域	《年譜と目で見える主要事業》 41
4 河川港湾領域	《年譜と目で見える主要事業》 51
・河 川	
・海 岸	
・砂 防	
・ダ ム	
・港 湾	
・漁 港	
5 都 市 領 域	《年譜と目で見える主要事業》 64
・都市計画	
・元気ふくしま	
・区画整理	
・市街地再開発	
・まちづくり	
・街 路	
・都市公園	
・下水道	
・空 港	
6 建 築 領 域	《年譜と目で見える主要事業》 83
・住宅企画	
・建築指導	
・営 繕	
7 災 害	《年譜と目で見える被災現場》 87

第三章 関係機関の事業

1 企 業 局	92
2 公 社 等	
・福島県住宅供給公社	93
・福島県道路公社	94
・福島県下水道公社	96

第四章 市町村の事業

1 市町村合併の歴史 《年譜》	99
2 市町村事業 《目で見る主要事業》	102

第五章 目で見る土木

1 土木の現場	113
2 平成の全建賞受賞事業	118

《資料》

土木部本庁の組織の変遷	124
-------------------	-----

出先機関等の組織の変遷	130
-------------------	-----

出典一覧	142
------------	-----

あ と が き	145
編 集 後 記	146
発行までの足跡	147

会津鶴ヶ城 会津若松市
矢玉の痕が生々しい戊辰戦争直後
(明治初期)



国道121号 南会津町
宿場町田島の中心市街地の街並み
(明治初期)



第一章 土木部の組織

1 福島県の成り立ち

慶応4年の戊辰戦争直前の福島県は、11藩と14藩の飛領さらに徳川幕府の天領から成っていた。9月22日の会津藩降伏によって本県における戊辰戦争は終結、官軍に反抗した諸藩は、官軍の雄藩にお預けとなり統治された。

各地域には統治した藩の「取締所」あるいは「支配所」が設置されたが、まもなく「民政局」と改称された。

明治2年、「府県施政順序」が制定され、「民政局」政治に終止符。「若松県」「福島県」「白河県」が設置され、平民政局統治下の諸藩はもとの平藩、泉藩、湯長谷藩に戻った。

明治2年6月の「版籍奉還」により中央集権を加速させた政府は、明治4年7月14日「廃藩置県」を断行し、東京・大阪・京都の3府302県が誕生した。

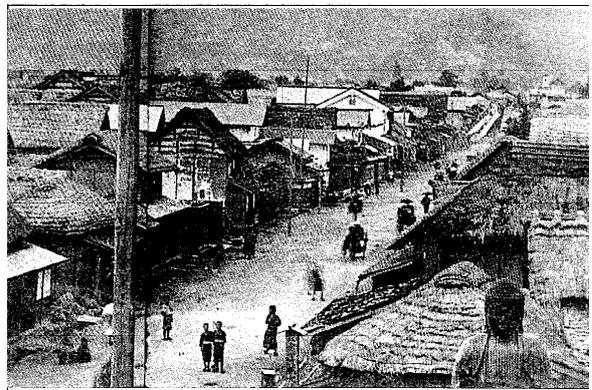
なお、本県では福島、白河、若松、二本松、棚倉、中村、三春、平、湯長谷、泉の10県。

その後、府県の統廃合が進み、11月には二本松、若松、平の3県に統合され、二本松県は「福島県」と、平県は「磐前県」と改称された。

さらに明治9年8月21日、3県が統合され『福島県』が成立した。



初期の福島県庁(明治13年完成)

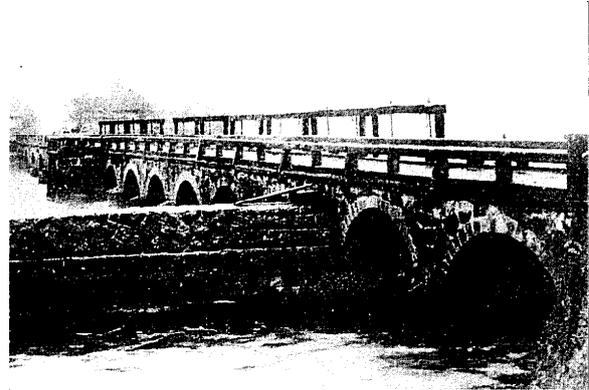


七日町 会津若松市
越後街道の出入り口の七日町通りの町並み
今はない阿弥陀寺の大仏像が見える
(明治初期)

隈畔(阿武隈川) 福島市
左手は板倉神社、右の建物は福島女子師範学校
(明治中期)



十六橋水門 猪苗代町・会津若松市
国営灌漑事業として取り組んだ安積疏水
明治13年10月に完成した水門
(明治15年頃)



2 明治時代の組織

明治時代の福島県庁行政機構は、「府県職制並事務章程」(明治8年1月制定)により、6課とされた。

第1課(庶務)、第2課(勸業)、第3課(租税)
第4課(警保)、第5課(学務)、第6課(出納)

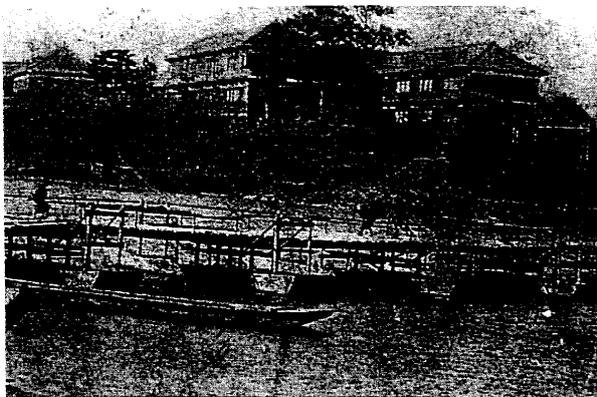
さらに、明治11年10月には8課体制に改編、初めて土木関係の課が設置された。

庶務課、勸業課、租税課、警保課、学務課、出納課、地理課、土木課

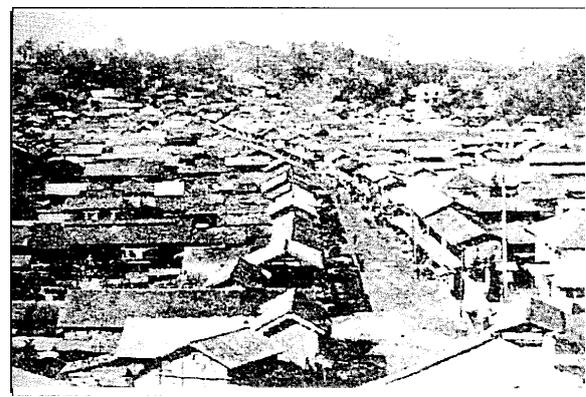
また、明治18年には万世大路に「道路工夫」が配置され、道路修繕に従事したのが土木部の出先機関設置の始まりである。

明治19年8月20日、「地方官官制」(福島県告示第15号)を制定、「福島県庁処務細則」を定めた。

第1部	議事課	文書課	農商課	処務課		
第2部	<u>土木課</u>	兵事課	学務課	監獄課	衛生課	会計課
収税部	賦税課	徴税課	徴税費課	検税課		
警察本部	内事課	警務課	保安課	主計課		



松齢橋 福島市
信夫の渡しに架けられた15艘の舟を使った舟橋
橋名は三島通庸の命名、明治15年架設
(明治30年頃)



三春の町並み 三春町
大町から荒町方面の風景
(明治37年)

伊達橋 伊達市
完成式の様子、木橋であるが地域の人々にとって交流、物流等に大きな期待があった
(明治39年7月)



湯川 会津若松市
会津の奥座敷「東山温泉」を流れ、兩岸の温泉宿は今も変わらない
(明治40年頃)



道路の補修・修繕は越後街道、会津街道、磐城街道、中村街道と範囲は拡大され、明治22年7月の県令第86号で担当区域の「土木区」の名称と詰所である「監督員派出所」の位置を規定し、明治27年2月10日付福島県告示第22号で告示した。

明治21年から23年にかけての市制町村制、府県制郡制の制定を契機として明治における地方自治制度が成立。これにより地方官官制の改正に伴う機構改革が実施された。

(明治23年10月13日付庁達第77号 福島県庁処務細則改正)

知事官房		秘書課	文書課
内務部	第1課	会議係	地方財務係 庶務課
	第2課	農商工務係	<u>土木係</u> 地理係
	第3課	学務係	衛生係 兵事係 戸籍係
	第4課	国費係	地方費係
警察部		警務係	保安係 主計係
直税署		賦税係	徴収係 徴税費係
関税所		賦税係	検税係
監獄署		守警係	処務係

明治38年7月18日付県報第402号でこれまでの監督員派出所を「土木監督所」と改称を告示。これにより、この日を出先事務所開設の日としており、最初に設置された事務所は次項のとおり。



小名浜港 いわき市
二本マストのウタセ舟がちらほら停泊する寂しい漁港
(大正元年)

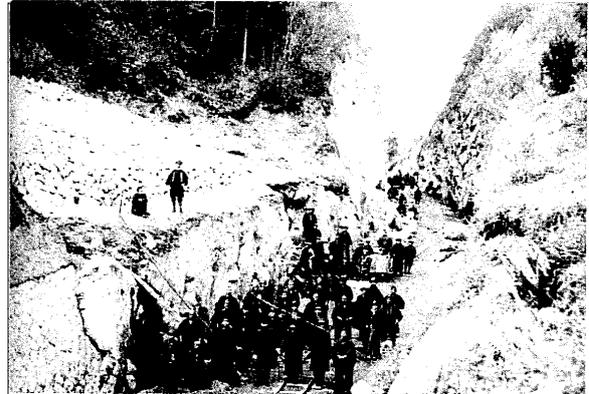


飯野三春石川線 石川町
道路正面が学法石川高校
(大正初期)

国道289号 白河市
白棚線 白河市関辺付近の改良工事完成式
(大正2年)



二本松安達線 二本松市
郭内と亀谷を結ぶ「切り通し」の開削により
両町の交通が格段に良くなった
(大正7年)



東土木区監督員派出所を「富岡土木監督所」に
西土木区監督員派出所を「若松土木監督所」に
南土木区監督員派出所を「須賀川土木監督所」に
北土木区監督員派出所を「福島土木監督所」に改称した。

3 大正時代の組織

大正8年 田島土木監督所を設置（南会津郡一円を管轄）。

大正9年 道路管理職員制、地方土木職員制が制定され、市街地建築物法施行に関する事務を司る府県に、建築監督官及び建築監督官補を置くことが出来るとされた。

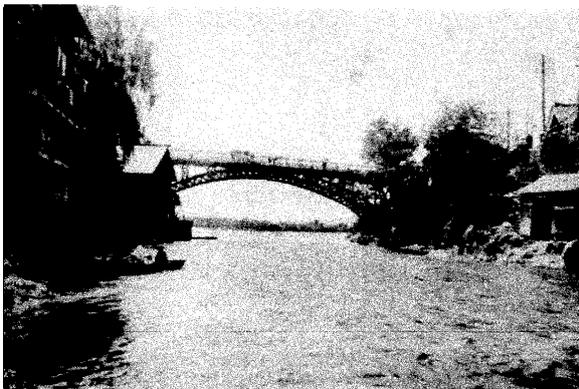
大正9年11月 富岡土木監督所平出張所を石城郡平町に設置。

大正10年 原町土木監督所を設置。

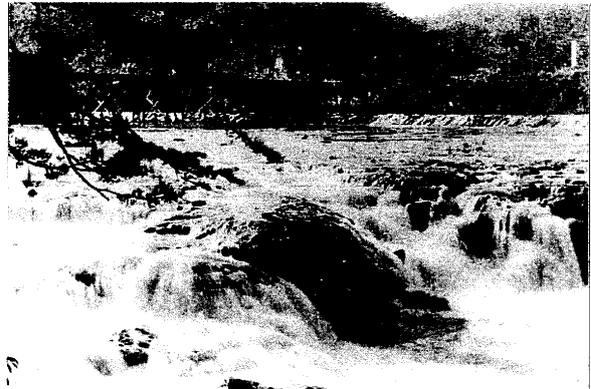
大正11年3月 富岡土木監督所を廃止、平土木監督所となる。

大正14年 喜多方土木監督所を設置（耶麻郡を管轄）。9月には猪苗代臨時土木監督所、白河土木監督所を設置。

大正15年 地方官官制が改正（勅令第147号）され、郡役所が廃止。これにより町村に対する監督は府県が直接当たることとなった。

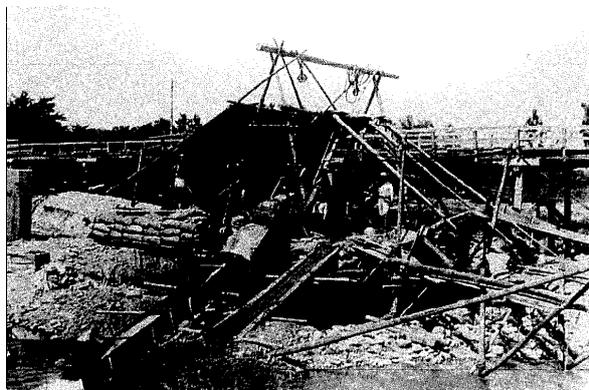


摺上川 福島市
十綱橋と小舟を浮かべた摺上川の風景
(大正時代)

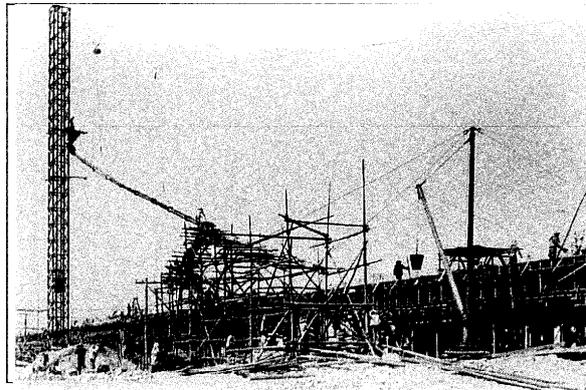


阿武隈川 須賀川市・玉川村
乙字ヶ滝と木橋の乙字橋(旧石川街道)
(大正10年頃)

国道401号 会津若松市・会津美里町
高田橋の下部工基礎掘削
(昭和4年頃)



高田橋の床版コンクリート打設
(昭和5年頃)



4 昭和時代前半の組織

昭和6年 再び富岡土木監督所を設置。

昭和7年 宮下臨時土木監督所を設置。

昭和8年 棚倉、三春に臨時土木監督所を設置。

昭和10年1月18日付勅令第4号「地方官官制改正」の公布により4部制に戻る。

知事官房 秘書係 文書係

総務部 人事係 統計課 地方課 庶務課 会計課

労務部 教育課 社会教育課 社会課 社寺兵事課

経済部 農務課 耕地課 蚕糸課 商工水産課 山林課 経済更生課 土木課

警察部 書記室 特別高等警察課 警務課 保安課 刑事課 衛生課 健康保険課

昭和10年 三春を土木監督所に、昭和11年には棚倉、猪苗代、宮下が土木監督所となる。

昭和12年 石川土木監督所を設置。

昭和13年 保原土木監督所を設置。

《土木部の誕生》

昭和初期は世界経済が不況に陥ったことから、大規模な救農土木事業が行われ、本県でも社会資本

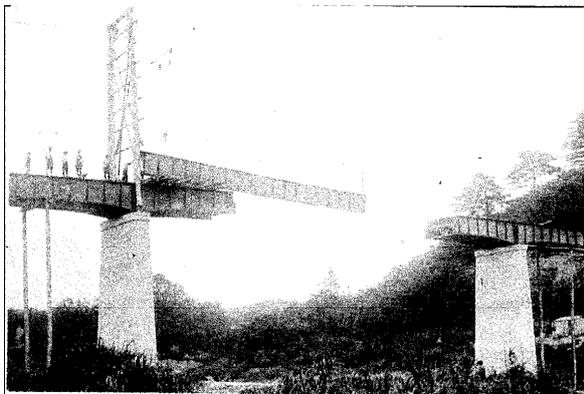


県道石川鴉子線 石川町
救農対策による中田字大塚地内の県道改良工事
(昭和8年3月)



中ノ作漁港 いわき市
トロッコやモッコによる人力の浚渫工事
(昭和9年)

新飯野橋 飯野町
桁の架設状況、支保工の丸太に時代が窺える
(昭和10年頃)



江花川 長沼町
江花地内の改修状況
(昭和16年頃)



の整備や頻発する災害の復旧事業等により土木課の予算が多い年には県予算の30%以上となり、経済部の一課としての対応には困難となり、独立した組織の必要が求められていた。

また、土木課の出先機関も18となっており、その統制も課題の一つであった。

このような時代の要請から、昭和14年、県は土木部を創設し、監理課、道路課、河水課の3課を設置した。

これが土木部の始まりである。なお、翌昭和15年6月1日に、河水課を河港課と改称した。

昭和18年、市制・町村制・府県制が改正され、中央官庁の権限拡大へとなる。

昭和18年12月8日、太平洋戦争に突入し、挙国一致体制が強化された。

《戦後の土木行政機構》

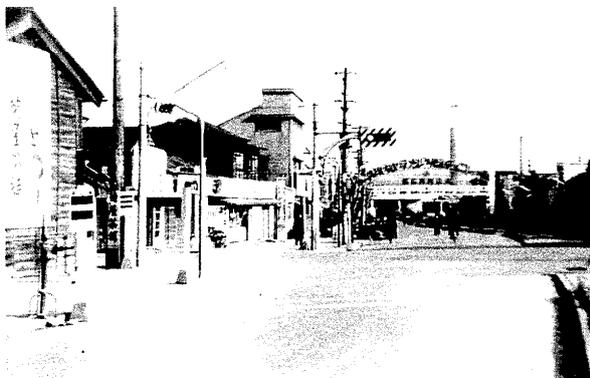
昭和20年4月 植田町に平土木監督所植田出張所を設置。

同年8月15日正午、天皇はポツダム宣言を受諾し戦争は終結した。

昭和21年11月3日「日本国憲法」公布、翌昭和22年5月3日施行、民主主義国家として出発。新憲法の施行により新しい地方自治がスタートすることになった。

地方自治法の規定に基づき行政機構の改革を実施。

土木部においては、昭和20年8月17日に都市計画や戦災復興等を担当する計画課を、翌昭和21年7月9日には住宅建設等担当の建築課を設置した。



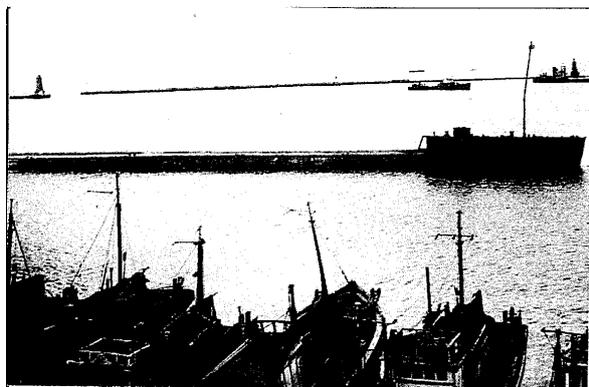
郡山駅庚担原線(駅前大通り) 郡山市
駅前から国道4号方面の状況
(昭和24年頃)



現場監督 いわき市
所長自ら運転の浪江勿来線勿来地内の現場監督
蝶ネクタイにカンカン帽子が今よりナウイ
篠田太起郎植田土木監督所長(昭和24年頃)

小名浜港 いわき市

駆逐艦「汐風」を沈め波浪漂砂対策の防波堤とした（昭和28年）

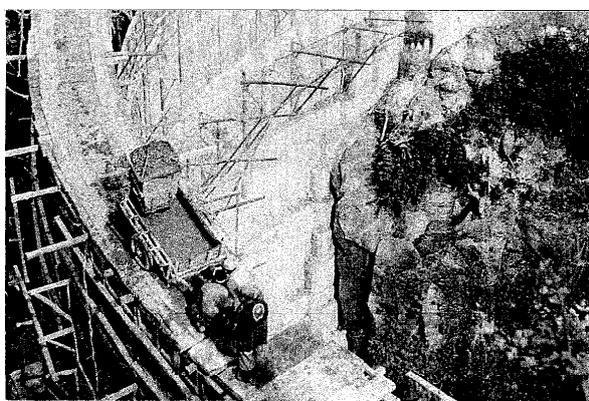


国道121号 南会津町

西町付近のコンクリート舗装工事（昭和30年頃）

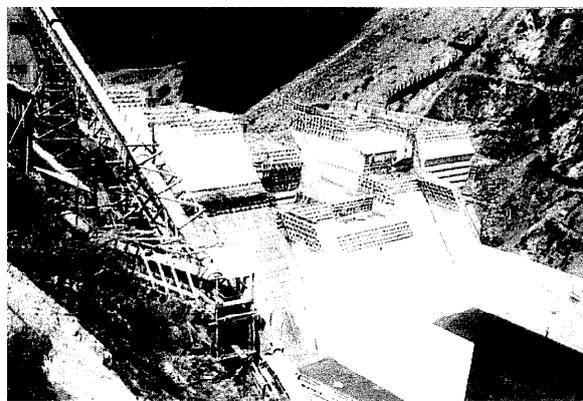


- 昭和22年10月 山口村に臨時土木監督所を、小名浜町に小名浜港務所を設置。
昭和23年4月 砂防課と電力課を設置。
同年 10月 植田出張所が植田土木監督所となる。
昭和25年5月の「国土総合開発法」施行に伴い、只見川電源開発が県政の重要課題となる。
同年 9月 山口土木臨時監督所が土木事務所に昇格。
昭和26年9月 「総合開発調査局」を設置、12月に土木部の電力課を局に移管。
昭和27年12月 観光行政も行うため計画課を計画観光課と改称。
昭和28年4月 宮下村に開発道路建設事務所を設置。
昭和30年3月 本県は22億円もの累積赤字をかかえ地方財政再建促進特別措置法の適用を受ける。
同年9月8日 臨時議会の議決を受け、これまでの1局8部42課を6部36課に改革、電力課は砂防課に統合され砂防電力課となる。
また、県下19の土木監督所を土木事務所と改称。
昭和32年8月 鮫川総合開発事業（高柴ダム建設）のため田人村に鮫川総合開発事務所を設置。
昭和35年8月 都市計画課を設置、観光部門は商工労働部へ移管。
昭和36年10月 これまでの河港課から港湾部門を分離し、河川課、港湾課を設置。
昭和38年4月 小名浜港務所を小名浜港湾建設事務所と改称。また砂防電力課を砂防課とし、水利事務は河川課に、無電灯集落解消事務は農政課に移管。



真船堰堤 西郷村

阿武隈川最上流の砂防ダム、大規模の砂防ダムでは県内で最も古い（一番は小川の銅屋堰堤）（昭和30年頃）



高柴ダム いわき市

ダム本体のコンクリート打設
福島県最初に建設された多目的ダム（昭和35年9月）

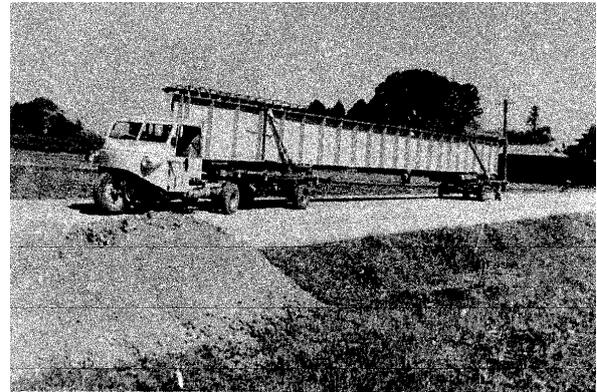
相馬港 相馬市

漁港「原釜港」は昭和35年1月25日に地方港湾に指定され「相馬港」となる
(昭和35年)



請戸橋 富岡町

主桁の輸送状況に時代を感じる
(昭和37年頃)



5 昭和時代後半の組織

「新産業都市建設促進法」(昭和37年制定)に基づく「新産都市」指定を受けるため、福島県では猛運動を展開、昭和39年3月に「常磐・郡山地区」が指定を受けた。

昭和40年4月 住宅課を新設、建設技術研究所を福島市三河町に設置。

昭和41年4月 企画開発部に高速道路対策室を設置。

昭和42年1月 河川課企業係を独立し、工業用水道室を設置。

昭和44年4月 県行政の大規模な機構改革を断行。本庁機構は従前の7部45課4室を7部1室1局49課1室に、出先機関は312機関102出張所を274機関132出張所に。

土木部の組織では、道路課を二分し道路建設課と道路維持課へ、建築課を営繕課と改称、監理課から分離し工事検査課を新設し8課から10課となる。

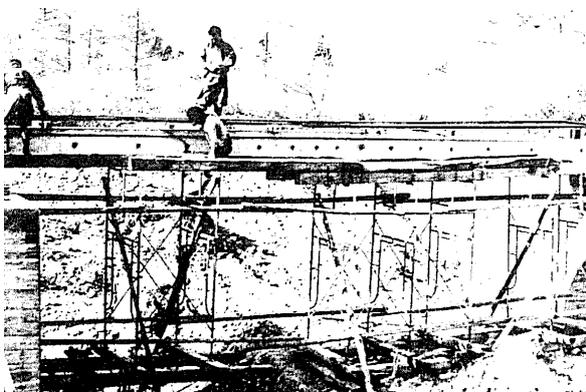
出先機関は従来の19土木事務所から現在の8建設事務所11土木事務所の体制へと大きく改革され、現在の形となる。

昭和46年4月 四時ダム建設事務所を設置。

昭和47年4月 東山ダム建設事務所を設置。

昭和48年4月 用地室を設置。

昭和49年4月 激動する社会経済の中で、年々増大する事業対応のため、大規模な事務改善と組織整備を実施。



大川入橋 北塩原村

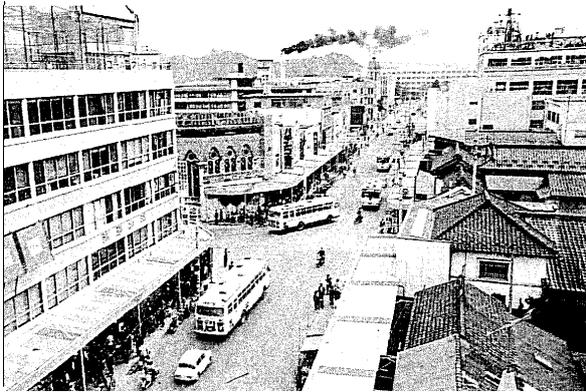
会津若松裏磐梯線の大川入川に架かる橋梁桁架設とステージング
(昭和40年10月)



田島只見線 只見町

田中地区の消雪施設の確認試験
子供達が珍しそうに見ているのが印象的
(昭和43年12月)

杉妻町御山線 福島市
路面電車が廃止された直後の県庁通り
(昭和46年頃)



駒止トンネル 南郷村
福島県では初となるNATM工法を採用した
(昭和48年頃)



主な事務改善

- ・設計、積算事務の簡素化
- ・業務委託の推進
- ・責任施工体制の確立
- ・業務電算化の推進

組織の整備

〈本 庁〉

- ・検査班（工事検査課）、ダム開発係（河川課）、行政係及び流域下水道係（都市計画課）の設置。

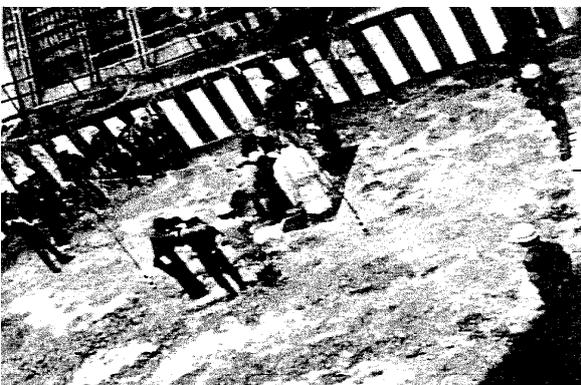
〈出 先〉

- ・検査員の駐在。
- ・行政係（総務課）、財産管理係（用地課）、指導審査係及び営繕係（建築課）を設置。
- ・建設課を計画課と工事課に組織替え。
- ・土木事務所の工務課を業務課と改称。
- ・原町建設事務所の港湾課を昇格、相馬港湾建設事務所を設置。
- ・真野ダム建設事務所を設置。

昭和51年 4月 用地室を用地課、工事検査課を技術管理課と改称。

昭和53年 4月 局長（都市担当）を配置し、都市計画課、住宅課、営繕課を担当。郡山流域下水道建設事務所を設置。

昭和54年 4月 下水道課を新設。

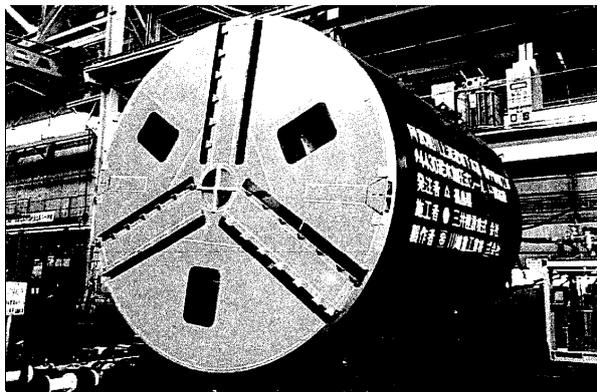


東山ダム 会津若松市
会津若松市街地の洪水防御として建設が本格化
定礎式が挙行された
(昭和53年10月)



濁川 喜多方市
押切川捷水路により市街地の水害防止を図る
廃川敷は高度利用され今は喜多方プラザが建つ
(昭和54年10月)

阿武隈川上流流域下水道 郡山市
県中幹線管渠の径4430mmシールド掘進機
(昭和54年)



61災水害 郡山市
阿武隈川流域で戦後最大の洪水となり水没した
水門町
(昭和61年8月5日)



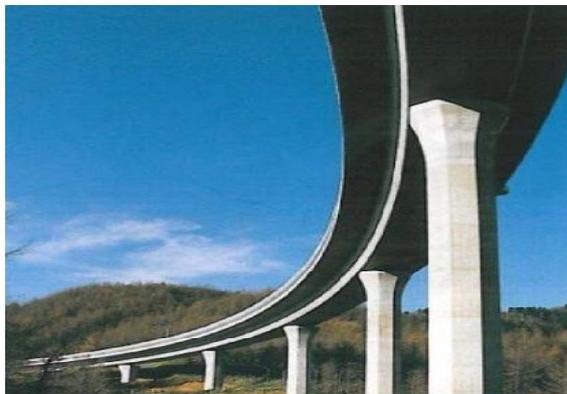
昭和55年 4月 局長を廃止、業務担当及び都市担当の2次長制となる。河川開発課を新設。
昭和58年 4月 小玉ダム建設事務所を設置。
昭和59年 4月 鮫川水系ダム管理事務所を設置。
昭和61年 4月 空港建設課を新設。
昭和63年 4月 県北流域下水道建設事務所を設置。

6 平成の組織の変遷（土木部創設50年以降）

平成元年 4月 堀川ダム建設事務所を設置。
9月 土湯道路管理所を設置。
平成2年 4月 真野ダム管理事務所となる。
いわき失業対策事務所がいわき建設事務所の准公所となる。
平成3年 4月 原町建設事務所計画課に木戸ダム担当を配置。
白河建設事務所建築課に指導審査係、営繕係を設置。
堀川ダム建設事務所に次長、体制。
平成4年 4月 大峠・日中総合管理事務所を設置。
福島建設事務所に国体関連事業係を設置。
10月 空港管理事務所を設置（空港建設事務所敷地内）
平成5年 2月 空港管理事務所が空港ターミナルビルに移転。



福島空港 須賀川市・玉川村
造成工事が始まる。地下Boxを建設中。
(平成元年)



横向大橋 猪苗代町
土木学会田中賞受賞。9径間連続コンクリート箱桁橋
で水平面内でアーチ作用を活用した設計の橋梁
(平成2年竣工)

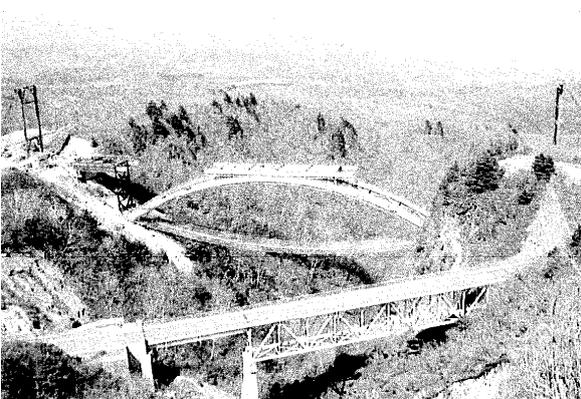
いわき石川線 いわき市
御所崎の名物、「大曲り」「七曲り」の面影を
残す新道
(平成7年供用)



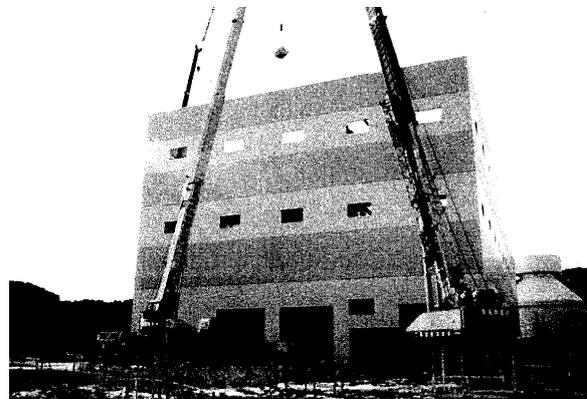
福島空港 須賀川市・玉川村
滑走路2500m延長の造成工事(40tダンプ搬入)
(平成8年頃)



- 平成5年4月 木戸ダム建設事務所を設置。
- 平成6年4月 機構改革 事務所名称変更
計画課、工事課を道路課、河川砂防課に改編。
4市に調査課、4事務所に企画調査担当を設置。
南会津を除く3建設事務所の行政係を行政課に。
- 平成7年4月 あぶくま高原道路建設事務所を設置。
4事務所の企画調査担当を調査課へ。
- 平成8年3月 いわき失業対策事務所を廃止。
- 平成8年4月 県中建設事務所河川砂防第三係を廃止し、ダム建設課を設置。
- 平成9年4月 4市事務所に用地調整担当を配置。
小玉ダム管理事務所となる。
- 平成11年3月 建設技術研究所を廃止。
4月 裏磐梯三湖の管理を猪苗代土木事務所で行うため、現地に管理所を設置。
- 平成12年3月 空港建設事務所を廃止。
4月 空港管理事務所を福島空港事務所と改称。
相双建設事務所に用地調整担当を配置。
- 平成13年4月 県南建設事務所管理課にダム管理係を設置。
- 平成14年4月 県北建設事務所に六角川床上浸水対策室(二本松駐在)を設置。
いわき建設事務所に湯本川整備担当配置。



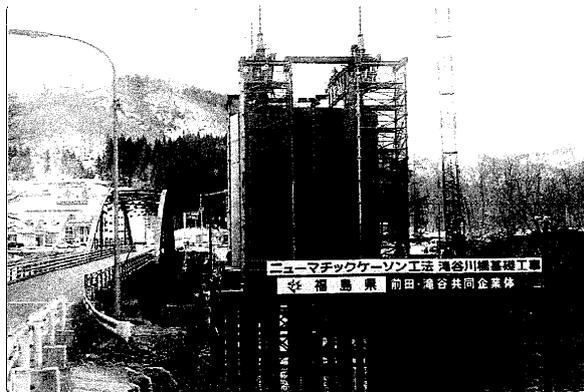
磐梯吾妻スカイライン 福島市
昭和34年架設「不動沢橋」旧橋の老朽化により
架け替え
(平成11年)



県中浄化センター溶融施設 郡山市
下水道汚泥の広域的減量を図ろうと建設された
(平成14年)

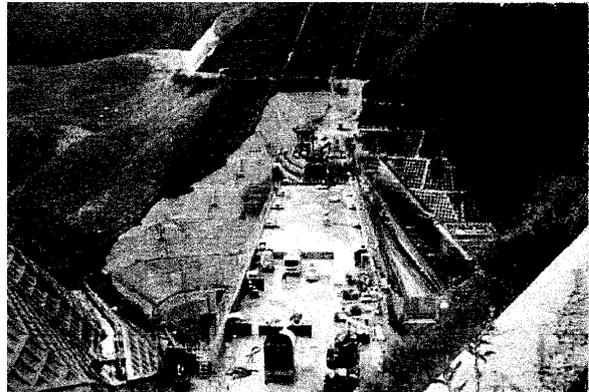
滝谷川橋 柳津町

国道252号松倉工区の改良でダム上流のため、水深があり橋脚基礎工事にニューマチック工法採用
(平成16年3月)

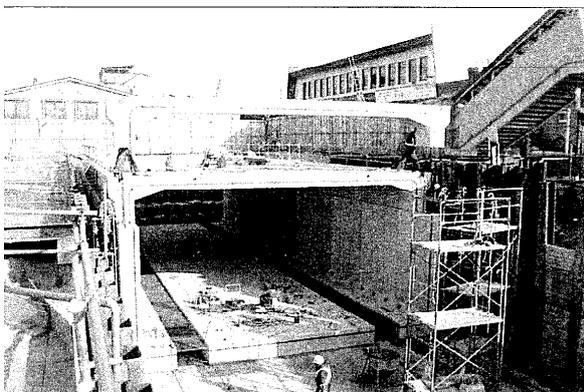


木戸ダム 檜葉町

国内初となるジオス式ミキサーによるRCD用コンクリートのダム本体打設
(平成17年6月)

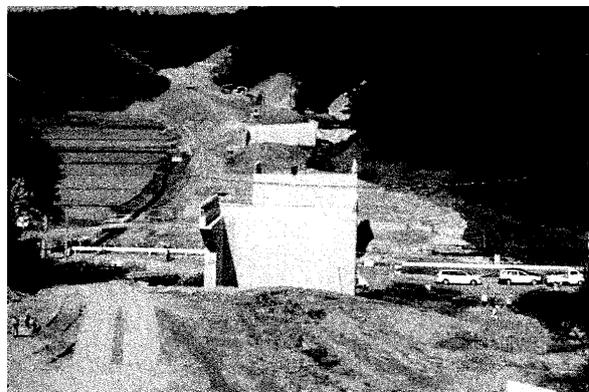


- 平成15年 4月 FF型行政組織導入で課制を廃止、グループ制とする。
本庁は技監を配し、行政分野毎に領域制を敷き総括参事を配置。
各課の業務を統廃合し「グループ」とし参事を配置、係長を廃止し「担当」とした。
課長補佐を廃止、必要に応じ「主幹」を配置。
4市建設事務所企画調査グループに企画調査担当、地域づくり推進担当を設置。
相双建設事務所企画調査グループに企画調査担当キャップを配置。
- 平成16年 4月 4市建設事務所地域保全グループにキャップを配置
- 平成17年 4月 十六橋水門の管理を猪苗代土木事務所で行うため、現地に管理所を設置。
- 平成19年 4月 工事検査グループを出納局に移管、出先機関の工事検査員も振興局出納室へ異動。
4市建設事務所総務担当次長を専任制に。
県北建設事務所六角川床上浸水対策室（二本松駐在）を廃止し、六角川整備担当へ。
- 10月 出納室による入札手続きのため建設事務所の経理担当一名を振興局出納室へ異動。
- 平成20年 4月 FF型行政組織の見直しにより課制が復活。
領域を「総室」と改称、総括参事は「次長」へ、参事は「課長」となるが、係長職の復活は見送られ「主任主査」となる。
各課に「副課長」を配置しチェック機能の充実を図る。
建設事務所も課制が復活、技術指導担当の主幹を配置、4市以外の建設事務所の都市施設グループを廃止。
木戸ダム建設事務所を廃止。



六角川 二本松市

床上浸水対策緊急特別対策事業で実施し、駅前をボックスカルバートのトンネル河川とし、駅前も併せて整備された
(平成18年1月)



あぶくま高原道路 平田村

中屋敷敷地内(6-1工区)の改良工事、橋台の建設と土工事が着々と進んでいる
(平成18年9月)

7 庁舎の移り変わり

県庁舎も明治9年の立県以来数回の建て替えがあり、またその場所も変わって来た。同様に土木部の出先機関である建設事務所、土木事務所も建て替えや移転の歴史があった。土木部創設70年の機会に、それらの位置と姿を辿ってみた。

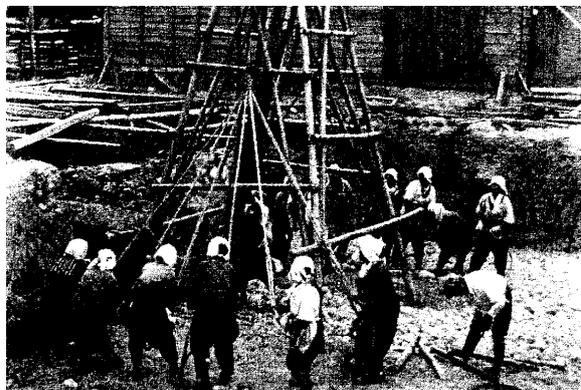
・目で見える県庁舎の歴史

現在の本庁舎の工事



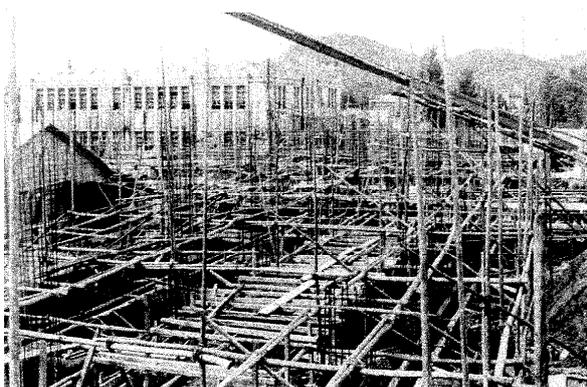
起工式直前の状況

昭和13年2月23日



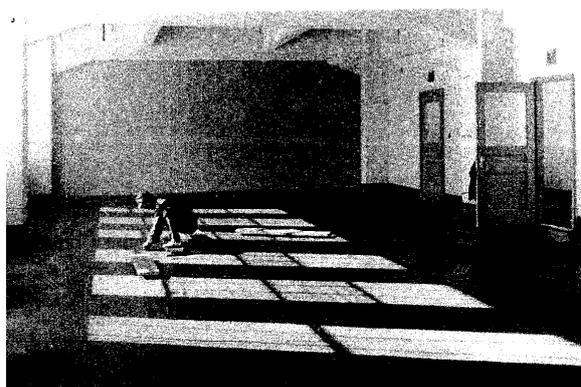
胴突き(基礎転圧)

昭和13年5月7日



基礎梁型枠組み立て

昭和13年9月2日

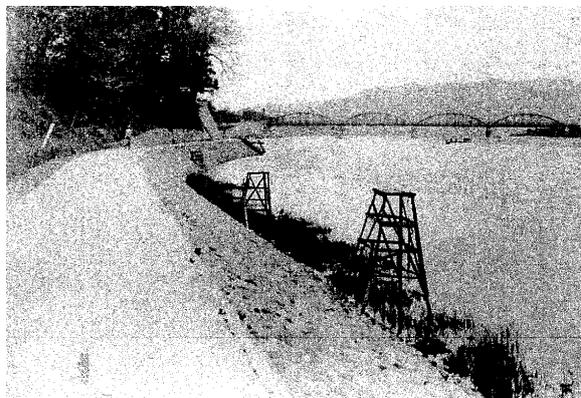


床仕上げ

昭和14年3月10日

・目で見える土木監督所の歴史

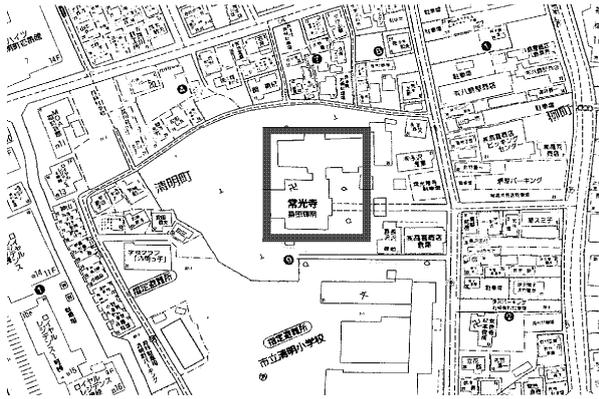
- 富岡土木監督所 ⇒ 富岡土木事務所
- 若松土木監督所 ⇒ 会津若松建設事務所
- 須賀川土木監督所 ⇒ 須賀川土木事務所
- 福島土木監督所 ⇒ 県北建設事務所
- 原町土木監督所 ⇒ 相双建設事務所
- 田島土木監督所 ⇒ 南会津建設事務所
- 喜多方土木監督所 ⇒ 喜多方建設事務所
- 白河土木監督所 ⇒ 県南建設事務所
- 平土木監督所 ⇒ いわき建設事務所
- 郡山土木監督所 ⇒ 県中建設事務所
- 猪苗代土木監督所 ⇒ 猪苗代土木事務所
- 三春土木監督所 ⇒ 三春土木事務所
- 宮下土木監督所 ⇒ 宮下土木事務所
- 棚倉土木監督所 ⇒ 棚倉土木事務所
- 石川土木監督所 ⇒ 石川土木事務所
- 保原土木監督所 ⇒ 保原土木事務所
- 植田土木監督所 ⇒ 勿来土木事務所
- 二本松土木監督所 ⇒ 二本松土木事務所
- 山口土木監督所 ⇒ 山口土木事務所



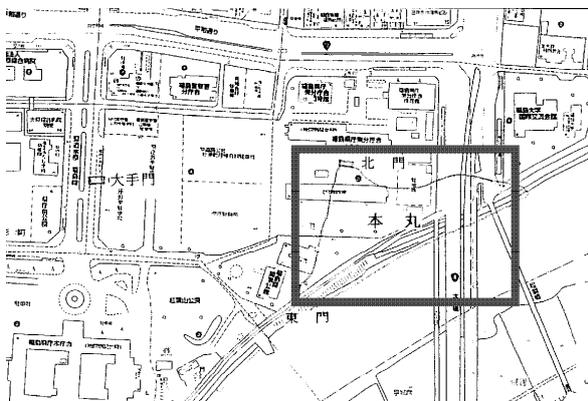
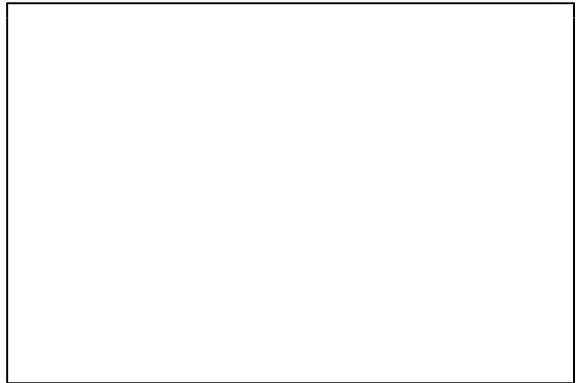
阿武隈川(県庁)

昭和13年7月13日

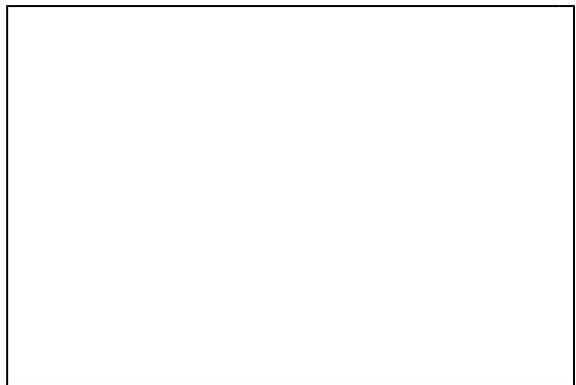
【福島県庁舎の移り変わり】



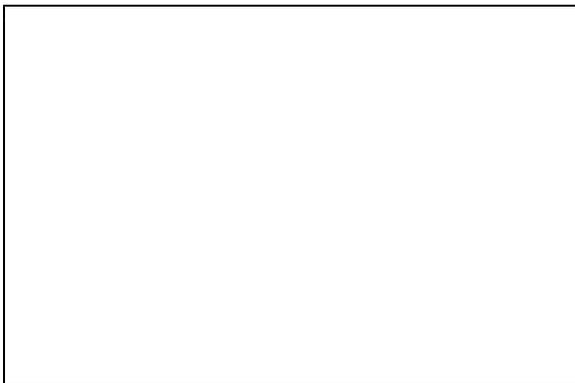
明治6年2月 三県合併前の福島県庁舎は常光寺（清明町）



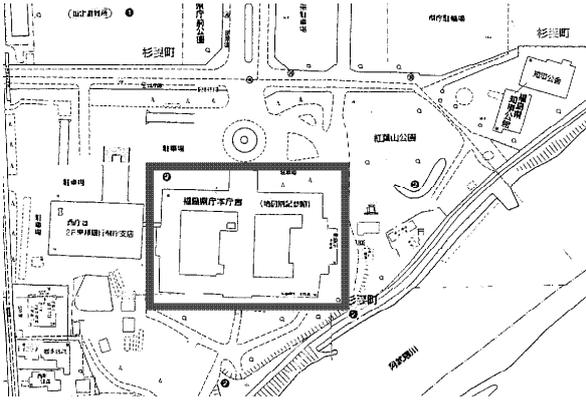
明治6年11月 三県合併後も県庁舎を福島城本丸に置く



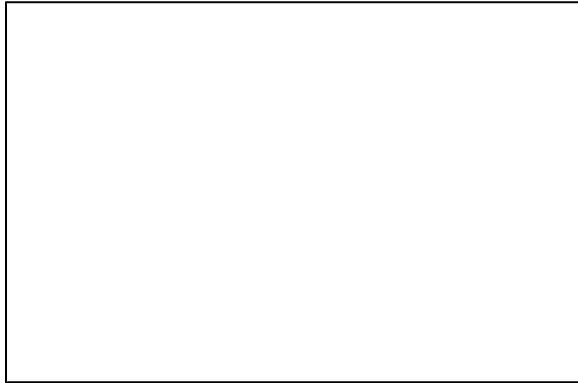
明治13年10月 本丸庁舎焼失のため新築（現本庁舎付近ではないと思われる）



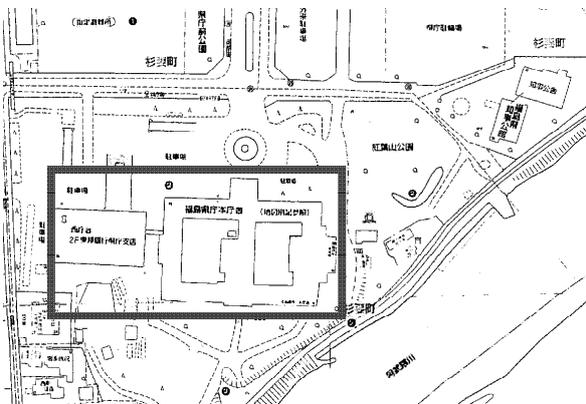
明治40年12月 庁舎新築



昭和14年4月 現在地に新庁舎を建設（財政廳から二階は木造）



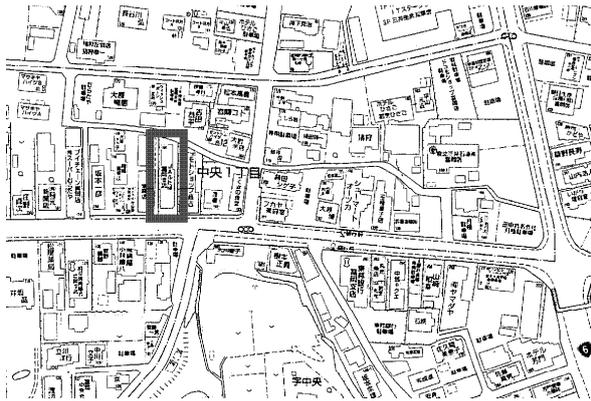
昭和28年4月 当初の計画に沿って嵩上げし現在の本庁舎が完成



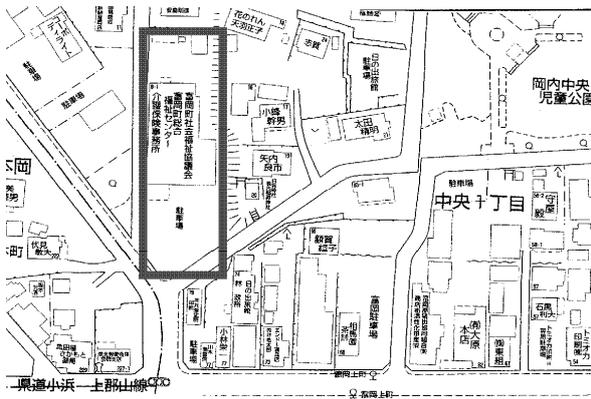
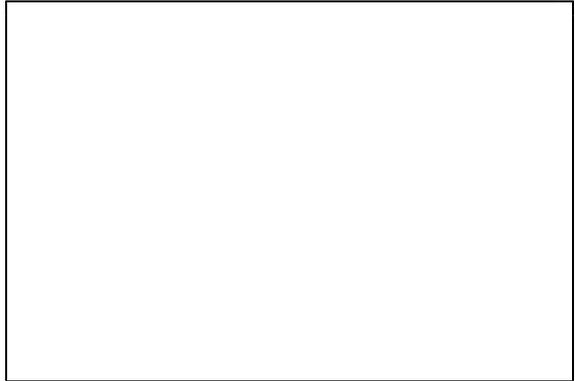
昭和46年11月 西庁舎が完成、現在の姿となる



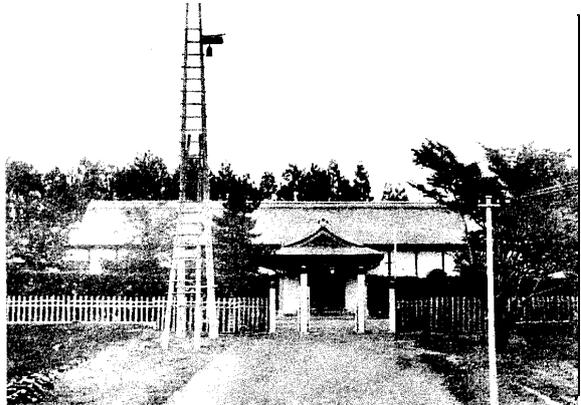
【富岡土木監督所の移り変わり】



明治38年7月 東部土木区監督員派出所を富岡土木監督所と改称したが、大正11年に廃止となる



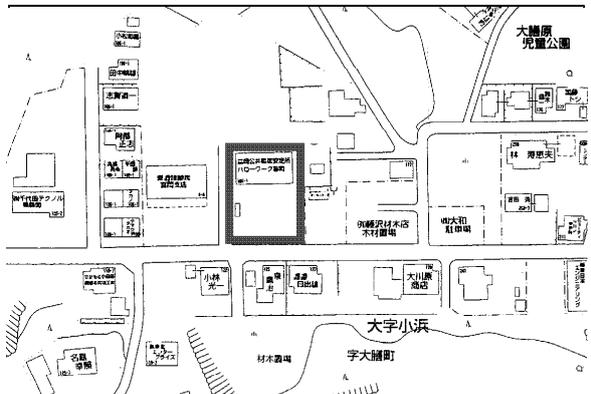
昭和6年 富岡土木監督所再開（富岡郡役所内）



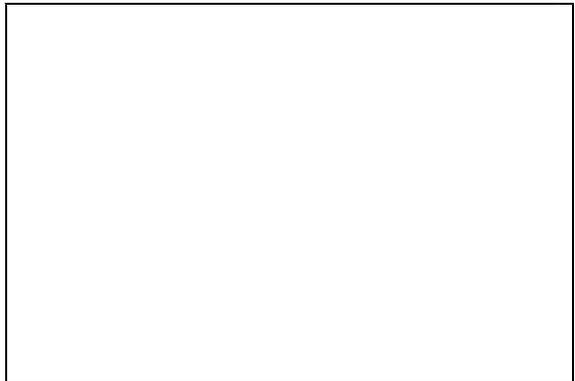
昭和9年 富岡町大字小浜字月の下7番地5に庁舎を新築し移転

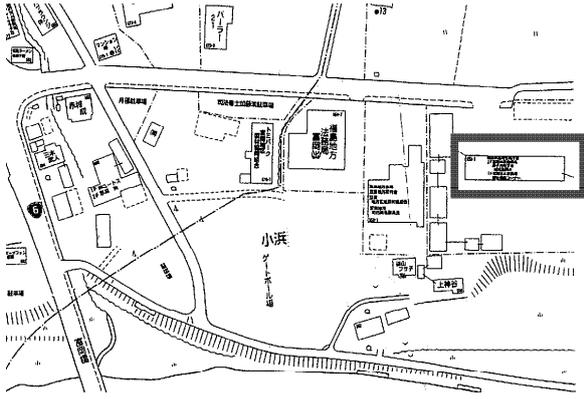


昭和31年



昭和37年2月 富岡町大字小浜字大膳原33-24に庁舎を新築し移転

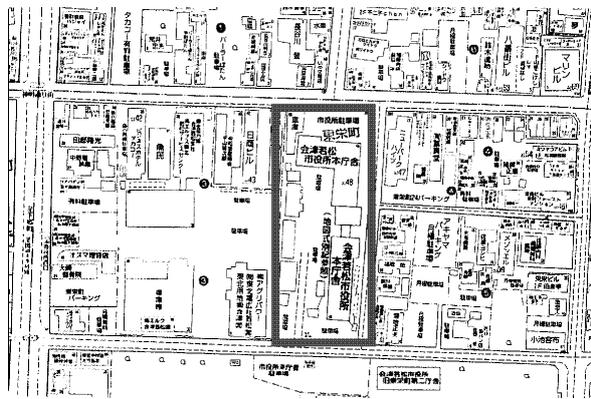




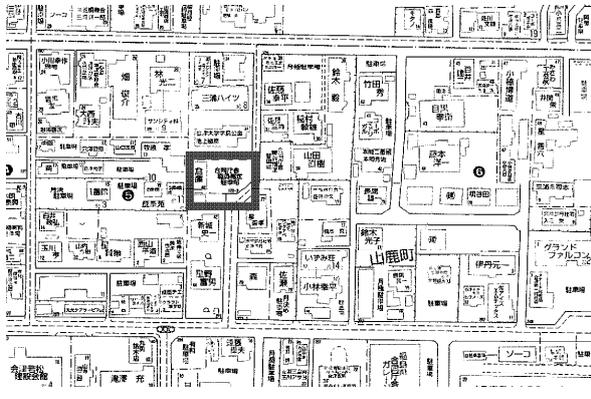
昭和55年 富岡合同庁舎の完成により移転



【若松土木監督所の移り変わり】



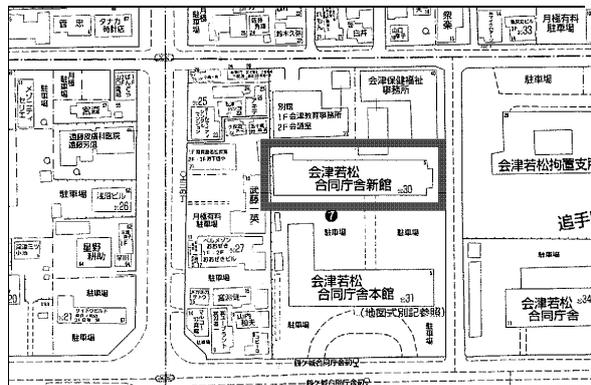
明治38年7月 西部土木区監督員派出所を若松土木監督所と改称し、郡役所敷地内に事務所を新築（大正4年）



昭和12年 郡役所跡に市役所を建設することから若松市栄町本一ノ丁552の5（後に栄町552、現山鹿町）に移転



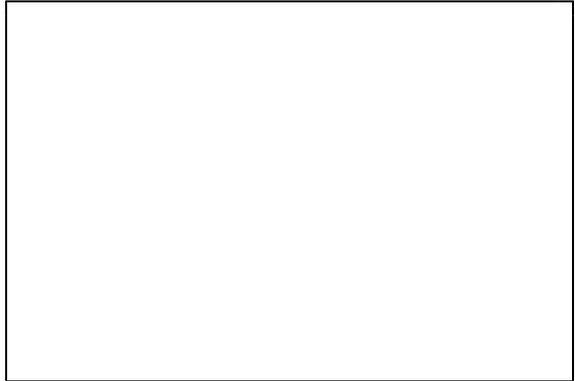
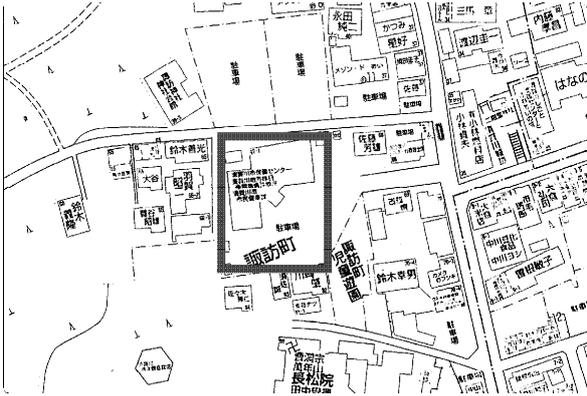
移転後の昭和39年



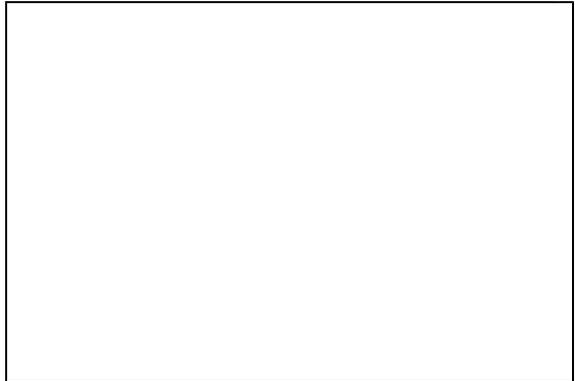
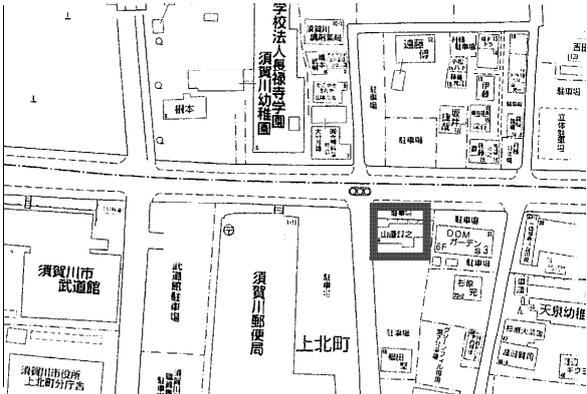
昭和35年2月 北会津合同庁舎の完成により移転



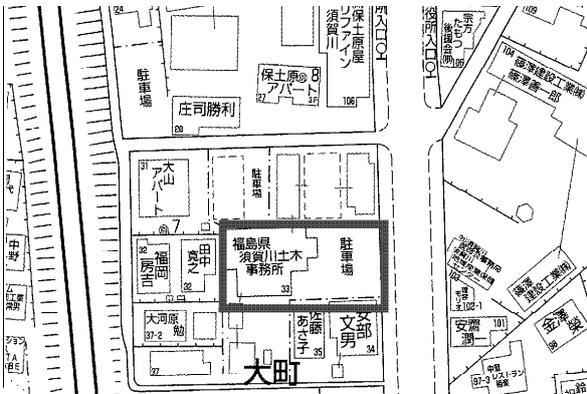
【須賀川土木監督所の移り変わり】



明治38年7月 南部土木区監督員派出所を須賀川土木監督所と改称 (須賀川町字西六丁目39番地)



明治40年 須賀川町大字同所字菊阿弥25番地に庁舎を新築し移転



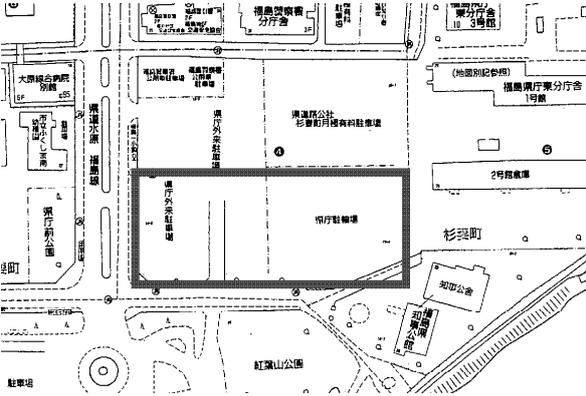
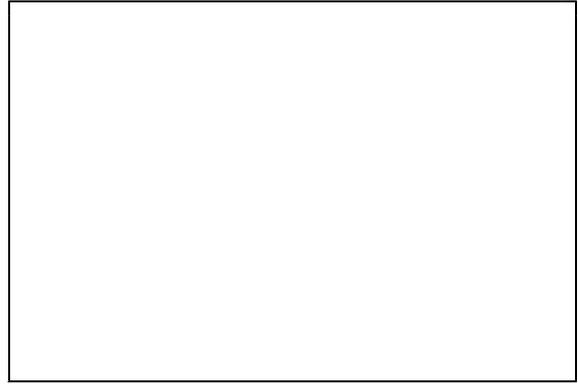
昭和27年 須賀川市大町33番地に庁舎を新築し移転

昭和58年

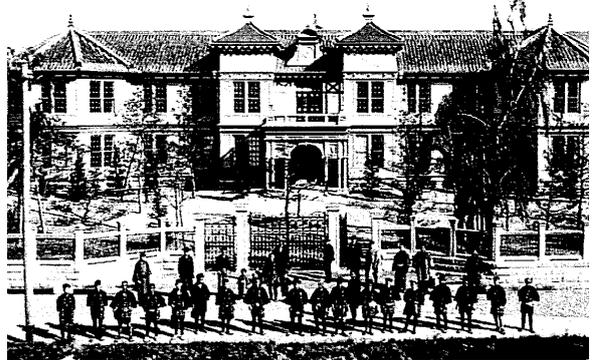
【福島土木監督所の移り変わり】



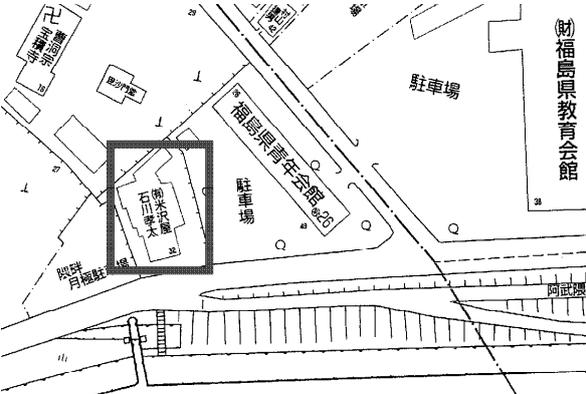
明治38年7月 北部土木区監督員派出所を福島土木監督所と改称（県庁内）



大正10年 議会議事堂に移転（旧医大、現在の県庁駐車場ではないか）



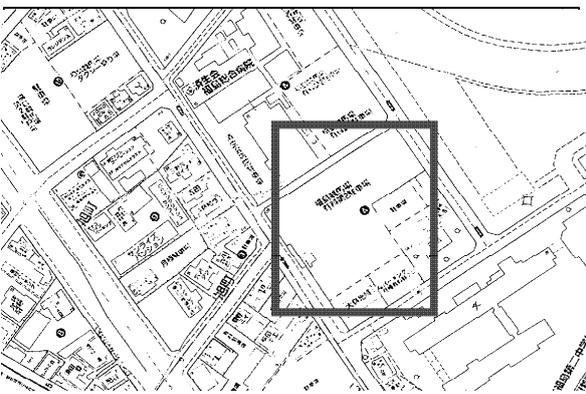
明治15年4月落成の議会議事堂



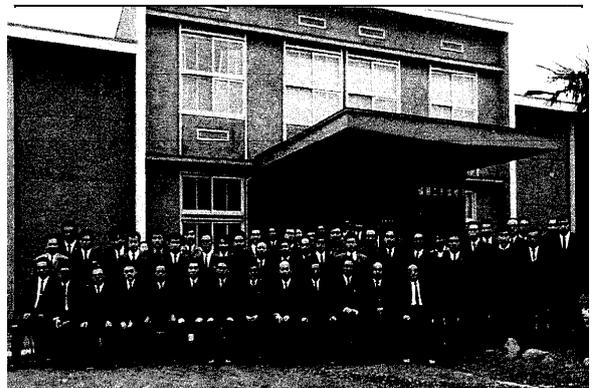
昭和10年 福島市長楽寺下6（後に上浜町3番地）に庁舎を新築し移転



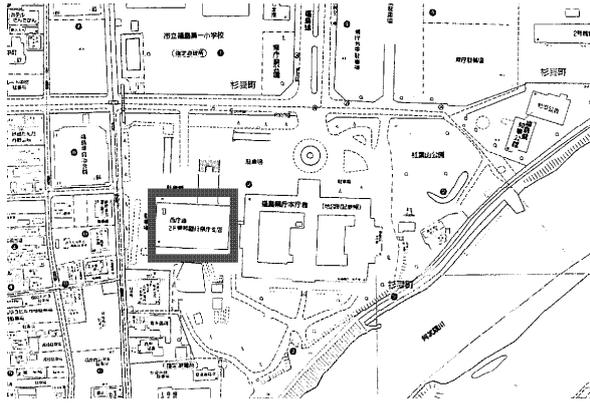
昭和32年



昭和35年 福島市桜木町4の6に庁舎を新築し移転



昭和40年



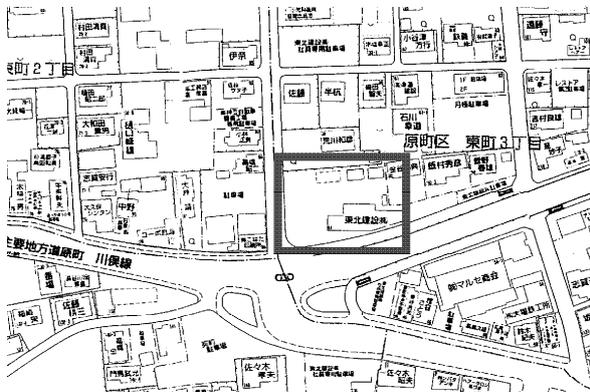
昭和46年 県庁西庁舎完成により移転



平成3年 県庁東分庁舎に移転



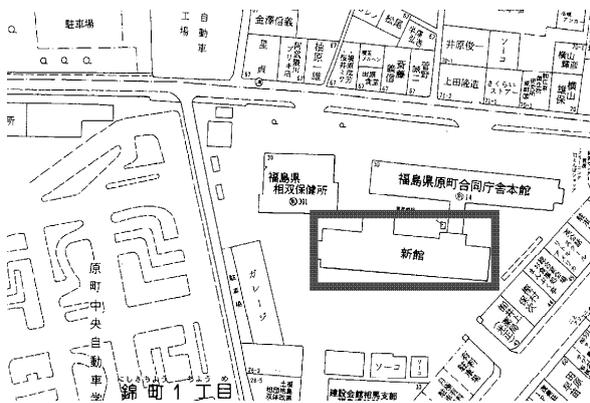
【原町土木監督所の移り変わり】



大正10年 原町市南新田字東原167 (後に東町三丁目41か) に原町土木監督所を設置



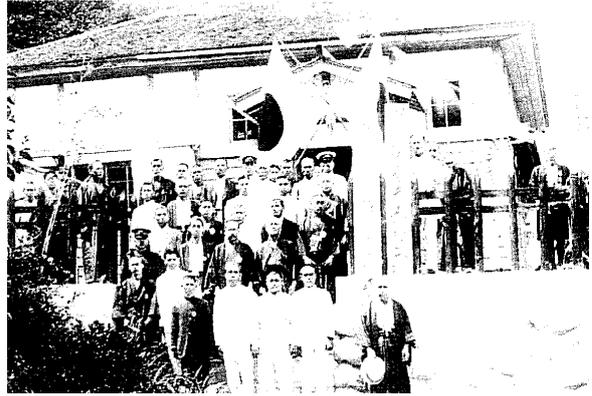
昭和28年頃



昭和41年 原町合同庁舎の完成により移転

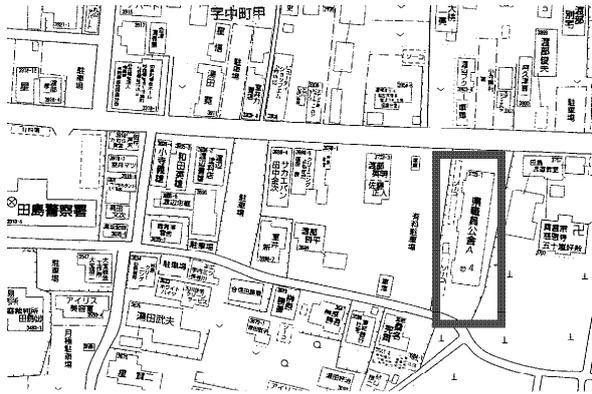


【田島土木監督所の移り変わり】



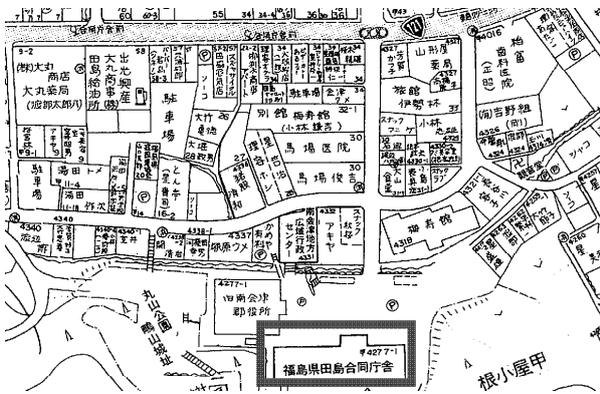
大正8年 若松土木監督所の管轄区域を分割し、田島町大字田島字丸山4681-4に田島土木監督所を設置

大正8年7月19日 庁舎落成式



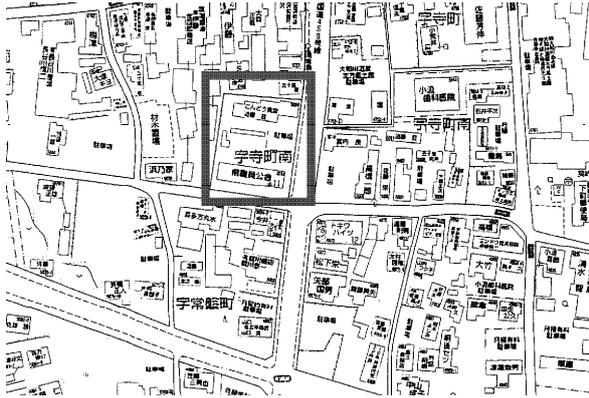
昭和27年12月 田島町大字田島字後原甲3705-1に新築移転

昭和27年12月 新庁舎落成式



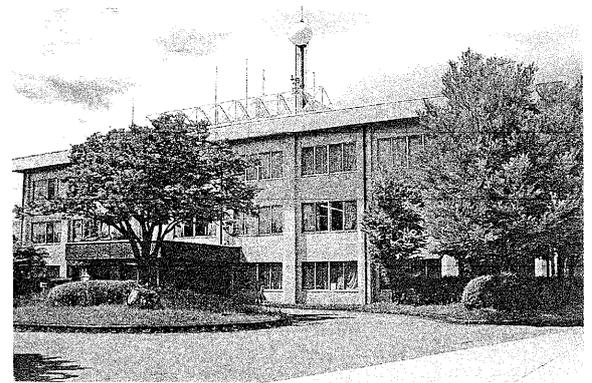
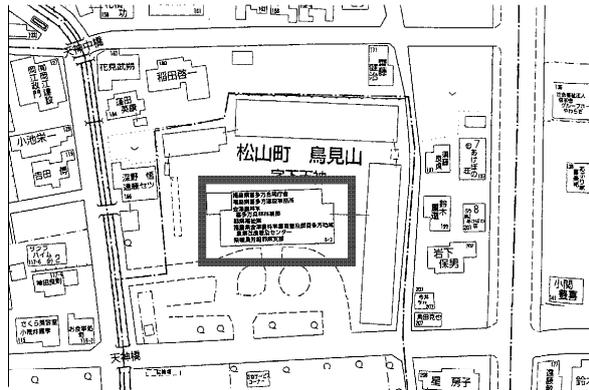
昭和46年 田島合同庁舎の完成により移転

【喜多方土木監督所の移り変わり】



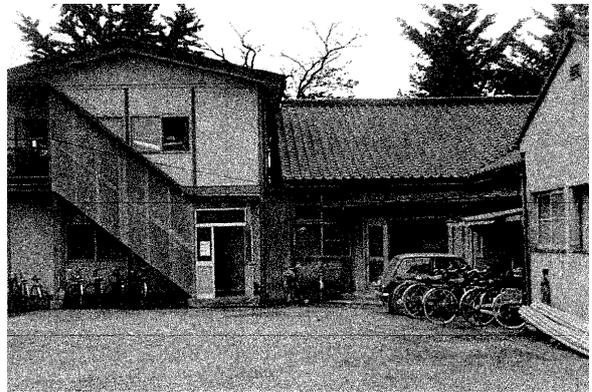
大正14年 若松土木監督所の管轄区域を分割離し、喜多方町字寺町南5018に喜多方土木監督所を設置

昭和34年



昭和53年11月 喜多方合同庁舎完成により移転

【白河土木監督所の移り変わり】



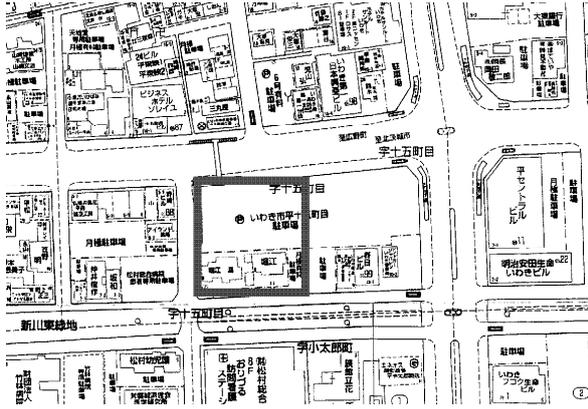
大正14年 須賀川土木監督所の管轄区域を分割し、白河町道場小路92に白河土木監督所を設置

昭和46年頃

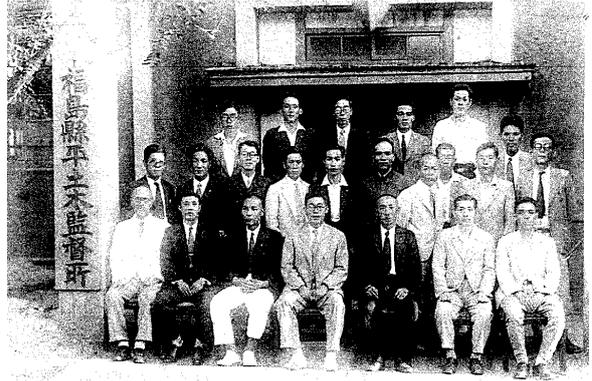


昭和46年10月 白河合同庁舎の完成により移転

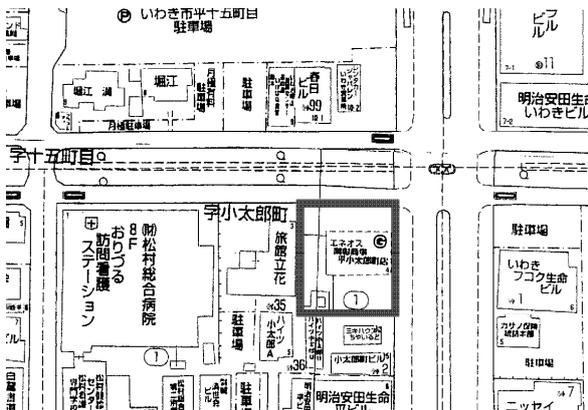
【平土木監督所の移り変わり】



大正9年11月 平十五丁目13番地に富岡土木監督所平出張所を設置、大正11年3月に土木監督所へ昇格



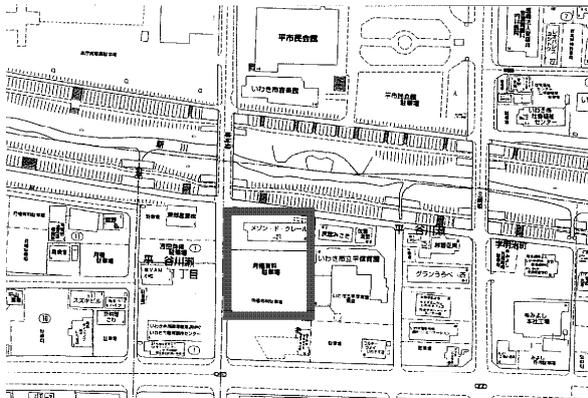
昭和17年9月



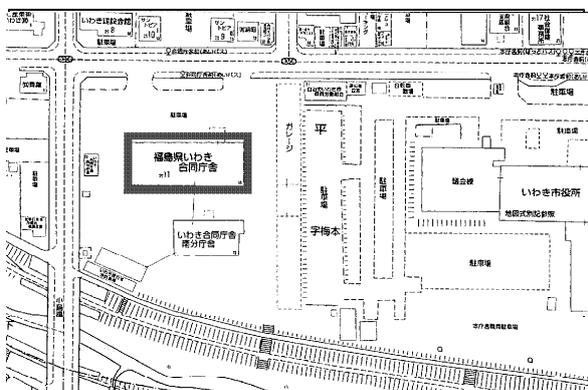
昭和19年 小太郎町21に庁舎新築し移転



昭和26年5月



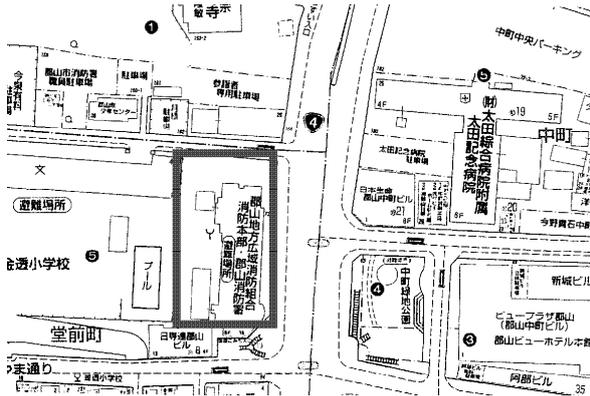
昭和36年2月 平谷川瀬字明治20番地に失業対策事業所との合同庁舎を新築し移転



昭和49年5月 いわき合同庁舎の完成により移転



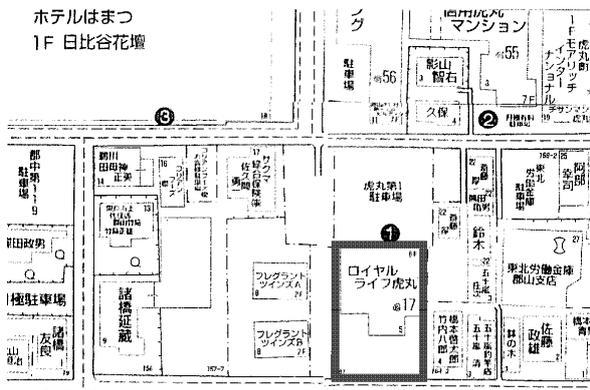
【郡山土木監督所の移り変わり】



大正14年 郡山土木監督所を旧安積郡役所内に設置 (郡山市堂前44)



撮影不詳



大正15年5月 虎丸町163(後に1番5号)に庁舎を新築し移転



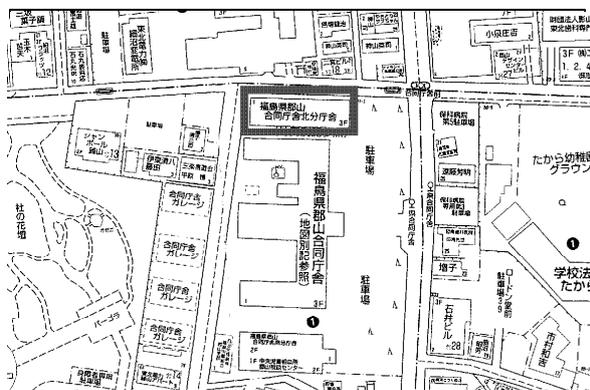
昭和34年



昭和44年4月 建設事務所となり手狭になったことから虎丸町7-7の県事務所の一部敷



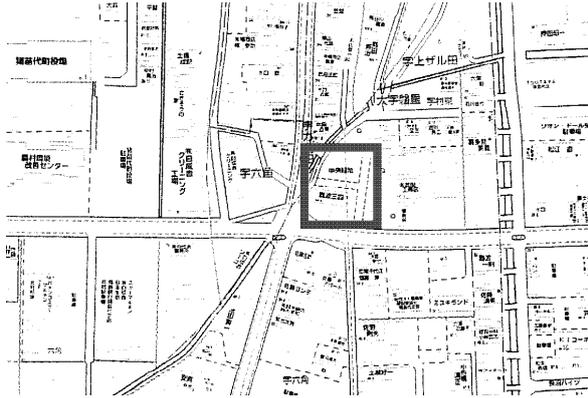
昭和34年当時の所長車



昭和49年5月 郡山合同庁舎の分庁舎に移転

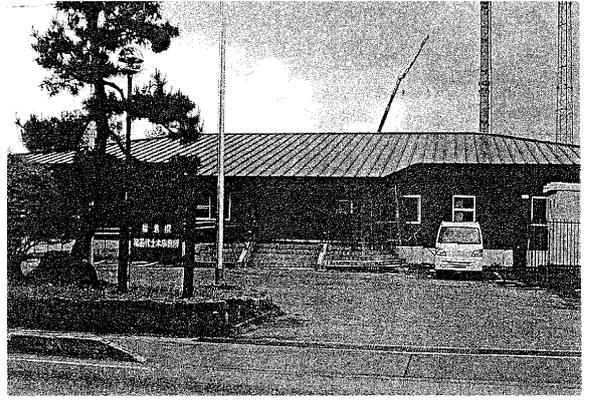
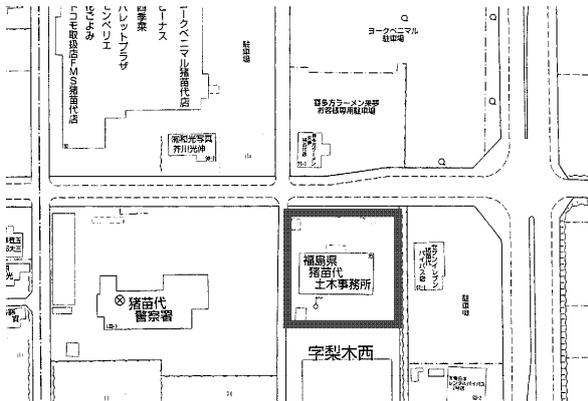


【猪苗代土木監督所の移り変わり】



大正14年 若松土木監督所の管轄区域分割により猪苗代町大字磐里字六角86に臨時土木監督所を設置、昭和11年に土木監督所へ昇格

昭和43年頃



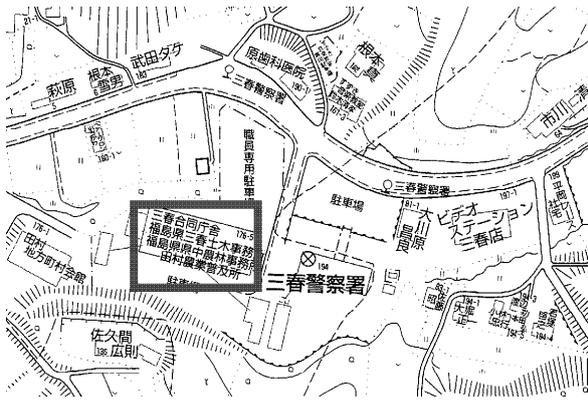
昭和54年 猪苗代町字梨木西70番地に新庁舎建設により移転

【三春土木監督所の移り変わり】



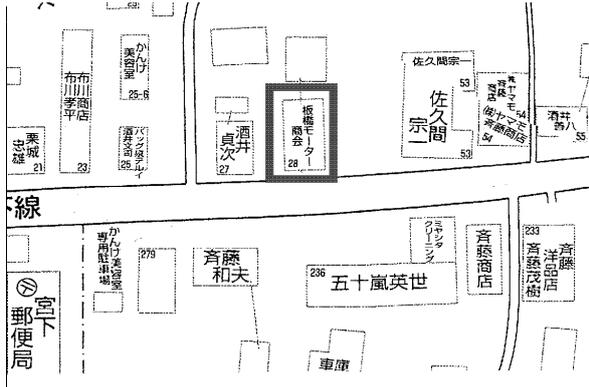
昭和8年4月 三春町南町1番地に三春臨時土木監督所を設置（現在の高齢者住宅）、昭和10年4月に土木監督所へ昇格

昭和28年



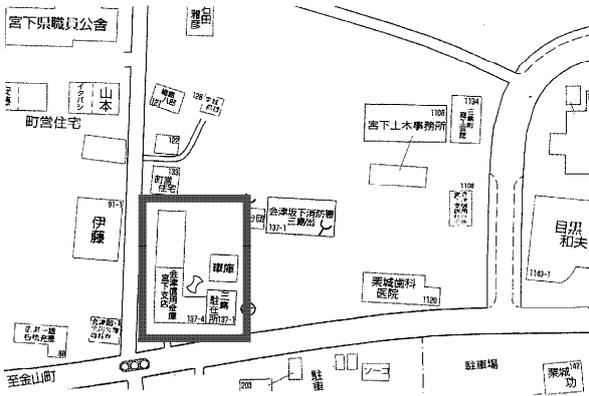
平成6年10月 三春町大字熊耳字下荒井176番地の5に合同庁舎の完成により移転

【宮下土木監督所の移り変わり】



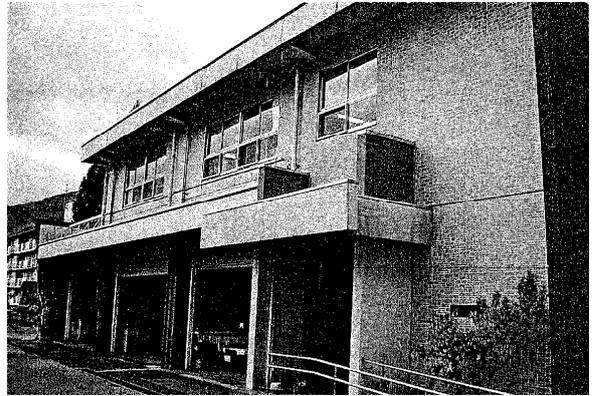
昭和7年9月 猪苗代臨時土木監督所の管轄区域を分割し宮下字居平137に宮下臨時土木監督所を設置、昭和11年に土木監督所へ昇格

昭和7年頃



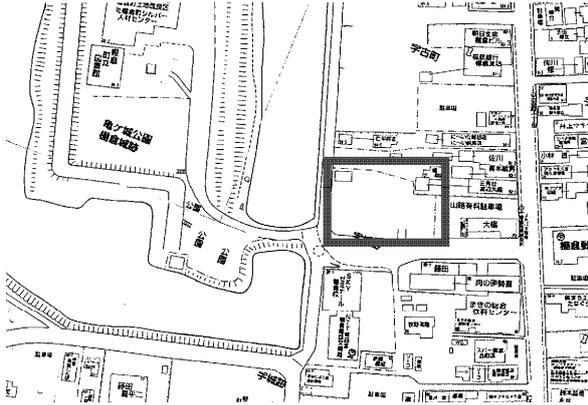
昭和18年12月 前年の宮下大火により庁舎焼失のため新築し移転

昭和18年 落成式か？



昭和43年3月 三島町大字宮下字水尻1108番地に庁舎新築移転

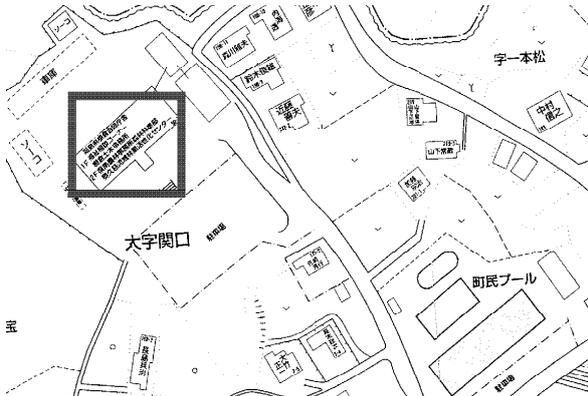
【棚倉土木監督所の移り変わり】



昭和8年 棚倉町字城跡16-3の棚倉駐在が棚倉臨時土木監督所となり、昭和11年に土木監督所へ昇格



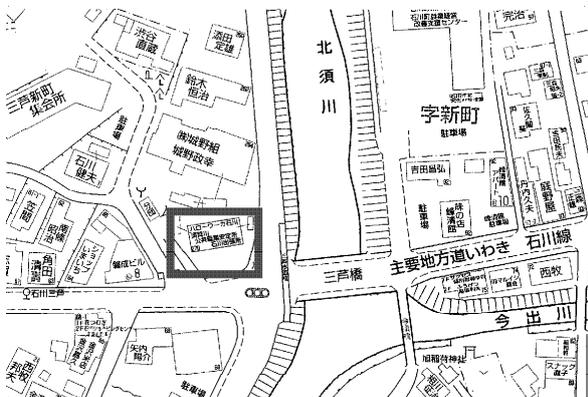
昭和29年



昭和54年 棚倉町大字関口字上志宝50番地1に新庁舎建設により移転



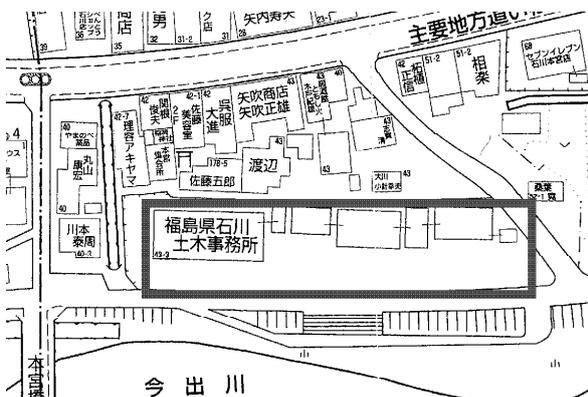
【石川土木監督所の移り変わり】



昭和12年2月 石川町字高田265に石川土木監督所を設置



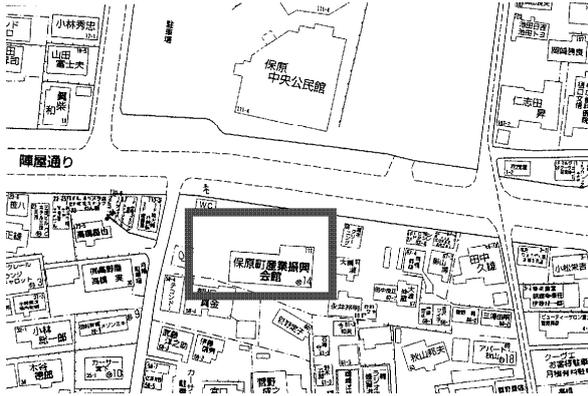
昭和30年代



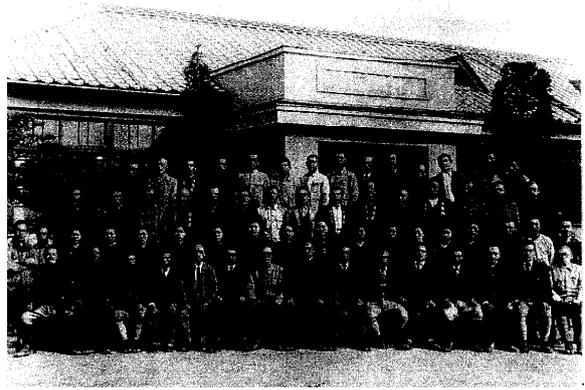
昭和38年1月 焼失のため石川町大字双里字本宮43番地3に新庁舎を建設し移転



【保原土木監督所の移り変わり】



昭和19年 保原町字宮下12に保原土木監督所を設置



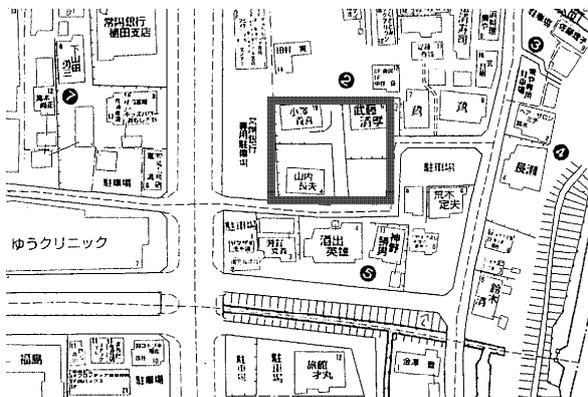
昭和25年



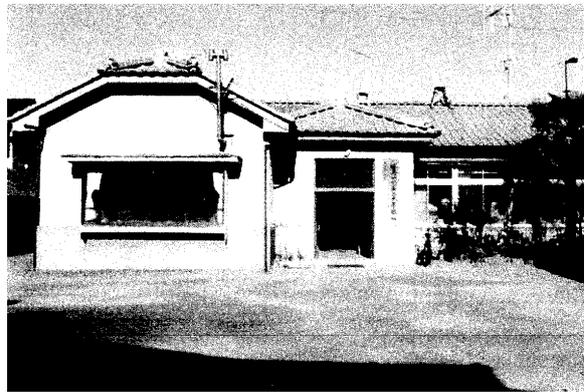
昭和58年 保原町大泉字大池内124番地の合同庁舎完成により移転



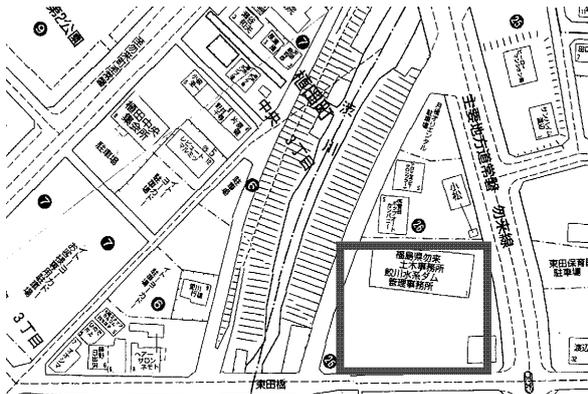
【植田土木監督所の移り変わり】



昭和20年4月 植田町字後宿26-2 (後に本町三丁目3-2) に平土木監督所植田出張所を設置、昭和23年10月に土木監督所へ昇格



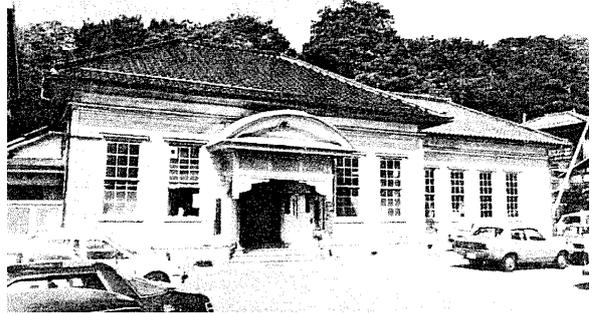
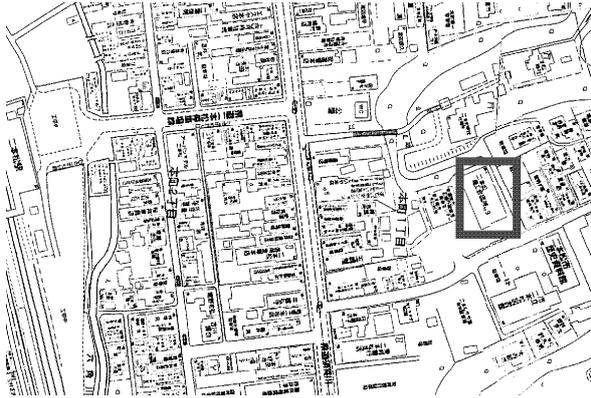
昭和56年



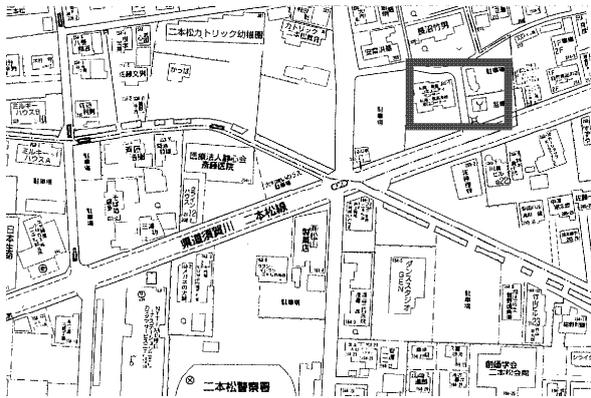
昭和56年3月 いわき市東町川端42番地の1に新庁舎を建設し移転



【二本松土木監督所の移り変わり】

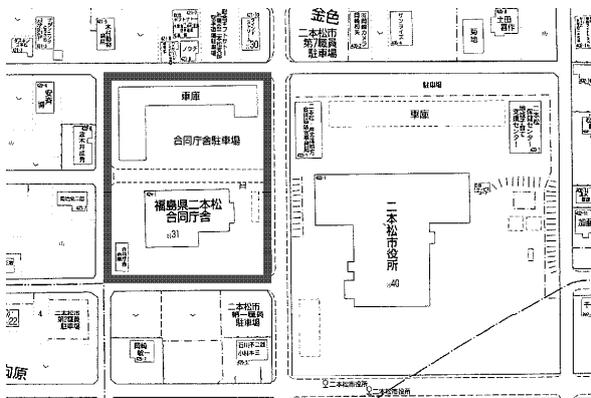


昭和21年4月 郡土木監督所の管轄区域を分割し、二本松土木監督所を二本松町久保町1-57の県安達事務所（旧安達郡役所）内に設置



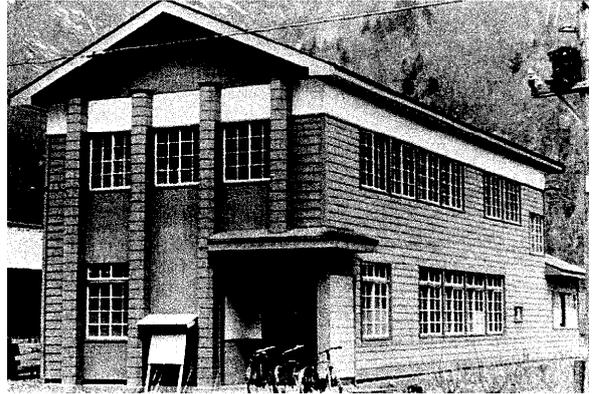
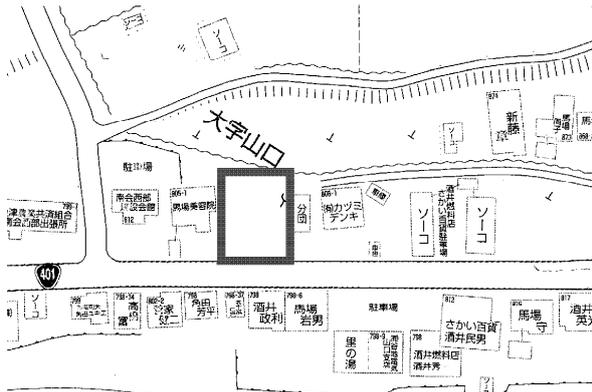
昭和24年5月 二本松町字下浮田（後に若宮）13に庁舎を新築し移転

昭和28年

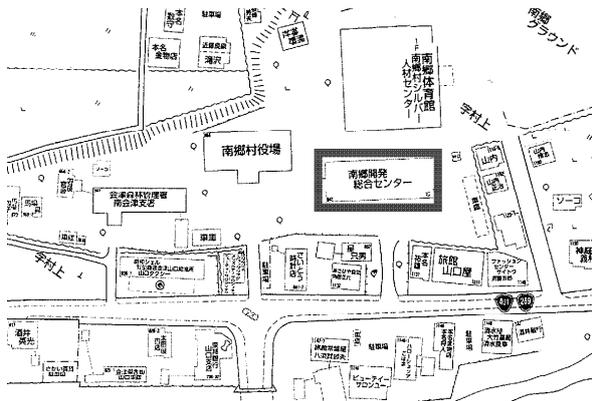


昭和60年3月 二本松市金色424番地1に二本松合同庁舎新築により移転

【山口土木監督所の移り変わり】



昭和11年3月 大宮村大字山口字三百刈（後に村上）807-3に田島土木監督所山口出張所を設置、昭和22年10月に臨時土木監督所へ、昭和25年9月に土木監督所へ昇格 昭和25年



昭和45年 田島町大字山口字村上842番地の南郷合同会に移転

第二章 土木部の事業 ～平成の歩み～

1 予算及び職員数

(1) 土木部予算の推移

(単位:百万円)

年度	県歳出	土木費	県歳出に対する土木費の占める割合
昭和 22	1,230	195	15.9%
23	3,391	791	23.3%
24	5,010	1,314	26.2%
25	6,302	1,562	24.8%
26	8,669	1,390	16.0%
27	11,136	2,128	19.1%
28	14,883	3,015	20.3%
29	16,082	3,064	19.1%
30	15,917	2,127	13.4%
31	16,786	2,664	15.9%
32	17,834	2,753	15.4%
33	19,728	3,766	19.1%
34	22,071	5,147	23.3%
35	25,645	5,918	23.1%
36	31,887	7,716	24.2%
37	37,493	8,521	22.7%
38	42,517	9,231	21.7%
39	49,663	11,354	22.9%
40	56,818	13,175	23.2%
41	66,417	16,966	25.5%
42	75,369	20,275	26.9%
43	88,669	22,595	25.5%
44	105,355	27,222	25.8%
45	120,709	31,353	26.0%
46	143,783	41,115	28.6%
47	173,669	51,878	29.9%
48	190,678	53,935	28.3%
49	248,978	59,920	24.1%
50	287,220	67,135	23.4%
51	316,923	74,438	23.5%
52	379,977	96,364	25.4%
53	437,174	113,985	26.1%
54	482,727	121,709	25.2%
55	509,391	126,989	24.9%
56	561,222	144,298	25.7%
57	570,491	145,872	25.6%
58	571,270	138,613	24.3%
59	577,458	137,662	23.8%
60	614,539	149,990	24.4%
61	600,041	128,260	21.4%
62	612,542	138,146	22.6%
63	635,482	158,491	24.9%
平成 元	685,703	172,924	25.2%
2	736,629	180,683	24.5%
3	789,818	179,466	22.7%
4	827,163	187,697	22.7%
5	840,152	194,460	23.1%
6	902,858	230,947	25.6%
7	910,052	214,951	23.6%
8	942,672	231,674	24.6%
9	982,417	233,933	23.8%
10	1,001,757	219,655	21.9%
11	1,009,817	216,689	21.5%
12	1,019,420	200,014	19.6%
13	1,010,168	190,031	18.8%
14	959,943	158,754	16.5%
15	936,633	157,353	16.8%
16	909,629	145,217	16.0%
17	925,035	136,298	14.7%
18	870,929	124,841	14.3%
19	851,189	116,500	13.7%
20	840,719	112,246	13.4%

(2) 土木部一般会計予算(当初)

(単位:千円)

区 分	平成元年度		平成2年度		平成3年度		平成4年度		平成5年度	
	当初予算	構成比								
【投資的経費】	147,240,893	85.1%	153,838,529	85.0%	152,819,057	85.2%	158,974,970	84.7%	157,850,005	81.2%
1. 普通建設事業費	114,548,388	66.2%	117,502,580	64.9%	119,763,633	66.7%	124,881,170	66.5%	128,175,006	65.9%
(1)補助事業	88,912,485	51.4%	90,493,581	50.0%	89,249,562	49.7%	85,387,020	45.5%	86,011,743	44.2%
道路	37,594,663	21.7%	38,100,533	21.0%	38,033,252	21.2%	36,922,752	19.7%	39,649,600	20.4%
河川・ダム・海岸	22,691,669	13.1%	20,040,523	11.1%	19,137,094	10.7%	20,892,431	11.1%	20,411,240	10.5%
砂防	9,978,174	5.8%	10,467,282	5.8%	10,747,868	6.0%	11,023,274	5.9%	10,764,300	5.5%
漁港・港湾	5,764,306	3.3%	5,593,370	3.1%	5,760,120	3.2%	4,762,878	2.5%	4,544,074	2.3%
空港	5,552,000	3.2%	7,940,000	4.4%	5,052,000	2.8%	869,800	0.5%	0	0.0%
都市計画	4,892,430	2.8%	5,430,963	3.0%	6,530,350	3.6%	6,394,150	3.4%	5,698,330	2.9%
住宅	2,367,243	1.4%	2,700,910	1.5%	3,365,557	1.9%	3,829,516	2.0%	4,810,199	2.5%
その他	72,000	0.0%	220,000	0.1%	623,321	0.3%	692,219	0.4%	134,000	0.1%
(2)単独事業	25,635,903	14.8%	27,008,999	14.9%	30,514,071	17.0%	39,494,150	21.0%	42,163,263	21.7%
道路	19,987,391	11.6%	20,806,976	11.5%	21,931,312	12.2%	27,045,175	14.4%	30,056,846	15.5%
河川・ダム・海岸	1,721,631	1.0%	1,901,743	1.1%	1,908,399	1.1%	1,755,232	0.9%	2,443,685	1.3%
砂防	343,400	0.2%	348,900	0.2%	415,441	0.2%	413,595	0.2%	506,520	0.3%
漁港・港湾	124,273	0.1%	150,916	0.1%	224,008	0.1%	281,861	0.2%	197,209	0.1%
空港	1,248,622	0.7%	1,060,727	0.6%	945,763	0.5%	2,412,777	1.3%	377,201	0.2%
都市計画	1,918,164	1.1%	2,445,472	1.4%	4,438,499	2.5%	6,730,513	3.6%	6,903,484	3.6%
住宅	246,275	0.1%	291,192	0.2%	560,920	0.3%	616,364	0.3%	507,519	0.3%
その他	46,147	0.0%	3,073	0.0%	89,729	0.0%	238,633	0.1%	1,170,799	0.6%
2. 災害復旧事業費	11,762,006	6.8%	15,364,281	8.5%	12,762,176	7.1%	14,058,345	7.5%	10,260,897	5.3%
(1)補助事業	11,584,618	6.7%	15,186,837	8.4%	12,584,732	7.0%	13,880,901	7.4%	10,083,453	5.2%
(2)単独事業	177,388	0.1%	177,444	0.1%	177,444	0.1%	177,444	0.1%	177,444	0.1%
3. 国直轄事業負担金	20,930,499	12.1%	20,971,668	11.6%	20,293,248	11.3%	20,035,455	10.7%	19,414,102	10.0%
道路	10,707,255	6.2%	11,095,973	6.1%	10,616,046	5.9%	10,616,046	5.7%	10,698,517	5.5%
河川・ダム・砂防	6,963,861	4.0%	7,008,952	3.9%	7,044,589	3.9%	6,750,769	3.6%	6,080,385	3.1%
港湾	3,259,383	1.9%	2,866,743	1.6%	2,632,613	1.5%	2,668,640	1.4%	2,635,200	1.4%
【一般的経費】	11,162,921	6.5%	12,740,162	7.0%	12,534,369	7.0%	13,633,621	7.3%	19,618,317	10.1%
1. 維持補修費	7,130,703	4.1%	7,855,927	4.3%	8,467,865	4.7%	9,688,026	5.2%	15,286,754	7.9%
道路	5,545,694	3.2%	6,148,776	3.4%	6,776,178	3.8%	7,663,454	4.1%	12,746,725	6.6%
河川・海岸	327,187	0.2%	328,148	0.2%	295,804	0.2%	338,342	0.2%	450,148	0.2%
砂防	42,213	0.0%	47,666	0.0%	47,617	0.0%	67,617	0.0%	67,617	0.0%
漁港・港湾	134,793	0.1%	138,217	0.1%	183,027	0.1%	200,875	0.1%	219,104	0.1%
住宅	401,503	0.2%	728,285	0.4%	560,829	0.3%	582,372	0.3%	386,570	0.2%
営繕等	679,313	0.4%	464,835	0.3%	604,410	0.3%	835,366	0.4%	1,416,590	0.7%
2. その他	4,032,218	2.3%	4,884,235	2.7%	4,066,504	2.3%	3,945,595	2.1%	4,331,563	2.2%
【義務的経費】	6,404,533	3.7%	6,611,181	3.7%	7,508,395	4.2%	8,406,190	4.5%	8,813,037	4.5%
【繰出金】	8,116,135	4.7%	7,861,957	4.3%	6,604,012	3.7%	6,682,622	3.6%	8,178,860	4.2%
合計(ア)	172,924,482	100.0%	181,051,829	100.0%	179,465,833	100.0%	187,697,403	100.0%	194,460,219	100.0%
※県予算額(イ)	685,703,848		736,628,937		789,818,329		827,162,856		840,152,291	
構成比:(ア)/(イ)	25.2%		24.6%		22.7%		22.7%		23.1%	

(単位:千円)

区 分	平成6年度		平成7年度		平成8年度		平成9年度		平成10年度	
	当初予算	構成比	当初予算	構成比	当初予算	構成比	当初予算	構成比	当初予算	構成比
【投資的経費】	173,384,390	75.1%	185,165,816	86.1%	201,186,215	86.8%	198,873,087	85.0%	186,090,371	84.7%
1. 普通建設事業費	143,269,946	62.0%	155,245,402	72.2%	167,526,379	72.3%	169,724,553	72.6%	159,550,544	72.6%
(1)補助事業	87,253,548	37.8%	93,957,788	43.7%	102,260,203	44.1%	101,437,555	43.4%	92,398,908	42.1%
道路	41,260,968	17.9%	43,670,616	20.3%	45,644,737	19.7%	40,517,716	17.3%	37,430,444	17.0%
河川・ダム・海岸	19,620,226	8.5%	20,272,318	9.4%	20,314,826	8.8%	20,651,956	8.8%	21,403,068	9.7%
砂防	10,540,000	4.6%	10,554,600	4.9%	10,908,100	4.7%	10,893,727	4.7%	9,401,000	4.3%
漁港・港湾	5,144,000	2.2%	4,863,886	2.3%	5,975,150	2.6%	5,988,200	2.6%	5,665,124	2.6%
空港	80,000	0.0%	3,900,000	1.8%	5,640,000	2.4%	9,050,000	3.9%	4,900,000	2.2%
都市計画	5,539,550	2.4%	6,950,550	3.2%	8,584,050	3.7%	8,380,050	3.6%	9,397,050	4.3%
住宅	4,102,504	1.8%	2,978,384	1.4%	2,840,273	1.2%	3,832,657	1.6%	2,910,680	1.3%
その他	966,300	0.4%	767,434	0.4%	2,353,067	1.0%	2,123,249	0.9%	1,291,542	0.6%
(2)単独事業	56,016,398	24.3%	61,287,614	28.5%	65,266,176	28.2%	68,286,998	29.2%	67,151,636	30.6%
道路	41,787,251	18.1%	49,722,576	23.1%	54,580,119	23.6%	56,245,688	24.0%	53,812,053	24.5%
河川・ダム・海岸	3,313,868	1.4%	4,640,632	2.2%	3,924,361	1.7%	5,004,370	2.1%	4,435,890	2.0%
砂防	664,513	0.3%	682,343	0.3%	758,093	0.3%	1,039,128	0.4%	802,516	0.4%
漁港・港湾	236,784	0.1%	291,531	0.1%	264,319	0.1%	765,904	0.3%	1,062,928	0.5%
空港	366,002	0.2%	572,741	0.3%	432,927	0.2%	1,190,231	0.5%	3,435,222	1.6%
都市計画	6,768,045	2.9%	3,439,408	1.6%	2,676,929	1.2%	2,154,154	0.9%	2,175,117	1.0%
住宅	1,338,099	0.6%	924,360	0.4%	1,358,345	0.6%	1,190,107	0.5%	829,454	0.4%
その他	1,541,836	0.7%	1,014,023	0.5%	1,271,083	0.5%	697,416	0.3%	598,456	0.3%
2. 災害復旧事業費	11,590,302	5.0%	11,796,323	5.5%	14,761,171	6.4%	11,309,792	4.8%	9,949,797	4.5%
(1)補助事業	11,413,302	4.9%	11,619,323	5.4%	14,584,171	6.3%	11,132,792	4.8%	9,772,797	4.4%
(2)単独事業	177,000	0.1%	177,000	0.1%	177,000	0.1%	177,000	0.1%	177,000	0.1%
3. 国直轄事業負担金	18,524,142	8.0%	18,124,091	8.4%	18,898,665	8.2%	17,838,742	7.6%	16,590,030	7.6%
道路	10,484,917	4.5%	11,009,200	5.1%	11,826,500	5.1%	10,767,000	4.6%	10,231,882	4.7%
河川・ダム・砂防	6,364,105	2.8%	5,563,551	2.6%	5,504,165	2.4%	5,498,842	2.4%	4,897,948	2.2%
港湾	1,675,120	0.7%	1,551,340	0.7%	1,568,000	0.7%	1,572,900	0.7%	1,460,200	0.7%
【一般的経費】	13,035,417	5.6%	12,946,822	6.0%	11,548,634	5.0%	14,135,523	6.0%	15,291,398	7.0%
1. 維持補修費	8,869,592	3.8%	9,171,332	4.3%	7,986,081	3.4%	10,289,493	4.4%	11,247,421	5.1%
道路	5,387,214	2.3%	5,859,770	2.7%	4,379,497	1.9%	6,921,664	3.0%	7,728,618	3.5%
河川・海岸	440,077	0.2%	571,095	0.3%	640,211	0.3%	395,592	0.2%	328,076	0.1%
砂防	67,617	0.0%	67,617	0.0%	102,616	0.0%	102,623	0.0%	102,623	0.0%
漁港・港湾	210,261	0.1%	205,220	0.1%	201,825	0.1%	239,808	0.1%	234,950	0.1%
住宅	397,130	0.2%	455,845	0.2%	452,362	0.2%	453,246	0.2%	766,960	0.3%
営繕等	2,367,293	1.0%	2,011,785	0.9%	2,209,570	1.0%	2,176,560	0.9%	2,086,194	0.9%
2. その他	4,165,825	1.8%	3,775,490	1.8%	3,562,553	1.5%	3,846,030	1.6%	4,043,977	1.8%
【義務的経費】	37,195,729	16.1%	9,241,605	4.3%	9,406,688	4.1%	9,868,011	4.2%	9,936,924	4.5%
【繰出金】	7,331,075	3.2%	7,596,333	3.5%	9,532,397	4.1%	11,056,736	4.7%	8,336,763	3.8%
合計(ア)	230,946,611	100.0%	214,950,576	100.0%	231,673,934	100.0%	233,933,357	100.0%	219,655,456	100.0%
※県予算額(イ)	902,858,030		910,051,866		942,672,143		982,417,215		1,001,757,037	
構成比:(ア)/(イ)	25.6%		23.6%		24.6%		23.8%		21.9%	

(単位:千円)

区 分	平成11年度		平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度	
	当初予算	構成比	当初予算	構成比	当初予算	構成比	当初予算	構成比	当初予算	構成比
【投資的経費】	181,099,402	83.6%	162,894,064	81.4%	153,223,174	80.6%	121,741,042	76.7%	120,067,450	76.3%
1. 普通建設事業費	149,088,582	68.8%	128,638,484	64.3%	119,146,596	62.7%	93,475,152	58.9%	88,791,260	56.4%
(1)補助事業	93,192,118	43.0%	80,687,800	40.3%	74,342,106	39.1%	58,958,651	37.1%	52,074,859	33.1%
道路	37,045,500	17.1%	34,104,760	17.1%	32,063,384	16.9%	24,635,500	15.5%	20,412,610	13.0%
河川・ダム・海岸	27,310,048	12.6%	22,234,672	11.1%	19,651,628	10.3%	16,642,485	10.5%	16,586,825	10.5%
砂防	10,074,200	4.6%	9,067,300	4.5%	8,365,360	4.4%	6,552,900	4.1%	6,264,284	4.0%
漁港・港湾	5,102,400	2.4%	4,410,900	2.2%	4,075,600	2.1%	3,064,400	1.9%	2,828,800	1.8%
空港	2,052,000	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
都市計画	8,835,230	4.1%	8,254,500	4.1%	7,852,900	4.1%	6,056,100	3.8%	3,973,500	2.5%
住宅	2,772,740	1.3%	2,615,668	1.3%	2,333,234	1.2%	2,007,266	1.3%	2,008,840	1.3%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
(2)単独事業	55,896,464	25.8%	47,950,684	24.0%	44,804,490	23.6%	34,516,501	21.7%	36,716,401	23.3%
道路	41,349,707	19.1%	35,890,079	17.9%	31,974,221	16.8%	26,448,568	16.7%	26,725,551	17.0%
河川・ダム・海岸	2,850,733	1.3%	1,815,392	0.9%	1,108,899	0.6%	487,569	0.3%	638,445	0.4%
砂防	665,677	0.3%	331,074	0.2%	264,283	0.1%	173,574	0.1%	156,040	0.1%
漁港・港湾	936,692	0.4%	878,759	0.4%	715,600	0.4%	148,090	0.1%	128,781	0.1%
空港	706,809	0.3%	939,704	0.5%	998,297	0.5%	34,500	0.0%	30,222	0.0%
都市計画	8,500,173	3.9%	7,509,127	3.8%	6,773,287	3.6%	5,723,200	3.6%	6,185,900	3.9%
住宅	272,640	0.1%	193,024	0.1%	84,589	0.0%	34,000	0.0%	6,400	0.0%
その他	614,033	0.3%	393,525	0.2%	2,885,314	1.5%	1,467,000	0.9%	2,845,062	1.8%
2. 災害復旧事業費	12,316,325	5.7%	14,352,489	7.2%	14,326,763	7.5%	10,999,397	6.9%	14,751,854	9.4%
(1)補助事業	12,139,325	5.6%	14,175,489	7.1%	14,149,763	7.4%	10,999,397	6.9%	14,751,854	9.4%
(2)単独事業	177,000	0.1%	177,000	0.1%	177,000	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
3. 国直轄事業負担金	19,694,495	9.1%	19,903,091	10.0%	19,749,815	10.4%	17,266,493	10.9%	16,524,336	10.5%
道路	11,199,701	5.2%	12,325,791	6.2%	12,824,539	6.7%	11,542,085	7.3%	11,195,822	7.1%
河川・ダム・砂防	7,054,794	3.3%	5,709,800	2.9%	5,300,976	2.8%	4,805,584	3.0%	4,437,565	2.8%
港湾	1,440,000	0.7%	1,867,500	0.9%	1,624,300	0.9%	918,824	0.6%	890,949	0.6%
【一般的経費】	17,172,623	7.9%	17,458,899	8.7%	17,475,378	9.2%	19,308,626	12.2%	20,240,946	12.9%
1. 維持補修費	13,156,436	6.1%	13,678,728	6.8%	13,784,744	7.3%	9,736,160	6.1%	9,091,514	5.8%
道路	9,473,292	4.4%	9,287,564	4.6%	9,360,163	4.9%	8,631,803	5.4%	7,989,100	5.1%
河川・海岸	586,924	0.3%	881,952	0.4%	965,196	0.5%	723,177	0.5%	715,234	0.5%
砂防	102,557	0.0%	102,557	0.1%	146,499	0.1%	130,644	0.1%	136,644	0.1%
漁港・港湾	349,099	0.2%	343,545	0.2%	264,329	0.1%	250,536	0.2%	250,536	0.2%
住宅	477,809	0.2%	841,525	0.4%	900,937	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
営繕等	2,166,755	1.0%	2,221,585	1.1%	2,147,620	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
2. その他	4,016,187	1.9%	3,780,171	1.9%	3,690,634	1.9%	9,572,466	6.0%	11,149,432	7.1%
【義務的経費】	10,306,530	4.8%	10,206,892	5.1%	10,123,121	5.3%	9,641,540	6.1%	9,568,644	6.1%
【繰出金】	8,110,381	3.7%	9,454,152	4.7%	9,209,122	4.8%	8,062,505	5.1%	7,475,993	4.8%
合計(ア)	216,688,936	100.0%	200,014,007	100.0%	190,030,795	100.0%	158,753,713	100.0%	157,353,033	100.0%
※県予算額(イ)	1,009,816,872		1,019,419,568		1,010,167,563		959,943,016		936,633,115	
構成比:(ア)/(イ)	21.5%		19.6%		18.8%		16.5%		16.8%	

(単位:千円)

区 分	平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	当初予算	構成比								
【投資的経費】	108,369,907	74.6%	101,530,760	74.5%	89,661,057	71.2%	82,927,802	71.2%	78,125,593	69.6%
1. 普通建設事業費	84,929,635	58.5%	78,825,275	57.8%	69,965,859	55.6%	59,709,053	51.3%	56,005,690	49.9%
(1)補助事業	51,410,267	35.4%	47,554,496	34.9%	36,441,610	28.9%	28,362,034	24.3%	24,658,256	22.0%
道路	21,296,900	14.7%	21,196,046	15.6%	15,031,488	11.9%	11,216,449	9.6%	11,849,638	10.6%
河川・ダム・海岸	17,059,206	11.7%	15,420,602	11.3%	12,425,610	9.9%	9,972,950	8.6%	5,720,956	5.1%
砂防	5,506,106	3.8%	4,807,868	3.5%	3,830,760	3.0%	3,223,000	2.8%	2,873,000	2.6%
漁港・港湾	2,794,656	1.9%	2,586,320	1.9%	2,363,186	1.9%	1,904,620	1.6%	1,978,986	1.8%
空港	0	0.0%	0	0.0%	5,000	0.0%	77,000	0.1%	158,000	0.1%
都市計画	3,038,200	2.1%	2,041,000	1.5%	1,541,000	1.2%	957,000	0.8%	1,001,000	0.9%
住宅	1,715,199	1.2%	1,502,660	1.1%	1,244,566	1.0%	1,011,015	0.9%	1,076,676	1.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
(2)単独事業	33,519,368	23.1%	31,270,779	22.9%	33,524,249	26.6%	31,347,019	26.9%	31,347,434	27.9%
道路	23,078,158	15.9%	20,470,339	15.0%	20,537,051	16.3%	20,279,600	17.4%	22,948,346	20.4%
河川・ダム・海岸	506,945	0.3%	462,413	0.3%	439,615	0.3%	706,048	0.6%	998,506	0.9%
砂防	156,140	0.1%	143,016	0.1%	128,195	0.1%	140,700	0.1%	203,400	0.2%
漁港・港湾	121,581	0.1%	111,440	0.1%	99,850	0.1%	91,038	0.1%	124,009	0.1%
空港	27,180	0.0%	15,064	0.0%	17,934	0.0%	8,000	0.0%	13,187	0.0%
都市計画	6,277,964	4.3%	6,609,644	4.8%	8,957,447	7.1%	6,953,750	6.0%	3,855,279	3.4%
住宅	6,400	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	3,345,000	2.3%	3,458,863	2.5%	3,344,157	2.7%	3,167,883	2.7%	3,204,707	2.9%
2. 災害復旧事業費	8,141,521	5.6%	8,364,500	6.1%	5,784,442	4.6%	7,215,719	6.2%	5,732,109	5.1%
(1)補助事業	8,141,521	5.6%	8,364,500	6.1%	5,784,442	4.6%	7,215,719	6.2%	5,732,109	5.1%
(2)単独事業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3. 国直轄事業負担金	15,298,751	10.5%	14,340,985	10.5%	13,910,756	11.0%	16,003,030	13.7%	16,387,794	14.6%
道路	10,859,947	7.5%	10,292,650	7.6%	9,983,871	7.9%	12,562,090	10.8%	12,185,093	10.9%
河川・ダム・砂防	3,574,584	2.5%	3,210,042	2.4%	2,823,805	2.2%	2,471,834	2.1%	2,579,801	2.3%
港湾	864,220	0.6%	838,293	0.6%	1,103,080	0.9%	969,106	0.8%	1,622,900	1.4%
【一般的経費】	18,819,865	13.0%	18,242,651	13.4%	20,070,988	15.9%	18,230,473	15.6%	19,236,758	17.1%
1. 維持補修費	8,930,997	6.2%	8,586,467	6.3%	10,363,660	8.2%	10,150,803	8.7%	10,450,337	9.3%
道路	7,845,515	5.4%	7,481,915	5.5%	9,227,203	7.3%	9,014,355	7.7%	9,293,064	8.3%
河川・海岸	704,234	0.5%	744,234	0.5%	723,234	0.6%	723,234	0.6%	743,669	0.7%
砂防	130,644	0.1%	125,844	0.1%	179,300	0.1%	179,300	0.2%	179,300	0.2%
漁港・港湾	250,604	0.2%	234,474	0.2%	233,923	0.2%	233,914	0.2%	234,304	0.2%
住宅	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
営繕等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2. その他	9,888,868	6.8%	9,656,184	7.1%	9,707,328	7.7%	8,079,670	6.9%	8,786,421	7.8%
【義務的経費】	10,787,102	7.4%	9,425,234	6.9%	9,505,470	7.6%	9,288,163	8.0%	8,972,545	8.0%
【繰出金】	7,240,273	5.0%	7,099,702	5.2%	6,652,734	5.3%	6,053,573	5.2%	5,911,021	5.3%
合計(ア)	145,217,147	100.0%	136,298,347	100.0%	125,890,249	100.0%	116,500,011	100.0%	112,245,917	100.0%
※県予算額(イ)	909,629,184		925,035,437		870,928,927		851,188,674		840,718,907	
構成比:(ア)/(イ)	16.0%		14.7%		14.5%		13.7%		13.4%	

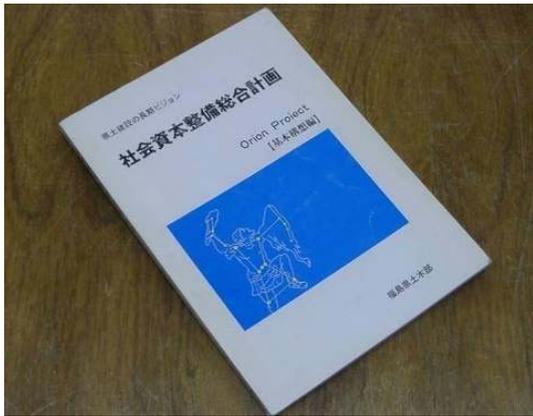
(3) 職員数の推移

年 度	事 務	土 木	建 築	その他	技 能	合 計
元	422	703	94	37	313	1,569
2	425	711	95	40	292	1,563
3	434	709	94	41	276	1,554
4	434	725	96	40	254	1,549
5	441	723	95	41	236	1,536
6	443	741	100	43	220	1,547
7	445	735	102	48	208	1,538
8	455	742	104	48	197	1,546
9	449	748	107	48	183	1,535
10	458	752	107	49	176	1,542
11	463	751	103	50	167	1,534
12	447	770	107	48	159	1,531
13	440	748	106	45	152	1,491
14	430	745	111	46	144	1,476
15	421	729	112	49	139	1,450
16	407	715	107	48	127	1,404
17	405	705	107	50	119	1,386
18	398	702	105	50	114	1,369
19	381	694	102	50	107	1,334
20	361	681	100	48	103	1,293

2 土木総務・企画技術領域

年	月	事項・事象
平成元年	9月	○ 「土木部高度情報化事業推進基本構想」策定
平成2年		● 「社会資本整備総合計画（オリオン・プロジェクト）～基本構想編」策定
平成4年	4月1日	● 「設計積算システム」の本格運用開始
	6月9日	○ 魅力ある職場環境の創出のための「イメージアップ費」の導入
	6月29日	○ 工事発注の平準化の一環として「フレックス工事」の試行
	12月	○ 福島県長期総合計画「ふくしま新世紀プラン」策定
平成5年	3月	○ 「事業執行管理システム」の運用開始
	3月	○ 「河川流域総合情報システム」の一部運用開始
		○ 「優秀施工者県知事顕彰制度」創設
平成6年	2月24日	○ 第1回「福島県建設業審議会」開催
	3月	● 「ふくしま県土建設プラン（オリオンプロジェクト）」策定
	4月1日	○ 行政機構改革による新しい組織体制のスタート（調査課、道路課、河川砂防課等）
	5月	○ 「土木部建設技術研究大綱」の制定
	12月1日	○ 一般競争入札、公募型・技術評価型意向確認方式・希望工種反映型指名競争入札の導入
平成7年	3月	● 「うつくしま土木建築歴史発見」の発刊
	4月1日	○ 「土木部コンクリート製品認定要綱」の制定
		● 「ふくしま国体」開催
平成8年	6月	○ 「事業計画支援システム」の運用開始
平成10年	1月	○ 「福島県公共工事コスト縮減行動計画」の策定
	4月	○ 「土木業務連携システム」の運用開始
		● 「生活基盤緊急整備事業」の創設
平成11年	3月	○ 「建設リサイクルガイドライン」の策定
	3月31日	○ 建設技術研究所の廃止（建設技術センターへの移譲）
	12月	○ 「道路管理台帳システム」の一部運用開始
平成12年	4月	○ 「用地取得支援システム」の一部運用開始
		○ 「住宅・営繕施設台帳管理システム」の一部運用開始
		○ 「河川流域総合情報システム」の県内全域の運用開始
	12月	○ 福島県新長期総合計画「うつくしま21」策定
平成13年	3月	○ 「福島県公共工事コスト縮減新行動計画」策定
		● 「土木ITプラン21」策定
		○ 「生活基盤緊急改善事業」の創設
		● 「うつくしま未来博」開催
	11月	● 「うつくしま建設プラン21～ともに考え、ともにつくる美しい県土～」策定
平成14年	2月	○ 「土木設計マニュアル」の改訂（緑色表紙）（～平成16年7月）
	3月	● 「うつくしま土木建築景観ウォッチング」の発刊
	5月	○ 「福島県における特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施に関する指針」の策定
	6月11日	○ 「福島県元請・下請関係適正化指導要綱」の改正
	6月11日	○ 「工事現場における施工体制点検マニュアル」の策定
	7月1日	○ 「新工事工種体系対応設計積算システム」の運用開始
平成15年	3月	○ 「土木部建設技術推進方針」を策定
	4月1日	○ F F型行政組織の導入に伴う行政組織の改正（グループ制）
		○ 「地域づくり環境改善事業」の創設
		○ 電子入札・電子納品に対応した「CALS/EC」の導入に関する調査分析の開始
	5月1日	○ 「条件付一般競争入札」の試行

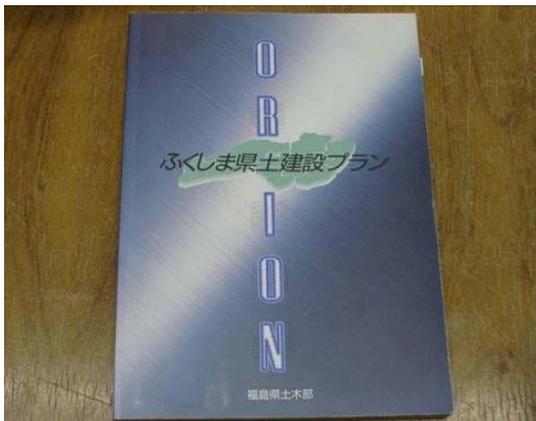
年	月	事項・事象
	7月 1日	○ 新たな「土木部工事監督員執務要綱」の制定 ○ 「土木建築工事検査基準」の改正
平成16年	2月	○ 「福島県公共工事コスト縮減新行動計画」の改定 ○ 「土木ITプラン21」再編
	3月23日	○ 「福島県入札監視委員会」設置 ○ 「福島県公共事業施行対策本部会議」の事務局が土木部（技術管理G）へ移管 ○ 「CALS/EC」の導入に向けた電子納品の実証実験の実施 ○ 「建設業新分野進出等支援事業」実施（平成17年度まで）
	6月	○ 「建設リサイクルガイドライン」の改正（目標値の明記）
平成17年	3月	● 「ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針」策定
	4月	○ 「OJTモデル工事研修」の実施
	5月	○ 「複数監督員制度」の実施
平成18年	4月	○ 「福島県公共工事コスト縮減新行動計画」における第3期計画策定 ○ 「過疎・中山間地域建設業農業分野進出支援事業」実施（平成19年度まで）
	8月	○ 「総合評価方式入札」の試行実施
平成19年	2月	○ 「新建設業管理システム」の運用開始
	4月	○ 工事検査Gが土木部から出納局へ移行 ○ 「条件付一般競争入札」の本格実施 ○ 入札制度に関する業務が総務部に移管
	10月	○ 「条件付一般競争入札」の全面実施、指名競争入札の廃止
	11月	○ 「電子納品保管管理システム」の運用開始
平成20年	2月	○ 「土木ITプラン21」再編



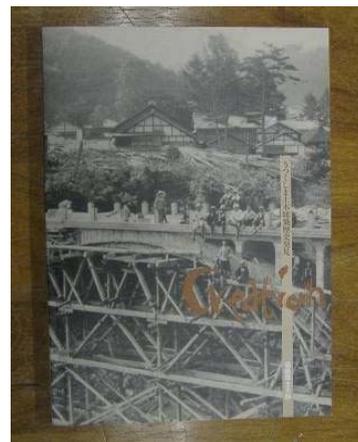
平成2年「社会資本整備計画(オリオン・プロジェクト)～基本構想編」策定



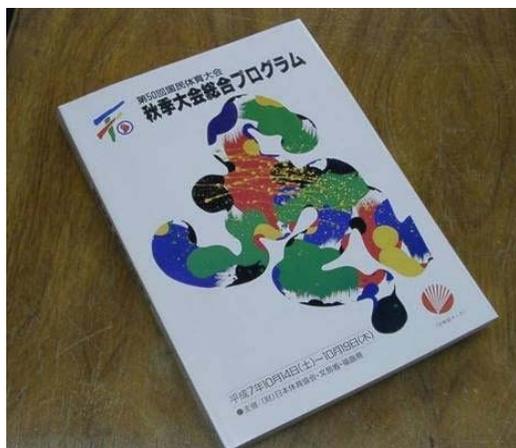
平成5年3月「事業執行管理システム」の運用開始
「河川流域総合情報システム」の一部運用開始



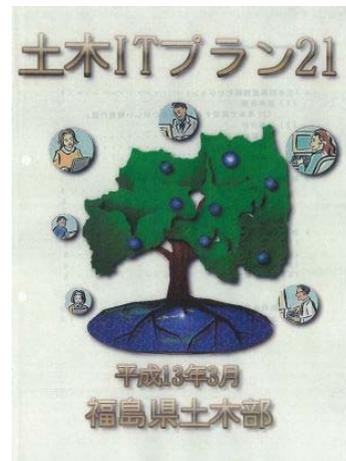
平成6年3月「ふくしま県土建設プラン(オリオン・プロジェクト)」策定



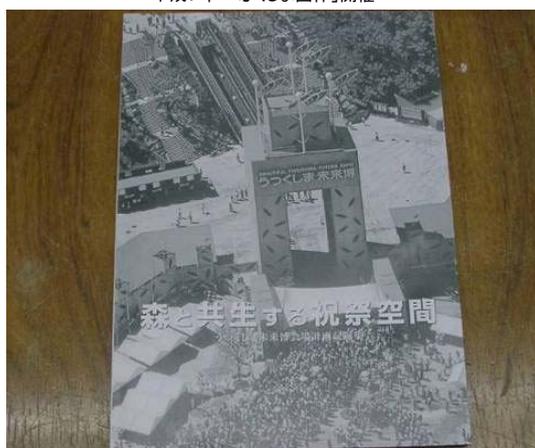
平成7年3月「うつくしま土木建築歴史発見」の発刊



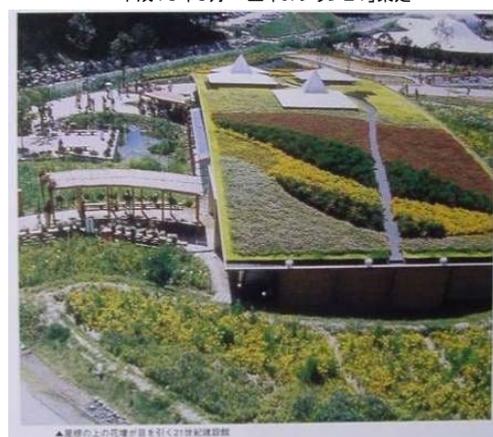
平成7年「ふくしま国体」開催



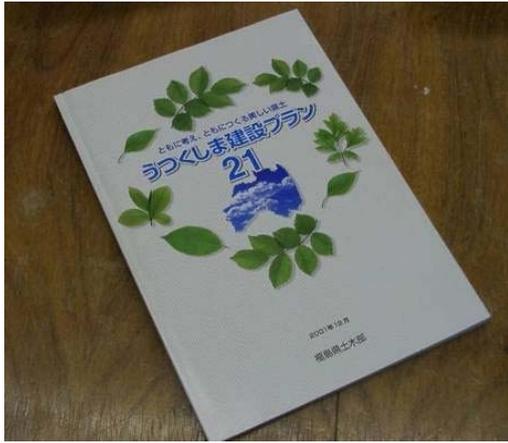
平成13年3月「土木ITプラン21」策定



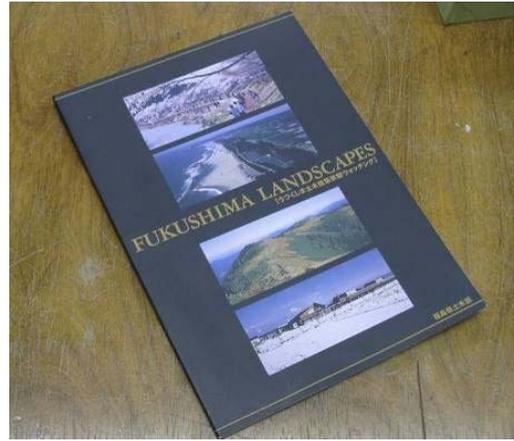
平成13年「うつくしま未来博」開催



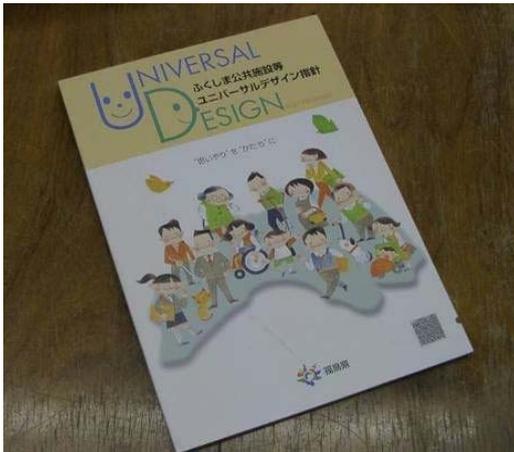
平成13年「うつくしま未来博～21世紀建設館～」



平成13年11月「うつくしま建設プラン21」策定



平成14年3月「うつくしま土木建築景観ウォッチング」の発刊



平成17年3月「ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針」策定

3 道路領域

年	月	事 項 ・ 事 象	
平成元年	3月3日	● 福島市道 中町御山町線 コミュニティ道路「ハ ^レ 材470」竣功式	
	3月25日	○ 矢祭町道 関岡関平線 新夢想橋渡り初め式	
	3月26日	○ 梁川町道 北中央線 大日橋渡橋式	
	4月26日	○ 福島市道 仁井田笹谷線 新松川歩道橋渡橋式	
	9月27日	● 国道115号 土湯道路 一期工事 L=11.3km開通、二期工事(1工区)着手 直轄施工L=5.1km区間(土湯トンネルL=3,360m)を含む。	
	10月13日	○ 国道252号 宮下バイパスL=1,960m 新宮下橋(橋長L=140m)供用開始	
	10月20日	○ 国道352号 赤岩橋(橋長L=113m)供用開始	
	10月31日	○ (主)二本松浪江線 高田橋工区L=1,400m(橋長L=183m)供用開始	
	11月6日	○ 福島市道 湯野平野線 新摺上橋竣功式	
	11月21日	○ 伊南村道 上平一ノ間々線 高畑橋竣功式	
	12月22日	○ 国道283号 山口トンネル(L=230m)供用開始	
	12月25日	○ 岩代町道 滝十文字線 高瀬橋開通式	
			● (一)上郷舟渡線 西羽賀橋L=194.8m供用開始
	平成2年	4月13日	○ 国道118号 棚倉バイパスL=2,592m供用開始 棚倉大橋(橋長L=135m)供用開始
7月31日		○ (一)福島吾妻裏磐梯線 新大倉川橋L=132m(橋長L=112.3m)供用開始	
10月29日		○ 国道252号 川口バイパスL=1,036.6m(川口トンネル206m)供用開始 ○ (一)二本松浪江線(現国道459号) 高田橋L=183m供用開始	
平成3年	3月22日	○ 国道399号 飯坂バイパスL=1,405m(飯坂トンネルL=351m)供用開始	
	3月28日	○ 福島市道 小倉寺大森線 蓬萊橋竣功式	
	5月17日	○ 郡山市道 町裏下河原線 高倉橋竣功式	
	8月6日	○ 梁川町道 町裏線 万代橋渡橋式	
	12月12日	○ 田島町道 古内長沢山背線 荒海橋渡橋式	
平成4年	12月12日	○ 梁川町 鶴ヶ岡橋渡橋式	
	3月25日	○ 福島市道 市ノ沢明内線竣功式	
	4月3日	○ (主)飯野三春栃本線(現飯野三春石川線) 柴原橋工区L=760m(柴原橋L=100m平成2年度完成 三春 ^ダ ム関連)供用開始 ○ (主)飯野三春栃本線(現飯野三春石川線) L=1,980m(中郷橋L=135.06m平成2年度完成 三春 ^ダ ム関連)供用開始	
	8月9日	○ 国道121号 大峠道路の部分供用(L=18.57km)開始	
	8月31日	○ 西会津町道 松尾萱本停車場線竣功式	
	10月28日	○ 国道400号 舟鼻工区L=1,700m(舟鼻トンネルL=625m)供用開始	
	11月25日	○ (主)郡山湖南線 三森工区L=2,782.3m(三森大橋L=187m 三森トンネルL=1,365m)供用開始	
	12月28日	○ 国道401号 倭橋(橋長L=123.5m)供用開始	
	11月	● 国道115号 土湯道路 1期工事L=1.7km(横向大橋L=350m)完成供用 土木学会田中賞受賞(水平面内アーチ作用を活用した世界初の平面アーチ構造)	
		○ (一)大平喜多方線願成寺橋(橋長L=107.1m)供用開始	
		● (主)福島保原線 福島市岡部バイパスL=1.4km 供用開始	
平成5年	2月24日	○ 中島村道 岡ノ内小針線 小針橋渡初め式	
	3月25日	○ 熱塩加納村道 赤崎宇津野線宇 津野橋渡橋式	
	3月25日	○ 福島市 川寒橋竣功式	
	4月26日	○ 郡山市道 駅前一丁目中町2号線 コミュニティ道路竣功式	
	4月28日	○ 国道401号 橋本バイパスL=2,940m(松坂1号トンネルL=1,053m H4完成 松坂2号トンネルL=336m S63完成 松坂3号トンネルL=457.6m S62完成 松坂橋L=78m S61完成)供用開始	
	8月11日	○ 国道349号 広瀬橋工区 L=440m(広瀬橋L=84.9m)供用開始	
	8月24日	○ 南郷村 わらべ橋竣功式	
	9月6日	○ 本宮町道 富士内上沢線竣功式	
	10月7日	○ 双葉町道 天王下清戸迫線 清戸迫橋開通式	
		○ 国道115号 猪苗代跨線橋(橋長L=187m)供用開始	
		○ 国道400号 田島バイパス(高野トンネルL=323m)完成	
		○ 国道289号 入叶津道路(入叶津第1トンネルL=296m)完成	

年	月	事 項 ・ 事 象
		● 国道349号 東和町針道バイパスL=1.8km 供用開始
平成6年	3月8日	○ (一)小林館の川線 黒沢橋 (L=157m) 供用開始
	3月24日	○ 須賀川市道 1-6号線 門ノ内橋渡橋式
	3月27日	○ 東村道 蕪内関平線 蕪内大橋開通式
	4月19日	○ 浅川町道 里白石石原線 青砥橋開通式
	6月30日	○ 福島市道 荒井あづま公園線 あづま公園橋竣功式
	10月19日	○ 北会津村道 下小沢和泉新田線 鶴沼橋渡橋式
	11月23日	○ 館岩村道 宮里線 一ノ瀬橋渡橋式
	11月28日	○ 国道294号 勢至堂峠バイパスL=2,832m (勢至堂トンネルL=1,147m) 供用開始
	12月9日	○ 猪苗代町道 伯父ヶ倉スキー場線竣功式
	12月27日	○ (一)福島微温湯線 仁井田橋工区 L=1,033m (仁井田橋 L=166.8m) 供用開始
		○ 国道401号 橋本バイパスL=1,320m 胡桃橋 (橋長L=132.1m) 供用開始
		○ (主)会津若松裏磐梯線 新日橋川橋 (橋長L=132m) 供用開始
		● (一)上郷舟渡線 塩峯工区 L= m (塩峯トンネルL=211m) 供用開始
		○ (主)塩川山都線 泡巻橋 (橋長L=177m) 供用開始
平成7年	3月24日	○ (主)上名倉飯坂伊達線 L=3,710m (須川橋幅L=66m) 供用開始 (日の倉橋幅L=170.3m) 供用開始
	3月28日	○ 常葉町道 早稲川線竣功式
	3月29日	○ 白河市道 西郷搦目線 西郷高原大橋 (L=265m) 供用開始
	4月11日	○ 国道400号田島バイパス1工区 L=600m (高野トンネルL=323m) 供用開始
	5月19日	○ 矢祭町道 関岡関平線・矢祭下小坂線起工式
	6月16日	○ 国道114号川俣バイパス L=3,469m (川俣トンネルL=273m) 供用開始
	7月7日	○ (主)いわき石川線 御斎所工区 L=2,160m (御斎所トンネル685mH7完)
	7月27日	○ 福島市道 平野岡島線 月の輪大橋竣功式
	8月10日	○ 須賀川市道 2313号線開通式
	12月27日	○ 郡山市道 牛庭大槻線開通式
	9月8日	○ (主)棚倉矢吹線矢吹大橋L=866.8m (橋長L=329m) 供用開始
	10月12日	○ 国道115号 土湯道路 2期工事 L=0.9km 供用開始 産が沢橋 (橋長L=100m) 供用開始
	3月	○ (一)成田鏡田線L=2,207m (笠石高架橋 L=372m) 供用開始
		○ 国道113号 椎木工区 完成供用
平成8年	2月14日	○ (一)須賀川二本松線 奥州松の大橋工区L=410m (奥州松の大橋L=165.9m) 供用開始
	3月27日	○ 国道114号 渡利バイパス 渡利大橋L=415m (橋長L=224m) 供用開始
	4月17日	○ 飯野町道 才ノ内線開通式
	12月11日	● (主)柳津昭和線 西山工区L=1,536m 西山大橋L=102.5m 供用開始
	12月25日	○ 国道115号 土湯道路2期工事 L=2.1km 供用開始
		● 国道115号 荒井バイパスL=5.3km 供用開始
		○ 国道459号 岩代町西新殿バイパスL=1.6km 供用開始
平成9年	1月16日	○ (一)白岩久之浜線 久之浜工区L=3,960m (白岩トンネルL=203m) 供用開始
	3月24日	○ (一)飯坂桑折線 踏切除却L=2,200m (跨線部アンダーボックスカルバート工L=540m) 供用開始
	4月15日	○ (主)小野富岡線 鍋倉橋 (橋長L=106.5m) 供用開始
	4月21日	○ 二本松市道 岩崎薬師寺線 落合橋竣功式
	7月4日	● (主)小名浜小野線 住吉工区 (岡小名トンネルL=343m 相子島トンネルL=349m) 完成供用
	7月25日	○ (主)いわき上三坂小野線 遠野工区L=2,510m (遠野トンネルL=1,030m) 完成供用
	9月12日	○ 国道400号 田島バイパス1工区 L=990m (高野大橋L=175m) 供用開始
	10月14日	● (主)会津若松裏磐梯線 桧原大橋L=214m 野鳥の森橋L=104m 供用開始
	10月15日	○ (主)古殿須賀川線L=2,890m (大仏大橋 L=269.8m) 供用開始
	10月28日	○ 只見町道 十島線 十島橋竣功式
	10月28日	○ 国道289号 田人工区 (辺栗工区) L=1,527m (辺栗トンネルL=797m) 供用開始
	11月27日	● 国道401号 高田橋工区L=1,202m (高田橋 L=511.9m) 供用開始
	12月21日	○ (一)湯ノ上会津高田線 高橋工区L=320m (高橋 L=47.2m) 供用開始

年	月	事 項 ・ 事 象
平成10年	2月13日	○ 矢祭町道 関岡関平線 新山下橋竣功式
	8月21日	○ 須賀川市道 2-24号線起工式
	9月16日	○ (一)三春日和田線 小和滝橋工区L=840m(小和滝橋 L=191.8m) 供用開始
	10月28日	○ (一)浪江鹿島線 鹿島橋 (橋長L=149.8m) 供用開始 ○ 国道289号 入叶津道路 (入叶津第2トンネルL=567m) 完成
平成11年	2月12日	○ (主)棚倉矢吹線 常陸橋工区L=440m(常陸橋L=128.8m) 供用開始
	7月5日	○ 国道289号 荷路夫バイパスL=980m (根室トンネルL=218m) 供用開始
	7月24日	○ (一)岩根日和田線 輪ヶ淵橋工区L=435m(輪ヶ淵橋 L=139m) 供用開始
	12月1日	○ 国道294号 増見拡幅L=240m(美郷橋41.7m) 供用開始
	12月22日	○ (主)会津坂下山都線 山都橋 (L=115m) 供用開始 ● 国道115号 相馬南バイパ 暫定2車線供用 ○ (主)原町浪江線 原浪トンネル完成供用 ○ (一)岡部渡利線 渡利工区 (L=1.2km) 供用開始 ○ (一)岳温泉線 岳温泉ロードヒーティング完成
平成12年	2月2日	○ 国道288号 真城橋工区L=460m(真城橋 L=46.6m) 供用開始
	3月27日	● (主)川俣安達線 新飯野橋工区L=964.2m(新飯野橋L=203.0m) 供用開始
	3月29日	● 国道399号 飯坂ハ ^ハ スL=1,250m(鵬橋L=92.5m) 供用開始
	3月29日	○ 国道288号 郡山東ハ ^ハ ス L=1,850m(西田大橋L=267.5m) 供用開始
	4月25日	○ 金山町道 中川大栗山線 奈冷橋竣功式
	12月8日	○ 国道118号 羽鳥ハ ^ハ スL=750m(羽鳥トンネル L=587m) 供用開始
	12月22日	○ 国道118号 棚倉バイパスL=1,480m(棚倉トンネルL=456m 桧木大橋L=196m) 供用開始
	12月27日	○ (主)いわき石川線 皿貝工区 L=240m (御斎所洞門L=177m) 供用開始
平成13年	3月27日	● あぶくま高原道路 1-2工区供用開始 赤沢大橋(L=161.3m) うつくしま大橋(L=1,262m)
	6月5日	○ 須賀川市道 2-24号線開通式
	10月16日	○ 国道349号 船引バイパス完成供用
	6月27日	○ 西会津町道 芝草橋屋線 西林大橋開通式
	12月2日	○ 国道115号 土湯道路 横道トンネル起工式着工 (L=591m)
	12月4日	● 国道252号 松倉拡幅L=720m (松倉トンネルL=333m) 供用開始 ○ 県立いわき公園 森のわくわく橋 (L=165m) ○ 国道349号 下田工区 (L=1.3km) 供用開始
平成14年	2月14日	○ 国道289号 田人工区(銭口・川部工区) L=4,800m 供用開始 (田人大橋L=205mHI3完 四時トンネルL=1,439m HI3完)
	3月26日	● 国道118号 棚倉バイパスL=1,503m 供用開始
	4月24日	○ 高郷村 幹線道路ネットワーク整備竣功式
	4月24日	○ 白沢村道 大山松沢線 (仮称)阿武隈大橋起工式
	4月24日	● (主)小野富岡線 滝川工区L=4,865m(滝川トンネル702.0m) 供用開始 くぬぎトンネルL=97m 平成2年度完成 与市ヶ平トンネルL=119m 平成3年度完成 麓山トンネルL=588m 平成3年度完成 ちゅうかトンネルL=131m平成8年度完成 大倉トンネルL=359m 平成9年度完成
	4月24日	○ (主)小野富岡線 滝川6号橋 (橋長L=140m) 完成
	4月30日	○ 福島市道 湯野平野線供用開通式
	8月8日	○ 山都町道 広野山都線開通式
	9月18日	○ あぶくま高原道路 3工区供用開始 ひりゅう大橋 (L=382m) 川辺トンネル (L=353.5m) 吉大橋 (L=157.5m)
	11月1日	○ 館岩村道 唐沢線 唐沢トンネル起工式
	11月21日	○ 国道349号 岩代拡幅L=1,898m(口太山トンネルL=692m) 供用開始
	12月6日	○ 国道252号 あいよし橋 (あいよし橋L=93m) 竣工
	平成15年	4月16日
4月23日		○ (一)下郷会津本郷線 氷玉工区 (L=9,213.6m) 完成供用
4月30日		○ (主)須賀川三春線 江持橋工区L=680m(江持橋 L=165.5m) 供用開始
8月8日		○ 国道252号 西谷橋工区L=660m (西谷橋L=174.9m) 供用開始

年	月	事項・事象
---	---	-------

	11月30日	● 国道294号 黒森峠バイパス L=1,670m(黒森トンネルL=978m) 供用開始 ○ (主)飯野三春石川線小浜工区 (L=2.1km)供用開始 ○ 国道349号 境木バイパス (L=1.8km)供用開始
平成16年	1月15日	● 国道114号 渡利バイパス (小倉寺トンネル640mH15完、絵馬平トンネル575mH15完、中山大橋L=183mH12完) 供用開始
	1月19日	○ 国道399号中島バイパス 1工区L=660m 3工区L=220m (内倉跨線橋L=165m) 供用開始
	2月13日	● 国道399号 茂庭バイパス L=6,275m (カラブ沢橋L=279.1mH14完) 供用開始
	4月21日	○ 柳津町道 出倉野老沢線飯谷大橋開通式
	5月20日	○ 国道289号田島バイパス (L=1,080m 御蔵入大橋L=196.6m) 供用開始
	7月12日	○ (主)本宮三春線 安達橋工区L=350m(安達橋L=173.3m) が供用開始
	8月3日	○ 西会津町道 芝草西林線芝草橋開通式 あぶくま高原道路 7・8工区開通
	11月25日	○ 菖蒲谷橋 (H16完L=160m) 雁股田橋 (H16完L=167m) 雁股田トンネル (H16完L=639m) 上蓬田トンネル (H16完L=184m) 小戸神橋 (H14完L=361m) ○ 国道118号(神明通) 電線共同溝完成供用
	12月3日	● (主)郡山湖南線 三森1工区L=850m (多田野トンネルL=294m) 供用開始 ○ 国道289号 荷路夫バイパス(荷路夫トンネルL=731m H16着工 荷路夫2号橋L=331m) 着工
平成17年	4月26日	○ (一)上郷舟渡線 塩坪橋工区L=560m (塩坪橋119.4m)供用開始
	12月3日	● 国道115号土湯工区L=3.3km (横道トンネルL=591m) 供用開始 土湯バイパスL=19.3kmが全線開通し、福島市から猪苗代町までの改良が完了。
平成18年	3月4日	○ (一)白岩久之浜線 久之浜工区L=820m(久之浜跨線橋L=111.7m) 供用開始 ○ (主)いわき石川線 皿貝工区L=1,140m(皿貝トンネルL=617m) 供用開始
	3月25日	● 国道349号 鳴石トンネルL=1.3km (鳴石トンネルL=296m) 供用開始
	3月27日	● (一)喜多方会津坂下線 会青橋工区L=1,583.2m(会青橋L=388.0m) 供用開始
	8月4日	○ 国道252号 滝谷川橋工区L=560m (滝谷川橋L=149m) 供用開始
	9月5日	○ (一)小林館の川線 黒沢橋小川バイパスL=728m (待侘橋L=32m) 供用開始
	11月17日	○ 国道401号 白沢バイパス (L=1,220m) 供用開始
平成19年	4月3日	○ 須賀川市道 1-20号線開通式 ○ 国道399号 津島バイパス完成供用
	11月29日	● (主)柳津昭和線 琵琶首バイパス L=1,053.0m (獅子落洞門L=733m) 供用開始 ○ (主)いわき上三坂小野線 泉トンネル (L=234m) 完成供用
平成20年		○ 国道349号 梁川大橋工区L=1,140m (梁川大橋L=385m) 開通

(主) 福島保原線 福島市岡部バイパス (L=1.4km) 供用開始

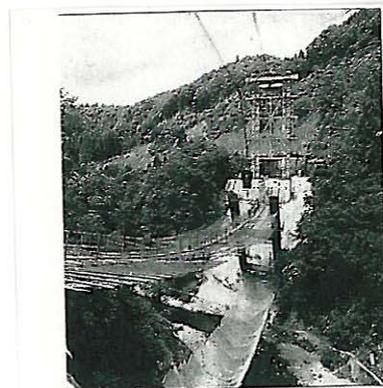


国道 349 号東和町針道バイパス (L=1.8km) 供用開始



(一) 上郷舟渡線 塩峯工区 L= m (塩峯トンネル L=211m) 供用開始

主要地方道 柳津昭和線 西山大橋 (柳津町) 平成 8 年 12 月 11 日供用
滝谷川溪谷に架かる 3 径間連続鋼方杖ラーメン橋。
(桁架設状況)



国道 115 号 荒井バイパス L=5.3km 供用開始



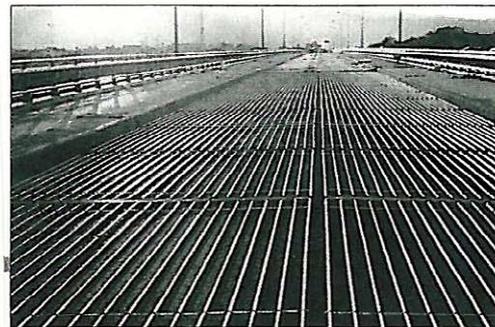
(主) 小名浜小野線 住吉工区 (岡小名トンネル L=343m 相子島トンネル L=349m) 完成供用



(主) 会津若松裏磐梯線 桧原大橋 L=214m 野鳥の森橋 L=104m 供用開始

国道 401 号 高田橋 (会津若松市) 平成 9 年 11 月 27 日開通

地下水を利用した無散水消雪工。



国道 115 号 (相馬南バイパス) 暫定 2 車線供用



(主)川俣安達線 新飯野橋工区 L=964.2m(新飯野橋 L=203.0m) 供用開始

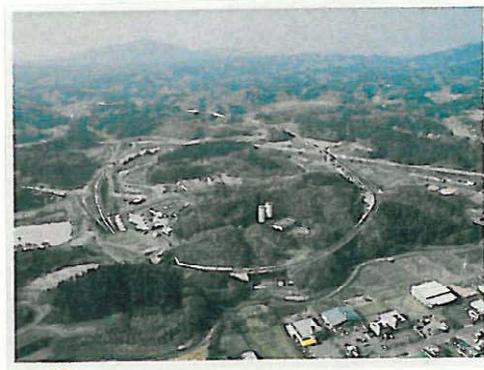


橋構造形式が3径間連続(下路式ローゼ桁+鋼箱桁)の新飯野橋

国道 399 号 飯坂ハイパス L=1,250m (鵬橋 L=92.5m) 供用開始



あぶくま高原道路 1・2 工区 供用開始



国道 252 号松倉拡幅 L=720m (松倉トンネル L=333m) 供用開始



国道 118 号 棚倉バイパス (L=1,503m) 供用開始



(主)小野富岡線 滝川工区 L=4,865m(滝川トンネル 702.0m) 供用開始



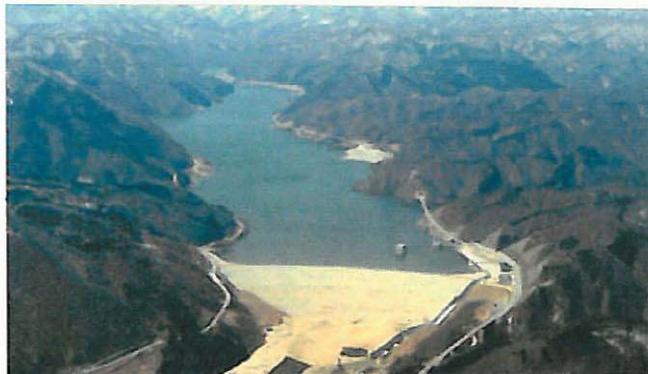
国道 294 号 黒森峠バイパス L=1,670m(黒森トンネル L=978m) 供用開始



国道 114 号 渡利バイパス全線供用



国道 399 号 茂庭バイパス L=6,275m 供用開始



(主) 郡山湖南線三森1工区 L=850m (多田野トンネル L=294m) 供用開始



国道 115 号土湯工区 L=3.3km (横道トンネル L=591m) 供用開始。 土湯ハイパス L=19.3km が全線開通。福島市から猪苗代町までの改良が完了。



国道 349 号鳴石トンネル L=1.3km (鳴石トンネル L=296m) 供用開始



(一) 喜多方会津坂下線 会青橋工区 L=1,583.2 m (会青橋 L = 388.0m) 供用開始



(主) 柳津昭和線琵琶首バイパス L = 1,053.0 m 供用開始 (獅子落洞門 L=733 m)



福島市道中町御山町線コミュニティ道路「パセオ470」 平成元年3月3日完成供用



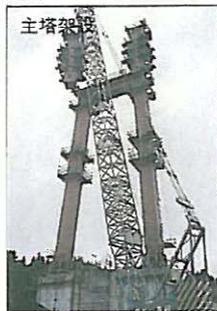
国道115号 土湯道路一期工事 L=11.3km 平成元年9月27日開通



一般県道 上郷舟渡線 西羽賀橋 (高郷村・会津坂下町) H元年開通

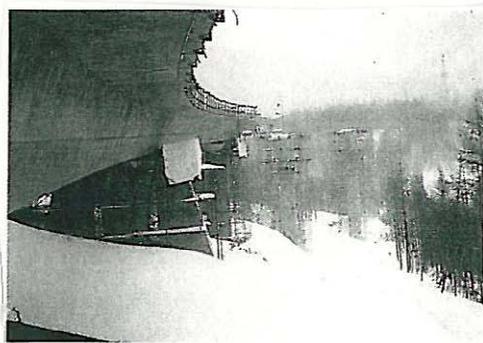
福島県内で初めて採用された斜張橋(2径間連続鋼斜張橋)

(主塔架設状況)



国道115号 横向大橋(猪苗代町) 昭和58年度~平成2年度

9径間連続コンクリート箱桁橋で平面線形上のアーチ形状を利用し、水平面内でアーチ作用を活用した橋梁。(押し出し架設の施工状況)



4 河川港湾領域

河 川

年	月	事 項 ・ 事 象
平成元年	4月	○ くるみ川 都市基盤河川改修事業着手(福島市)
	6月 1日	○ 梅川河川改良工事全体計画認可(小規模河川改良事業着手)
	11月24日	○ 諏訪川、井出川水系工事実施基本計画策定
	12月16日	○ 谷津田川、濁川、大滝根川、請戸川河川改良工事全体計画認可
	12月	○ 石田川、口太川河川等災害復旧助成事業着手
平成2年	3月	○ 鍛冶屋川 小規模河川改良事業完了
	7月 3日	○ 東根川河川改良工事全体計画認可(中小河川改良(広域基幹河川改修)事業着手)
	10月12日	○ 長瀬川、新田川河川改良工事全体計画認可
平成3年	11月9日	○ 六角川河川改良工事全体計画認可
	3月	● 逢瀬川、谷田川、安達太良川河川激甚災害対策特別緊急事業完了
	3月	○ 逢瀬川(上流) 小規模河川改良事業完了
平成4年	11月28日	○ 谷田川河川改良工事全体計画認可
		○ 宇多川河川改良工事全体計画認可(小規模河川改良(広域一般河川改修)事業着手)
	3月	○ 鮫川 小規模河川改良事業完了
平成5年	6月17日	○ 笹部川河川改良工事全体計画認可
	11月11日	○ 滑津川河川改良工事全体計画認可
	3月	● 石田川、口太川河川等災害復旧助成事業完了
平成6年	4月	○ 伝樋川 中小河川改良(広域基幹河川改修)事業着手
	3月	○ 笹原川 小規模河川改良事業完了
平成7年	4月	○ 福島県降雨解析(平成6年4月版)策定
	4月	○ 夏井川(新川)床上浸水対策特別緊急事業着手
平成8年	3月	○ 大塩川 河川等災害復旧助成事業着手
	4月 1日	○ 東京電力(株)の尾瀬沼水利権更新許可。新たに沼尻川の河川維持流量放流を位置付け。尾瀬ヶ原水利権については、東京電力(株)が放棄。
		○ 福島県河川審議会設置条例施行
平成9年	4月	○ 右支夏井川 広域基幹河川改修事業着手
	1月22日	○ 神白川、滑津川、梅川水系工事実施基本計画策定
平成11年	3月	○ 堀川・谷津田川 河川激甚災害対策特別緊急事業着手
	1月	○ 隈戸川 河川等災害復旧助成事業着手
	2月	○ 黒川 河川等災害復旧助成事業着手
	3月	○ 釈迦堂川河川災害復旧等関連緊急事業着手
	4月	○ 桜川広域基幹河川改修事業着手
平成12年	4月	○ 福島県河川流水占用料等徴収条例施行
	8月29日	○ 木戸川水系河川整備基本方針策定
平成13年	1月12日	○ 夏井川水系河川整備基本方針策定
	2月20日	○ 木戸川水系河川整備計画策定
	3月	● 夏井川(新川) 床上浸水対策特別緊急事業完了
	4月	○ 宇多川 床上浸水対策特別緊急事業着手
	4月	○ 阿賀野川水系日橋川 猪苗代湖統合一級河川整備事業着手(十六橋水門改築、管理設備の設置)
	10月 2日	○ 全国初、十六橋水門が河川管理施設等構造例第73条第4号に基づく、「大臣特認」施設に認定。
平成14年	11月	● 黒川 河川等災害復旧助成事業完了
	3月	● 釈迦堂川 河川災害復旧等関連事業完了
	4月	○ 六角川、湯本川 床上浸水対策特別緊急事業着手
平成15年	4月12日	○ 夏井川水系河川整備計画策定
	3月	● 隈戸川 河川等災害復旧助成事業完了
		● 堀川・谷津田川河川激甚災害対策特別緊急事業完了
	4月11日	○ 阿武隈川水系二本松圏域河川整備計画策定

年	月	事 項 ・ 事 象
平成16年	1月27日	○ 阿武隈川河川整備基本方針策定(国土交通大臣)
	4月	○ 福島県降雨解析(平成16年4月版)策定
	4月16日	○ 阿賀野川水系阿賀川下流圏域河川整備計画策定
	4月23日	○ 阿賀野川水系猪苗代湖圏域河川整備計画策定
	6月18日	○ 洪水予報河川を指定(夏井川)
平成17年	10月19日	○ 宮田川、地藏川水系河川整備基本方針策定
	3月	○ 宮川、釈迦堂川広域基幹河川改修事業完了
	4月 1日	○ 十六橋水門管理所が開設され、県による猪苗代湖の治水管理が開始。
	7月19日	○ 藤原川、宇多川、請戸川水系河川整備基本方針策定
	8月	● 宇多川 床上浸水対策特別緊急事業完了
平成18年	1月 6日	○ 宮田川水系河川整備計画策定
	4月 1日	○ 東京電力(株)の尾瀬沼水利権更新許可。政令10項目の検討結果により、沼尻川の河川維持流量放流量が増量。
	4月 4日	○ 阿武隈川水系郡山圏域河川整備計画策定
	4月24日	○ 那珂川水系河川整備基本方針策定(国土交通大臣)
	7月13日	○ 猪苗代湖において洪水調節のため、県が管理して初めての水門操作。
平成19年	12月12日	○ 藤原川水系河川整備計画策定
	2月	● くるみ川 都市基盤河川改修事業(福島市)完了
	11月22日	○ 阿賀川下流圏域・猪苗代湖圏域河川整備基本方針策定
平成20年	3月26日	○ 久慈川圏域河川整備基本方針策定(国土交通省)
	4月	○ 桜川の重点整備に向け三春合同庁舎内に「桜川担当」を設置
	4月	○ 右支夏井川で「鉄道橋・道路橋緊急対策事業」に着手
	5月 2日	○ 梅川水系河川整備計画策定
平成21年	1月	● 床上浸水対策特別緊急事業六角川(二本松市)完了
	3月	● 床上浸水対策特別緊急事業湯本川(いわき市)完了



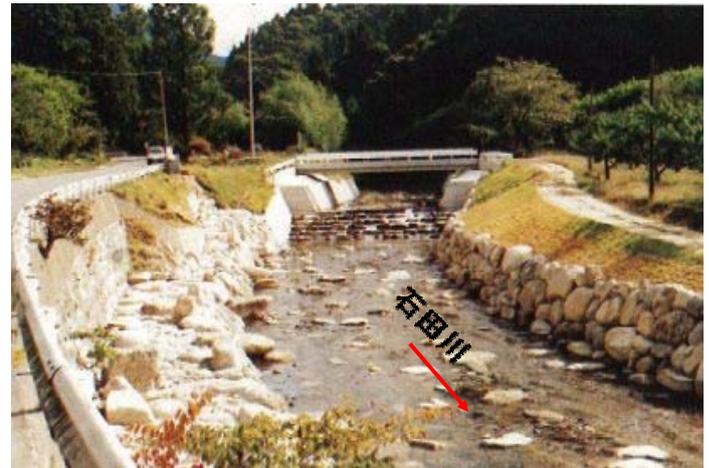
平成3年3月河川激甚災害対策特別緊急事業完了 逢瀬川(郡山市)



平成3年3月河川激甚災害対策特別緊急事業完了 谷田川(郡山市)



平成3年3月河川激甚災害対策特別緊急事業完了 安達太良川(本宮市)



平成5年3月河川等災害復旧助成事業完了 石田川(伊達市霊山町)



平成13年3月床上浸水対策特別緊急事業完了 夏井川(新川)(いわき市)



平成13年11月河川等災害復旧助成事業完了 黒川(白河市・西郷村)



平成14年3月河川災害復旧等関連緊急事業完了 釈迦堂川(須賀川市)



平成15年3月河川等災害復旧助成事業完了 限戸川(矢吹町・白河市(旧大信



平成15年3月河川激特災害対策特別緊急事業完了 堀川(白河市西郷村)



平成15年3月河川激甚災害対策特別緊急事業完了 谷津田川(白河市)



平成17年8月床上浸水対策特別緊急事業完了 宇多川(相馬市)



平成19年1月床上浸水対策特別緊急事業施工中 六角川(二本松市)



平成19年2月都市基盤河川改修事業完了 くるみ川(福島市)



平成19年2月床上浸水対策特別緊急事業施工中 湯本川(いわき市)

海岸事業

年	月	事 項 ・ 事 象
平成元年	4月	○ 請戸海岸 高潮対策事業着手
平成4年	4月	○ 北泉大磯海岸 海岸環境整備事業（CCZ）着手
平成10年	3月	○ 大磯海岸、中浜海岸海岸局部改良事業完了
	3月	○ 角部内海岸、郡山中野海岸高潮対策事業完了
	3月	● 北泉大磯海岸 海岸環境整備事業（CCZ）完了
	4月	○ 夏井海岸 海岸環境整備事業着手
平成11年	4月	○ 木崎海岸 高潮対策事業着手
平成12年	4月 1日	○ 福島県海岸占用料等徴収条例施行
	5月16日	○ 海岸保全基本方針策定（国土交通大臣）
平成13年	4月	○ 関田海岸 高潮対策事業着手
平成14年	3月	○ 南海老海岸 高潮対策事業完了
	12月	○ 関田海岸 河川等災害復旧助成事業着手
平成15年	3月	● 大浜海岸 高潮対策事業完了
平成16年	11月 2日	○ 福島沿岸、仙台湾沿岸海岸保全基本計画策定
平成17年	3月	○ 小沢海岸 高潮対策事業完了
平成18年	3月	○ 渋佐萱浜海岸 高潮対策事業完了
	9月	● 関田海岸 河川等災害復旧助成事業完了



平成10年3月海岸環境整備事業(CCZ)完了 北泉大磯海岸(南相馬市)



平成15年3月高潮対策事業完了 大浜海岸(相馬市)



平成18年9月河川等災害復旧助成事業完了 関田海岸(いわき市勿来町)

砂防事業

年	月	事 項 ・ 事 象
平成元年	8月 6日	● 台風13号により、大倉川（猪苗代町）で11名の死者、行方不明者
平成3年	4月 1日	○ 本県初のふるさと砂防モデル事業が長瀬川支川観音寺川で着手
	10月 9日	○ 台風21号に伴う豪雨により各地で土石流・地すべり・がけ崩れが発生、災害関連緊急砂防事業着手
平成4年	4月 1日	○ 本県初の砂防環境整備事業が阿武隈川支川堀川で着手
平成6年	3月	○ 融雪により、滝坂地区（西会津町）で地すべりが活発化、災害関連緊急地すべり対策事業着手
平成7年	4月 1日	○ 滝坂地区（西会津町）の国直轄地すべり調査が新規着手
	5月	○ 本県初の「わが町の斜面整備構想策定」（常磐湯本地区）及び2箇所目の「ふるさと砂防事業」（大滝川）が認定
	8月 2日	○ 豪雨により会津西北部（大塩川など）を中心に土砂災害が発生、砂防災関連事業着手
平成8年	4月 1日	○ 滝坂地区（西会津町）の国直轄地すべり対策事業が着手
	5月12日	○ 融雪により、入山沢（三島町）で土石流発生、災害関連緊急砂防事業着手
平成9年	4月 8日	○ 融雪により、壇ノ浦地区（柳津町）で地すべりが発生、災害関連緊急地すべり対策事業着手
平成10年	8月26日	● 西郷村の総合社会福祉施設「太陽の国」の「からまつ荘」で北側斜面が崩壊し、5名が犠牲になる（県内死者全11名の内、土砂災害による死者9名） この災害により芝原沢外17箇所が災害関連緊急砂防事業着手
平成11年	7月14日	○ 上浅貝3号地区（いわき市）他1箇所でがけ崩れが発生、災害関連緊急急傾斜崩壊対策事業着手
平成12年	8月13日	○ 磐梯山で初めて臨時火山情報が出される
平成13年	3月29日	○ 安達太良山火山防災マップを公表
	4月 1日	○ 「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」が施行
	5月29日	○ 磐梯山火山防災マップを県内で初めて公表
	9月11日	○ 台風15号により、馬場宿地区（石川町）でがけ崩れが発生、災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業着手
	10月11日	○ 豪雨により、峰根地区（いわき市）で地すべりが発生、災害関連緊急地すべり対策事業着手
	12月26日	○ 吾妻山火山防災マップを公表
平成14年	7月11日	○ 台風6号により、唐沢2号（下郷町）で土石流が発生、災害関連緊急砂防事業着手
	10月 2日	○ 台風21号により、フタ沢（南会津町）で土石流が発生、災害関連緊急砂防事業着手
平成16年	7月17日	○ 梅雨前線により、仏の沢（西会津町）で土石流が発生、災害関連緊急砂防事業着手
	7月19日	○ 梅雨前線により、新館地区（田村市）でがけ崩れが発生、災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業着手
	10月21日	○ 台風23号により、下舟引地区（喜多方市）で地すべりが発生、災害関連緊急地すべり対策事業着手 ○ 台風23号により、坂シ内地区（川内村）でがけ崩れが発生、災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業着手
平成17年	8月20日	○ 前線により、松原上沢とミヤノ沢（南会津町）で土石流が発生、災害関連緊急砂防事業着手
	12月27日	○ 土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等を県内で初めて指定
平成18年	8月18日	● 梅雨前線により、越巻地区（いわき市）で地すべりが発生、災害関連緊急地すべり対策事業着手
	10月 7日	● 豪雨により、千速地区（いわき市）でがけ崩れが発生、災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業着手
平成19年	2月 7日	● 融雪により、牛兵衛沢地区（金山町）で、土砂災害発生
	2月21日	○ 牛兵衛沢地区（金山町）で再崩壊が発生
	6月 1日	○ 土砂災害警戒情報の運用を開始



元年8月発生 大倉川



10年8月発生 からまつ荘



18年8月発生 越巻



18年10月発生 千速



19年発生 牛兵衛沢

ダム事業

年	月	事項・事象
平成元年	10月11日	○ 小玉ダム本体工事着手
	12月16日	○ 真野ダム試験湛水開始
平成2年	2月6日	○ 日中ダム試験湛水開始
平成3年	2月20日	○ 真野ダム試験湛水終了
	4月1日	○ 木戸川総合開発事業、田島ダム小規模生活ダム事業建設採択
	6月12日	○ 真野ダム竣工式
	8月26日	○ 小玉ダム定礎式
	9月12日	○ 日中ダム試験湛水終了
	10月24日	○ 日中ダム（会津北部農業水利事業）完工式
平成4年	4月1日	● 真野ダム、日中ダム運用開始
平成6年	4月1日	○ こまちダム生活貯水池建設事業建設採択
	10月16日	○ 堀川ダム本体工事着手
	11月16日	○ 田島ダム本体工事着手
	11月30日	○ 小玉ダム堤体コンクリート打設完了
平成7年	8月29日	○ 田島ダム定礎式
	11月1日	○ 小玉ダム試験湛水開始
平成8年	12月15日	○ 裏磐梯三湖において、県による治水管理を行うため、東京電力㈱と覚書を締結
	4月1日	○ 今出ダム・千五沢ダム2ダム1事業の今出川総合開発事業建設採択
平成9年	3月24日	○ 小玉ダム竣工式
	4月1日	● 小玉ダム運用開始
	8月21日	○ 裏磐梯三湖の管理設備に関する建設協定を締結
	9月17日	○ 堀川ダム定礎式
	10月30日	○ 田島ダム堤体コンクリート打設完了
平成10年	10月12日	○ 田島ダム試験湛水開始
平成11年	2月12日	○ 田島ダム試験湛水終了
	3月24日	○ 田島ダム竣工式
	4月1日	● 田島ダム運用開始、裏磐梯三湖の治水管理開始
	4月25日	○ 真野ダムでサーチャージ水位に達し洪水調節
	9月8日	○ 堀川ダム堤体盛立完了
平成12年	1月21日	○ 堀川ダム試験湛水開始
	7月11日	○ 堀川ダム試験湛水終了
	10月20日	○ 木戸ダム本体工事着手
	11月15日	○ 堀川ダム竣工式
平成13年	4月1日	● 堀川ダム運用開始
平成14年	8月30日	○ 十六橋水門改築に関する建設協定締結
	12月27日	○ 十六橋水門改築工事着手
平成15年	10月14日	○ こまちダム本体工事着手
	10月24日	○ 木戸ダム定礎式
平成16年	11月9日	○ こまちダム定礎式
平成17年	4月1日	● 猪苗代湖の治水管理開始
	9月9日	○ こまちダム堤体コンクリート打設完了
平成18年	4月1日	○ 高柴ダムで全国で初めて弾力的管理の本運用を開始
	6月14日	○ こまちダム試験湛水開始
	7月7日	○ 木戸ダム堤体コンクリート打設完了
	12月13日	○ こまちダム試験湛水終了
平成19年	3月19日	○ こまちダム竣工式
	3月22日	○ 木戸ダム試験湛水開始
	4月1日	● こまちダム運用開始
	12月28日	○ 木戸ダム試験湛水終了



平成4年4月 真野ダム運用開始



平成4年4月 日中ダム運用開始



平成9年4月 小玉ダム運用開始



平成11年4月 田島ダム運用開始



平成13年4月 堀川ダム運用開始



平成17年4月 猪苗代湖の治水管理開始



平成19年4月 こまちダム運用開始



平成19年12月 木戸ダム試験湛水終了

港湾事業

年	月	事 項 ・ 事 象
平成元年	4月	○ 小名浜港2号ふ頭地区3、4号岸壁供用開始
平成2年	3月	○ 相馬港5号ふ頭埋立完了。
	4月	○ 相馬港無線検疫対象港指定。 ○ 小名浜港漁港区ー5. 5m岸壁供用開始。
平成3年	1月	○ 相馬港2号ふ頭地区2ー4岸壁工事着手。
平成4年	3月	○ 相馬港廃棄物埋立護岸。
	6月	○ 翁島マリーナ供用開始
平成5年	3月	○ 相馬港沖防波堤北側完成 (L=2, 130m) 。
	7月	○ 相馬港5号ふ頭地区ドルフィンに初入港。
	8月	○ 小名浜港7号ふ頭地区荷役機械3号機設置。 ○ 相馬港共同火力発電所(株)新地発電所1号揚炭バース竣工。
	11月	○ 小名浜港港湾計画改訂が港湾審議会第147回計画部会において了承。
平成6年	3月	○ 相馬港共同火力発電所(株)新地発電所2号揚炭バース竣工。
	8月	○ 小名浜港いわきサンマリーナ供用開始。
	10月	○ 小名浜港藤原ふ頭大型バース供用開始。
	12月	○ 小名浜港5・6号ふ頭地区工事着工。
平成7年	4月	○ 相馬港2号ふ頭地区2ー4岸壁(3万トン対応)供用開始。
	9月	○ 小名浜港いわきサンマリーナにおいて国体ヨット競技大会開催。
	11月	○ 相馬港2号上屋供用開始。 ○ 相馬港港湾計画改訂が港湾審議会第156回計画部会において了承。
平成8年	2月	○ 小名浜港1、2号ふ頭地区特定港湾開発地区の指定。
	3月	○ 相馬港釣棧橋完成。
平成9年	7月	○ 小名浜港1号ふ頭地区にいわき市観光物産センター「いわき・ら・ら・ミュウ」オープン。
	12月	○ 小名浜港大剣ふ頭地区外貿コンテナ用多目的クレーン設置。
平成10年	2月	○ 小名浜港東港地区現地着手。
	4月	○ 小名浜港ケーソンヤード供用開始。 ○ 小名浜港大剣ふ頭地区外貿コンテナバース供用開始。
	10月	○ 小名浜港に外貿コンテナ航路が2航路開設される(東南アジア航路、日韓航路)。
平成11年	4月	○ 相馬港が植物防疫法の輸入植物港指定。
	8月	○ 相馬港3号ふ頭地区現地着手。
平成12年	7月	○ 小名浜港2号ふ頭地区に海洋科学館「アクアマリンふくしま」オープン。
	9月	● 小名浜港大剣ふ頭地区外貿コンテナ用ガントリークレーン設置。
	12月	● 小名浜港1、2号ふ頭地区「アクアマリンパーク」1期事業概成。
平成14年	1月	○ 小名浜港外貿コンテナ韓国航路(南星海運株)の1便が中国へ延伸。
	4月	○ 相馬港3号上屋供用開始。
	5月	○ 相馬港大型荷役機械供用開始。
平成15年	6月	○ 小名浜港において、国際貿易港としての開港以来、2万隻入港を達成。
平成16年	4月	● 小名浜港5・6号ふ頭地区全面供用開始。
	7月	○ 小名浜港、相馬港において国際船舶・港湾保安法に基づきふ頭保安対策を強化。
	9月	○ 小名浜港藤原CFS(コンテナ・フレート・ステーション)供用開始。
平成17年	2月	○ 小名浜港外貿コンテナ韓国航路(南星海運株)が中国へ延伸。
	10月	○ 小名浜港アクアマリンパークに釣り区域を開設。
	12月	○ 小名浜港くん蒸上屋供用開始。
平成18年	5月	○ 小名浜港開港50周年記念式典。
平成19年	5月	○ 小名浜港6号ふ頭地区において石炭貨物分岐施設供用開始。
	6月	○ 小名浜港でコンテナ小口混載貨物(LCL)の取扱い開始。
	7月	○ 小名浜港港湾計画一部変更(東港地区)が交通政策審議会港湾分科会において了承。
	12月	○ 平成19年小名浜港コンテナ貨物取扱量が平成10年航路開設以来最高の19,009TEUを記録。
	12月	○ 平成20年度政府予算案に小名浜港東港地区多目的国際ターミナルの新規着工が計上。
平成20年	4月	● 小名浜港さんかく倉庫(1,2号棟)オープン。
	11月	○ 相馬港5号ふ頭危険物取扱施設用地、初の分譲で立地基本協定締結式。



平成7年11月
松川浦漁港臨港道路(松川浦大橋)完成



平成12年9月
小名浜港大剣ふ頭地区外貨コンテナ用
ガントリークレーン設置



平成12年12月
小名浜港1、2号ふ頭地区「アクアマリンパーク」
1期事業概成



平成16年4月
小名浜港5・6号ふ頭地区全面供用開始。

漁港事業

年	月	事 項 ・ 事 象
平成4年	4月	○ 剣浜漁港の漁港指定取り消し。
平成6年	3月	○ 富岡漁港の管理を富岡町から県へ変更。
平成7年	3月	○ 松川浦漁港鶴ノ尾岬地区漁港関連道（鶴ノ尾岬トンネル）完成。
	11月	● 松川浦漁港臨港道路（松川浦大橋）完成。
平成8年	3月	○ 大洲松川ライン(松川浦大橋)が全線開通。 ○ 松川浦漁港において、和田地区・岩ノ子地区を漁港区域に編入。
	7月	○ 大洲・薄磯海岸が、日本の渚・百選に認定される。
平成11年	10月	○ 松川浦漁港において、第19回全国豊かな海づくり大会を開催。
	11月	○ 松川浦漁港の岩ノ子地区において、防波堤が完成。
平成12年	4月	○ 松川浦漁港の鶴ノ尾岬地区を供用開始。
	5月	○ 熊町漁港の漁港指定取り消し。 ○ 小良ヶ浜漁港の漁港指定取り消し。
平成13年	3月	○ 渋佐漁港の漁港指定取り消し。
平成14年	3月	○ 豊間漁港の沼之内地区において、新港部の整備が完了。 ○ 豊間漁港の豊間地区において、漁港の施設整備が概成。 ○ 四倉漁港を第3種漁港から第2種漁港へ変更。
	4月	○ 漁港と漁場の総合的かつ計画的な整備推進のため、漁港法を一部改正し、漁港漁場整備法として施行。
平成15年	1月	○ 請戸漁港の耐震強化岸壁(-4.0m)が完成。
平成18年	2月	○ 「松川浦の浦口」が、将来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選に認定。
	3月	○ 四倉漁港において漁港環境整備事業により植栽・休憩所・駐車場等の整備が完了。 ○ 真野漁港海岸（烏崎地区）において漁港海岸環境整備事業が完了。
	4月	○ 釣師浜漁港、真野川漁港、請戸漁港、豊間漁港、勿来漁港の指定施設(ブレイクポイント用泊地)において指定管理者制度を導入。
	5月	○ 富岡漁港において、漁港環境統合整備工事に着手。
平成19年	5月	○ 釣師浜漁港大戸浜地区において、漁港海岸保全工事（浸食対策）に着手。
	12月	○ 四倉漁港の指定施設(ブレイクポイント用泊地)において指定管理者制度を導入。
平成20年	3月	○ 豊間漁港海岸において、漁港海岸保全工事（浸食対策、人工リーフ）が完了。

漁港・海岸事業

年	月	事項・事象
平成元年	4月	○ 請戸海岸 高潮対策事業着手
平成4年	4月	○ 北泉大磯海岸 海岸環境整備事業（CCZ）着手
平成6年	3月	○ 富岡漁港の管理を富岡町から県へ変更。
平成7年	3月	○ 松川浦漁港鵜ノ尾岬地区漁港関連道（鵜ノ尾岬トンネル）完成。
	11月	● 松川浦漁港臨港道路（松川浦大橋）完成。
平成8年	7月	○ 大洲・薄磯海岸が、日本の渚・百選に認定される。
平成10年	3月	○ 大磯海岸、中浜海岸海岸局部改良事業完了
	3月	○ 角部内海岸、郡山中野海岸高潮対策事業完了
	3月	● 北泉大磯海岸 海岸環境整備事業（CCZ）完了
	4月	○ 夏井海岸 海岸環境整備事業着手
平成11年	4月	○ 木崎海岸 高潮対策事業着手
平成12年	4月1日	○ 福島県海岸占用料等徴収条例施行
	5月16日	○ 海岸保全基本方針策定（国土交通大臣）
平成13年	4月	○ 関田海岸 高潮対策事業着手
平成14年	3月	○ 南海老海岸 高潮対策事業完了
	3月	○ 豊間漁港の沼之内地区において、新港部の整備が完了。
	3月	○ 豊間漁港の豊間地区において、漁港の施設整備が概成。
	3月	○ 四倉漁港を第3種漁港から第2種漁港へ変更。
	12月	○ 関田海岸 河川等災害復旧助成事業着手
平成15年	3月	● 大浜海岸 高潮対策事業完了
平成16年	11月2日	○ 福島沿岸、仙台湾沿岸海岸保全基本計画策定
平成17年	3月	○ 小沢海岸 高潮対策事業完了
平成18年	2月	○ 「松川浦の浦口」が、将来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選に認定される。
	3月	○ 渋佐萱浜海岸 高潮対策事業完了
	3月	○ 四倉漁港において漁港環境整備事業により植栽・休憩所・駐車場等の整備が完了。
	3月	○ 真野漁港海岸（烏崎地区）において漁港海岸環境整備事業が完了。
	5月	○ 富岡漁港において、漁港環境統合整備工事に着手。
	9月	● 関田海岸 河川等災害復旧助成事業完了
平成19年	5月	○ 釣師浜漁港大戸浜地区において、漁港海岸保全工事（浸食対策）に着手。
平成20年	3月	○ 豊間漁港海岸において、漁港海岸保全工事（浸食対策、人工リーフ）が完了。

5 都市領域

(都市計画)

年	月	事項・事象
平成元年	2月20日	○ 第86回福島県都市計画地方審議会 (県北都市計画用途地域の変更 外22件)
	6月19日	○ 第87回福島県都市計画地方審議会 (会津都市計画区域の変更(湯川村域の除外) 外13件)
	10月17日	○ 第88回福島県都市計画地方審議会 (県北都市計画公園の変更 外16件)
平成2年	2月13日	○ 第89回福島県都市計画地方審議会 (県北都市計画公園の変更 外21件)
	4月	○ 「都市計画法による開発許可の手引き(第3版)」策定
	6月15日	○ 第90回福島県都市計画地方審議会 (会津都市計画公園の変更の承認 外9件)
平成3年	10月19日	○ 第91回福島県都市計画地方審議会 (県中都市計画公園の変更 外17件)
	2月12日	○ 第92回福島県都市計画地方審議会 (県中都市計画河川の変更 外15件)
	6月21日	○ 第93回福島県都市計画地方審議会 (三春都市計画区域の変更(三春町中郷南部地区の編入) 外18件)
平成4年	10月18日	○ 第94回福島県都市計画地方審議会 (相馬都市計画道路の変更 外24件)
	3月27日	○ 第95回福島県都市計画地方審議会 (福島県の都市計画区域(諮問:高速交通化等新たな時代を迎えて都市計画区域等は如何にあるべきか) 外42)
	6月16日	○ 第96回福島県都市計画地方審議会 (県中都市計画道路の変更 外12件)
	8月26日	○ 第97回福島県都市計画地方審議会 (二本松都市計画下水道の変更 外14件)
平成5年	11月6日	○ 第98回福島県都市計画地方審議会 (県北都市計画公園の変更 外15件)
	2月12日	○ 第99回福島県都市計画地方審議会 (福島県の都市計画区域(答申:高速交通化等新たな時代を迎えて都市計画区域等は如何にあるべきか) 外24)
	6月18日	○ 第100回福島県都市計画地方審議会 (会津都市計画市街化区域及び市街化調整区域の変更(会津若松市町北町地区の編入等) 外15件)
	10月15日	○ 第101回福島県都市計画地方審議会 (県中都市計画市街化区域及び市街化調整区域の変更(須賀川市関ノ上地区の編入) 外11件)
平成6年	2月15日	○ 第102回福島県都市計画地方審議会 (県中都市計画道路の変更 外23件)
	3月31日	○ 「福島県都市計画公聴会規則」改正
	4月	○ 「都市計画法による開発許可の手引き(第4版)」策定
	6月24日	○ 第103回福島県都市計画地方審議会 (広野檜葉都市計画区域の指定 外25件)
平成7年	12月2日	○ 第104回福島県都市計画地方審議会 (鹿島都市計画用途地域の決定の承認 外8件)
	2月14日	○ 第105回福島県都市計画地方審議会 (白河都市計画道路の変更 外22件)
	3月	○ 「都市計画決定の手引」改正
	6月20日	○ 第106回福島県都市計画地方審議会 (霊山都市計画区域の変更 外36件)
平成8年	9月1日	○ 第107回福島県都市計画地方審議会 (県北都市計画用途地域の変更 外23件)
	11月30日	○ 第108回福島県都市計画地方審議会 (本宮都市計画用途地域の決定の承認 外17件)
	3月26日	○ 第109回福島県都市計画地方審議会 (本宮都市計画区域の変更 外58件)
	6月24日	○ 第110回福島県都市計画地方審議会 (岩代都市計画区域の変更 外10件)
	10月24日	○ 第111回福島県都市計画地方審議会 (県北都市計画道路の変更 外23件)
平成9年	11月29日	○ 第112回福島県都市計画地方審議会 (いわき都市計画道路の変更 外10件)
	2月13日	○ 第113回福島県都市計画地方審議会 (双葉都市計画下水道の変更 外16件)
	4月	○ 「都市計画法による開発許可の手引き(第5版)」策定
	6月16日	○ 第114回福島県都市計画地方審議会 (石川都市計画区域及び浅川都市計画区域の変更 外15件)
平成10年	11月6日	○ 第115回福島県都市計画地方審議会 (本宮都市計画道路の変更 外7件)
	2月17日	○ 第116回福島県都市計画地方審議会 (県中都市計画第一種市街地再開発事業の変更(郡山駅西口地区) 外13件)
	3月27日	○ 「福島県屋外広告物条例」改正
	6月1日	○ 第117回福島県都市計画地方審議会 (県中都市計画流通業務地区の決定 外16件)
	9月11日	○ 第118回福島県都市計画地方審議会 (県北都市計画下水道の変更 外5件)
平成11年	11月30日	○ 第119回福島県都市計画地方審議会 (県北都市計画道路の変更の承認 外7件)
	2月8日	○ 第120回福島県都市計画地方審議会 (県北都市計画道路の変更 外11件)
	6月17日	○ 第121回福島県都市計画地方審議会 (会津都市計画道路の変更 外11件)
	11月4日	○ 第122回福島県都市計画地方審議会 (県北都市計画下水道の変更 外11件)
	11月12日	○ 「福島県都市計画地方審議会環境評価専門小委員会運営要領」制定 ○ 「福島県屋外広告物条例」改正

年	月	事 項 ・ 事 象
	12月24日	○ 「福島県都市計画法施行条例」制定
平成12年	3月24日	○ 「福島県都市計画審議会条例」改正
	3月27日	○ 第123回福島県都市計画地方審議会（県北都市計画道路の変更 外18件）
平成13年	1月12日	○ 第124回福島県都市計画審議会（県北都市計画下水道の変更 外6件）
	1月20日	○ 「福島県都市計画審議会会議運営規則」改正
	2月 6日	○ 第125回福島県都市計画審議会 （県北都市計画市街化区域及び市街化調整区域の変更（福島市南向台地区の編入等） 外6件）
	3月23日	○ 第126回福島県都市計画審議会 （二本松都市計画区域の変更（二本松市岳温泉横森地区の編入等） 外2件）
	7月16日	○ 第127回福島県都市計画審議会 （県北都市計画事業福島都心東土地区画整理事業における土地区画整理法第55条第2項による意見書の審査方
	10月26日	○ 第128回福島県都市計画審議会 （県北都市計画事業福島都心東土地区画整理事業における土地区画整理法第55条第2項による意見書の審査方法
	11月20日	○ 第129回福島県都市計画審議会 （県北都市計画事業福島都心東土地区画整理事業における土地区画整理法第55条第2項による意見書の審査 外2 ○ 「福島県都市計画審議会傍聴要領」制定 ○ 「福島県都市計画審議会会議運営規則」改正
平成14年	11月29日	○ 第130回福島県都市計画審議会 （県北都市計画事業福島都心東土地区画整理事業における土地区画整理法第55条第2項による意見書の審査）
	3月	○ 「都市計画決定の手引」改正
	3月26日	○ 「福島県屋外広告物条例」改正
	3月27日	○ 第131回福島県都市計画審議会（県北都市計画下水道の変更 外3件）
	4月	○ 「都市計画法による開発許可の手引き（第6版）」策定
	7月19日	○ 第132回福島県都市計画審議会 （産業廃棄物処施設の敷地の位置について（建築基準法第51条ただし書きによる許可））
平成15年	10月25日	○ 第133回福島県都市計画審議会（原町都市計画公園の変更 外1件）
	3月17日	○ 第134回福島県都市計画審議会（県北都市計画道路の変更 外2件）
	3月24日	○ 「福島県屋外広告物条例」改正
	7月29日	○ 第135回福島県都市計画審議会（県中都市計画流通業務団地の変更 外1件）
	11月14日	○ 第136回福島県都市計画審議会（いわき都市計画道路の変更 外1件）
平成16年	12月25日	○ 第137回福島県都市計画審議会（県北都市計画下水道の変更 外2件）
	2月16日	○ 第138回福島県都市計画審議会（県中都市計画流通業務団地の変更 外1件）
	3月29日	○ 第139回福島県都市計画審議会（県中都市計画道路の変更 外33件）
	4月26日	○ 第140回福島県都市計画審議会（県中都市計画流通業務団地の変更 外38件）
	9月 6日	○ 第141回福島県都市計画審議会（県中都市計画道路の変更 外2件）
	11月29日	○ 第142回福島県都市計画審議会（いわき都市計画道路の変更 外1件）
平成17年	3月	○ 「都市計画区域マスタープラン」策定
	3月25日	○ 「福島県屋外広告物条例」改正
	3月28日	○ 第143回福島県都市計画審議会（浪江都市計画道路の変更 外3件）
	7月11日	○ 第144回福島県都市計画審議会（相馬都市計画臨港地区の変更 外2件）
	11月21日	○ 第145回福島県都市計画審議会（県北都市計画公園の変更 外8件）
平成18年	2月13日	○ 第146回福島県都市計画審議会（猪苗代都市計画公園地区の変更 外4件）
	9月 6日	○ 第147回福島県都市計画審議会（県南都市計画下水道の変更 外2件）
	12月26日	○ 「福島県都市計画法施行条例施行規則」制定
平成19年	2月15日	○ 第148回福島県都市計画審議会（原町都市計画公園の変更 外2件）
	7月18日	○ 第149回福島県都市計画審議会 （産業廃棄物処施設の敷地の位置について（建築基準法第51条ただし書きによる許可））
	11月28日	○ 第150回福島県都市計画審議会（喜多方都市計画道路の変更 外1件）
平成20年	3月26日	○ 第151回福島県都市計画審議会（「新たな都市政策のあり方について」の答申 外1件）
	7月29日	○ 第152回福島県都市計画審議会（「福島県景観計画の策定について」 外1件）

(元気ふくしま)

年	月	事 項 ・ 事 象
平成16年	4月	○ 「元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業制度要綱」制定（事業創設）
平成17年	8月	○ 「元気ふくしま、地域づくり交流会」開催
平成18年	1月	○ 只見町布沢地区「舗装工」完成
	3月	● いわき市常磐湯本地区「鶴のあし湯」供用
	6月	● 三島町早戸地区「親水護岸（船付場）」完成
	9月	● 桑折町羽州奥州街道地区「広流広場（分岐点復元）」完成
平成19年	3月	○ 山都町広野周辺地区「広流広場」完成
	3月	● 郡山市中田地区「黒石夢歩道」部分供用
	8月	○ 「元気ふくしま交流会」開催
	11月	○ 桑折町羽州奥州街道地区「手づくり郷土賞」受賞
平成20年	2月	○ 「第2回元気ふくしま交流会」開催
	3月	○ いわき市小名浜地区「倉庫改修」完成

羽州奥州街道地区(桑折町)
分岐点復元



常磐湯本地区(いわき市)
鶴のあし湯



早戸地区(三島町)
親水護岸



中田地区(郡山市)
黒石夢歩道



(土地区画整理事業)

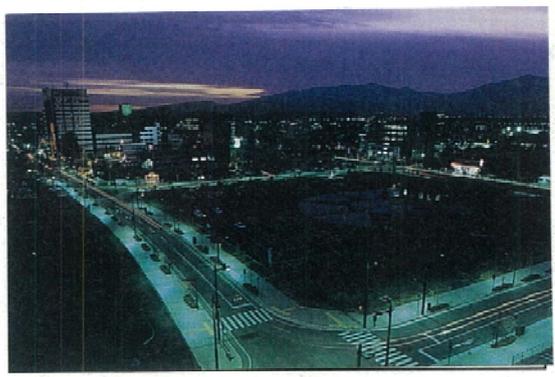
年	月	事 項 ・ 事 象	
平成元年	3月10日	○ 福島中央土地区画整理事業（福島市、組合施行A=104.6ha）換地処分公告	
	3月10日	○ 駅南部土地区画整理事業（三春町、公共団体施行A=61.7ha）換地処分公告	
	12月14日	○ 赤沢土地区画整理事業（矢吹町、組合施行A=14.4ha）換地処分公告	
平成2年	11月9日	○ 泉玉露土地区画整理事業（いわき市、組合施行A=82.7ha）換地処分公告	
	11月27日	○ 新町東部土地区画整理事業（三春町、組合施行A=17.1ha）換地処分公告	
平成3年	8月20日	○ 平沼ノ内土地区画整理事業（いわき市、組合施行A=24.1ha）換地処分公告	
平成4年	1月7日	● 白河西郷東土地区画整理事業（白河市、公共団体施行A=53.2ha）換地処分公告	
		○ 白河西郷西土地区画整理事業（西郷村、公共団体施行A=57.1ha）換地処分公告	
	2月21日	○ 鎌田第一土地区画整理事業（福島市、組合施行A=19.0ha）換地処分公告	
	4月28日	○ 西四ツ谷第二土地区画整理事業（喜多方市、公共団体施行A=8.9ha）換地処分公告	
平成5年	1月22日	○ 大森土地区画整理事業（福島市、組合施行A=9.8ha）換地処分公告	
	2月12日	○ 小川町本宮土地区画整理事業（原町市、組合施行A=7.8ha）換地処分公告	
平成6年	1月14日	○ 菅生館土地区画整理事業（白河市、組合施行A=8.5ha）換地処分公告	
	5月20日	○ 塩田入土地区画整理事業（本宮町、組合施行A=3.0ha）換地処分公告	
	24日	○ 松川羽山土地区画整理事業（福島市、組合施行A=63.8ha）換地処分公告	
	7月29日	○ 表土地区画整理事業（二本松市、組合施行A=15.4ha）換地処分公告	
平成7年	8月16日	○ 坂下西第一土地区画整理事業（会津坂下町、組合施行A=22.0ha）換地処分公告	
	2月10日	○ 植田東部土地区画整理事業（いわき市、公共団体施行A=82.4ha）換地処分公告	
	9月1日	○ 大池土地区画整理事業（郡山市、組合施行A=3.1ha）換地処分公告	
	10月27日	○ 思堀土地区画整理事業（会津本郷町、公共団体施行A=18.6ha）換地処分公告	
平成8年	10月27日	○ 山道上土地区画整理事業（会津本郷町、公共団体施行A=3.8ha）換地処分公告	
	3月1日	○ 平南部第三土地区画整理事業（いわき市、公共団体施行A=18.8ha）換地処分公告	
	10月11日	○ 並松土地区画整理事業（梁川町、組合施行A=11.3ha）換地処分公告	
	12月13日	● 福島駅西口土地区画整理事業（福島市、公共団体施行A=5.7ha）換地処分公告	
平成9年	2月7日	○ 金谷川駅前土地区画整理事業（福島市、公共団体施行A=19.6ha）換地処分公告	
	8月8日	○ 常磐下船尾土地区画整理事業（いわき市、組合施行A=13.2ha）換地処分公告	
	9月26日	○ 飯坂南部土地区画整理事業（福島市、公共団体施行A=29.6ha）換地処分公告	
	10月31日	○ 梁川駅前土地区画整理事業（梁川町、公共団体施行A=45.0ha）換地処分公告	
平成10年	3月20日	○ 鏡石駅前土地区画整理事業（鏡石町、公共団体施行A=2.9ha）換地処分公告	
	9月1日	○ 北堀切土地区画整理事業（白河市、組合施行A=3.0ha）換地処分公告	
平成11年	3月3日	○ 平駅前第二土地区画整理事業（いわき市、公共団体施行A=10.3ha）換地処分公告	
	3月12日	○ 八山田土地区画整理事業（郡山市、組合施行A=95.6ha）換地処分公告	
	8月6日	○ 新夜ノ森土地区画整理事業（富岡町、組合施行A=10.0ha）換地処分公告	
	10月1日	● 西部土地区画整理事業（喜多方市、公共団体施行A=111.7ha）換地処分公告	
	10月29日	○ 相馬駅東土地区画整理事業（相馬市、公共団体施行A=74.2ha）換地処分公告	
	11月12日	○ 植田根小屋土地区画整理事業（いわき市、組合施行A=3.9ha）換地処分公告	
平成12年	2月29日	○ 駅前土地区画整理事業（白河市、公共団体施行A=5.5ha）換地処分公告	
平成15年	7月8日	● 富田第一土地区画整理事業（郡山市、公共団体施行A=94.8ha）換地処分公告	
平成16年	5月28日	○ 下宿土地区画整理事業（須賀川市、公共団体施行A=12.6ha）換地処分公告	
		○ 町尻土地区画整理事業（鹿島町、公共団体施行A=6.6ha）換地処分公告	
	7月16日	○ 松山岩月第二土地区画整理事業（喜多方市、組合施行A=21.3ha）換地処分公告	
	9月24日	○ 常磐西郷土地区画整理事業（いわき市、組合施行A=12.8ha）換地処分公告	
	10月1日	○ 弁天土地区画整理事業（本宮町、組合施行A=5.5ha）換地処分公告	
	10月15日	○ 福島西土地区画整理事業（福島市、組合施行A=58.8ha）換地処分公告	
	12月17日	○ 船引東部地区土地区画整理事業（船引町、公共団体施行A=76.1ha）換地処分公告	
	12月24日	○ 駅前北部土地区画整理事業（原町市、公共団体施行A=5.2ha）換地処分公告	
	平成17年	11月25日	○ 西町土地区画整理事業（鹿島町、公共団体施行A=39.2ha）換地処分公告
	平成19年	3月20日	○ 片平中ノ目土地区画整理事業（郡山市、公共団体施行A=4.0ha）換地処分公告

年	月	事 項 ・ 事 象
---	---	-----------

- 6月29日 ● 福島北土地区画整理事業（福島市、公共団体施行A=120.6ha）換地処分公告
- 9月30日 ○ 上名倉・荒井土地区画整理事業（福島市、組合施行A=50.2ha）換地処分公告
- 平成20年 1月18日 ● 内郷東部第三土地区画整理事業（いわき市、公共団体施行A=13.0ha）換地処分公告
- 2月 8日 ○ 泉西部土地区画整理事業（いわき市、組合施行A=58.1ha）換地処分公告



●白河西郷東土地地区画整理事業（白河市）

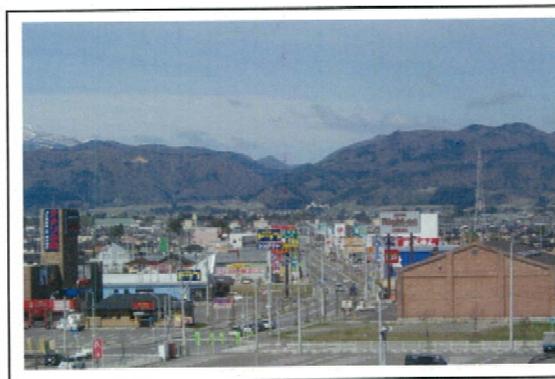


●福島駅西口土地地区画整理事業（福島市）



●西部土地地区画整理事業（喜多方市）

●富田第一土地地区画整理事業（郡山市）

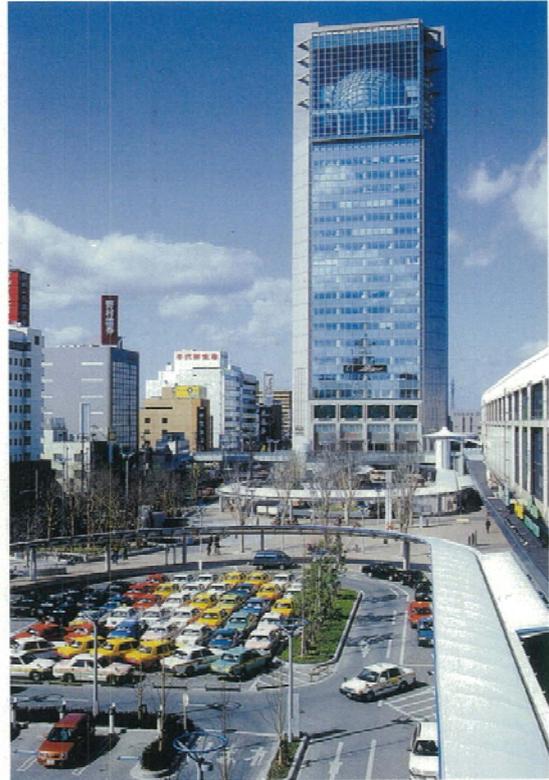


●福島北土地地区画整理事業（福島市）

●内郷東部第三土地地区画整理事業（いわき市）

(市街地再開発事業)

年	月	事 項 ・ 事 象
平成10年	8月26日	○ 郡山駅西口第一種市街地再開発事業(郡山市、公共団体施行)事業計画決定
平成11年	1月26日	○ 郡山駅西口第一種市街地再開発事業(郡山市、公共団体施行)権利変換計画決定
平成13年	3月19日	○ 郡山駅西口第一種市街地再開発事業(郡山市、公共団体施行)建築工事完了公告
	3月22日	○ 郡山駅西口第一種市街地再開発事業(郡山市、公共団体施行)竣工式
	4月 1日	● 郡山駅西口再開発ビル「ビッグアイ」オープン
平成15年	11月25日	○ いわき駅前第一種市街地再開発組合設立認可
平成16年	6月 4日	○ いわき駅前第一種市街地再開発事業(いわき市、組合施行)事業計画決定
平成17年	2月21日	○ いわき駅前第一種市街地再開発事業(いわき市、組合施行)権利変換計画決定
平成19年	10月23日	○ いわき駅前再開発ビル「ラトブ」竣工式
	10月25日	● いわき駅前再開発ビル「ラトブ」オープン



●郡山駅西口第一種市街地再開発事業
（再開発ビル「ビッグアイ」）



●いわき駅前第一種市街地再開発事業
（再開発ビル「ラトプ」）

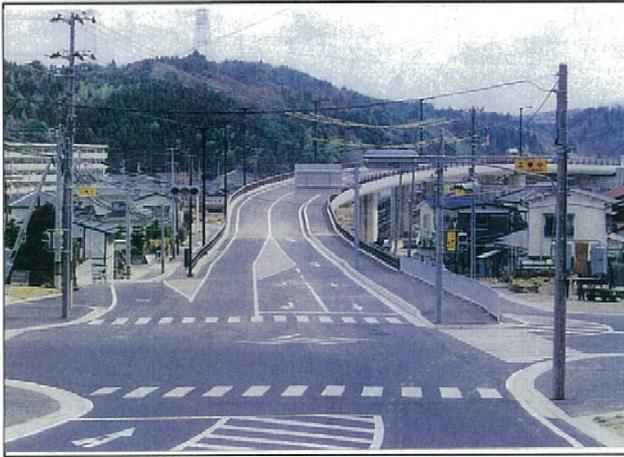


(まちづくり総合支援、まちづくり交付金)

年	月	事 項 ・ 事 象
平成12年	4月	○ 建設省が「まちづくり総合支援事業」制度を創設
平成12年	5月	○ 「まちづくり総合支援事業」H12年度に3地区(北矢野目地区:福島市、会津大学周辺地区:会津若松市、原ノ町駅周辺地区:原町市)新規採択(「まちづくり事業計画」の同意)
平成13年	3月	○ 「まちづくり総合支援事業」H13年度に1地区(須賀川駅前・北町地区:須賀川市)新規採択
平成14年	3月	○ 「まちづくり総合支援事業」H14年度に3地区(ふれあい福祉地区:川俣町、保原地区:保原町、三春中心市街地地区:三春町)新規採択
平成15年	3月	○ 「まちづくり総合支援事業」H15年度に2地区(棚倉城跡周辺地区:棚倉町、桑折駅周辺地区:桑折町)新規採択
平成16年	3月	○ 「まちづくり総合支援事業」H16年度に1地区(忽滑地区:いわき市)新規採択
	4月	○ 「まちづくり総合支援事業」制度が廃止、新たに「まちづくり交付金」制度を創設
	5月	○ 「まちづくり交付金」H16年度に6地区(棚倉城跡周辺地区:棚倉町(まちづくり総合支援事業から移行)、二本松駅周辺地区:二本松市、いわき駅前地区:いわき市、鹿島町船戸地区:いわき市、新地地区:新地町、黒谷地区:只見町)新規採択(「都市再生整備計画」の提出)
平成17年	3月	○ 「まちづくり交付金」H17年度に9地区(会津大学周辺地区:会津若松市、伊達駅前地区:伊達町、保原地区:保原町(まちづくり総合支援事業から移行)、船引駅周辺地区:船引町、湯ノ花・木賊地区:舘岩村、伊賀河原地区:郡山市、安積地区:郡山市、高田地区:会津高田町、鮫川地区:鮫川村)新規採択
	3月	○ 「まちづくり総合支援事業」5地区(北矢野目地区、会津大学周辺地区、ふれあい福祉地区、三春中心市街地地区、桑折駅周辺地区)完了
平成18年	3月	○ 「まちづくり交付金」H18年度に5地区(飯坂地区:福島市、福島都心地区:福島市、富田・富久山地区:郡山市、郡山駅前西口地区:郡山市、会津若松中央西地区:会津若松市)新規採択
	3月	○ 「まちづくり総合支援事業」2地区(原ノ町駅周辺地区、須賀川駅前・北町地区)完了
平成19年	3月	○ 「まちづくり交付金」H19年度に6地区(本町・小原田地区:郡山市、本宮市街地地区:本宮町、大寺・本寺地区:磐梯町、田島地区:南会津町、塔寺・気多宮地区:会津坂下町、上蓬田地区:平田村)新規採択
	3月	○ 「まちづくり総合支援事業」1地区(忽滑地区)完了
平成20年	3月	○ 「まちづくり交付金」H20年度に3地区(須賀川南部地区:須賀川市、白河駅南地区:白河市、開成山地区:郡山市)新規採択
	3月	○ 「まちづくり交付金」2地区(鹿島町船戸地区、鮫川地区)完了

(街 路)

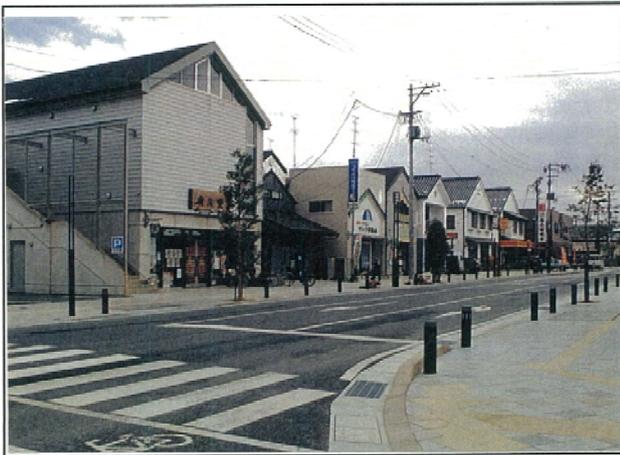
年	月	事 項 ・ 事 象
平成元年		○ 坪ヶ迫寺前線重要幹線街路事業 (L=1,575m W=16m、相馬市、相双建設事務所) 事業着手
		○ 幹線1号線重要幹線街路事業 (L=798m W=16m、保原町、県北建設事務所) 事業着手
平成3年		○ 関船鹿島線 (関船跨線橋) 重要幹線街路事業 (L=760m W=16m、いわき市、いわき建設事務所) 事業着手
平成4年		○ 窪東谷地線 (しおかわ大橋) 重要幹線街路事業 (L=587.5m W=12~16m、塩川町、喜多方建設事務所) 事業着手
		○ 幕の内小田橋線 (湯川橋) 緊急地方道整備事業 (L=38.3m W=16m、会津若松市、会津若松建設事務所) 事業着手
		○ 平磐城線 (岡小名工区) 重要幹線街路事業 (L=1,460m W=25m、いわき市、いわき建設事務所) 事業着手
平成5年		○ 幕の内小田橋線 (湯川橋) 緊急地方道整備事業 (L=38.3m W=16m、会津若松市、会津若松建設事務所) 事業完了
		○ 門田本郷線重要幹線街路事業 (L=4,197m W=14~25m、会津若松市・本郷町、会津若松建設事務所) 事業完了
		○ 勿来岩間線 (後田工区) 重要幹線街路事業 (L=668m W=16.5~18m、いわき市、いわき建設事務所) 事業着手
平成6年		○ 西郷搦目線 (西郷高原大橋) 重要幹線街路事業 (L=525.4m W=18m、白河市・西郷村、県南建設事務所) 事業完了
		○ 小泉桜町線重要幹線街路事業 (L=286.8m W=16m、相馬市、相双建設事務所) 事業着手
平成7年		● 勿来岩間線 (植田跨線橋) 重要幹線街路事業 (L=598.5m W=18~28m、いわき市、いわき建設事務所) 事業完了
平成8年		○ 亀賀門田線 (追手町工区) 重要幹線街路事業 (L=930m W=20~22m、会津若松市、会津若松建設事務所) 事業着手
		○ 幹線1号線重要幹線街路事業 (L=798m W=16m、保原町、県北建設事務所) 事業完了
平成9年		○ 若宮野辺線緊急地方道整備事業 (L=460m W=18~19m、二本松市、県北建設事務所) 事業着手
		● 須賀川駅並木町線重要幹線街路事業 (L=415m W=16m、須賀川市、県中建設事務所) 事業完了
		○ 須賀川駅並木町線 (須賀川橋) 重要幹線街路事業 (L=430m W=16m、須賀川市、県中建設事務所) 事業着手
平成12年		○ 窪東谷地線 (しおかわ大橋) 重要幹線街路事業 (L=587.5m W=12~16m、塩川町、喜多方建設事務所) 事業完了
		○ 幕の内小田橋線 (西若松跨線橋) 重要幹線街路事業 (L=475m W=25m、会津若松市、会津若松建設事務所) 事業完了
平成13年		● 小泉桜町線重要幹線街路事業 (L=286.8m W=16m、相馬市、相双建設事務所) 事業完了
		○ 郡山駅庚担原線シホ`ルロード`整備事業 (L=350m W=30m、郡山市、県中建設事務所) 事業着手
平成15年		○ 幕の内小田橋線 (西若松自由通路) 緊急地方道整備事業 (L=45m W=6m、会津若松市、会津若松建設事務所) 事業着手
		○ 平磐城線 (岡小名工区) 重要幹線街路事業 (L=1,460m W=25m、いわき市、いわき建設事務所) 事業完了
		○ 陣屋線 (界橋) 緊急地方道整備事業 (L=28.1m W=18m、保原町、県北建設事務所) 事業着手
平成16年		○ 平磐城線 (花畑工区) 重要幹線街路事業 (L=876m W=27m、いわき市、いわき建設事務所) 事業着手
		○ 須賀川駅並木町線 (須賀川橋) 重要幹線街路事業 (L=430m W=16m、須賀川市、県中建設事務所) 事業完了
		○ 関船鹿島線 (関船跨線橋) 重要幹線街路事業 (L=760m W=16m、いわき市、いわき建設事務所) 事業完了
平成17年		○ 亀賀門田線 (追手町工区) 重要幹線街路事業 (L=930m W=20~22m、会津若松市、会津若松建設事務所) 事業完了
		● 幕の内小田橋線 (西若松自由通路) 緊急地方道整備事業 (L=45m W=6m、会津若松市、会津若松建設事務所) 事業完了
		○ 坪ヶ迫寺前線重要幹線街路事業 (L=1,575m W=16m、相馬市、相双建設事務所) 事業完了
平成18年		● 郡山駅庚担原線シホ`ルロード`整備事業 (L=350m W=30m、郡山市、県中建設事務所) 事業完了
平成19年		○ 吹上荒町線重要幹線街路事業 (L=281.5m W=18~19m、本宮市、県北建設事務所) 事業完了



●勿来岩間線(植田跨線橋) (いわき市)



●須賀川駅並木町線 (須賀川市)



●小泉桜町線 (相馬市)



●幕の内小田橋線(西若松自由通路) (会津若松市)



【中町から郡山駅前を望む】

●郡山駅庚坦原線(シンボルロード) (郡山市)



【さくら通りから郡山駅を望む(昭和 30 年代)】

(都市公園)

年	月	事 項 ・ 事 象
平成3年	7月 5日	○ 会津クレーション公園(会津若松市、広域公園、A=2.3ha追加)の都市計画変更告示
平成4年	4月 7日	○ 東ヶ丘公園(原町市、広域公園、A=106.1ha)の都市計画決定告示
	10月	○ あづま総合運動公園(福島市、広域公園)あづま総合体育館竣工
平成5年	3月20日	● 福島空港公園(須賀川市・玉川村、広域公園)のエアフロントエリアの一部(A=12.4ha)を開園
	8月 3日	○ 東ヶ丘公園(原町市、広域公園、A=89.6.1ha)の都市計画事業認可告示
	10月	○ あづま総合運動公園(福島市、広域公園)あづま陸上競技場竣工
平成6年	12月16日	○ 福島空港2,500m拡張に伴い福島空港公園の都市計画区域変更決定告示
平成7年	3月31日	○ 福島空港公園(須賀川市・玉川村、広域公園)のエアフロントエリア全体が完成(A=19.4ha)
		● 東ヶ丘公園(原町市、広域公園)の一部(A=1.3ha)を開園
	10月	○ あづま総合運動公園(福島市、広域公園)にてふくしま国体秋季大会開会式(陸上競技場)
平成10年		● 会津クレーション公園(会津若松市、広域公園)の一部(A=16.5ha)を開園
平成13年	7月 4日	○ 福島空港公園(須賀川市・玉川村、広域公園)の地球科学エリアの一部(A=6.3ha)を開園
平成14年	10月17日	○ 福島空港公園(須賀川市・玉川村、広域公園)の緑のスポーツエリアの一部(A=18.2ha)を開園
平成15年	7月	● あづま総合運動公園(福島市、広域公園)の全面供用開始(A=98.2ha)
平成16年	4月24日	○ 福島空港公園(須賀川市・玉川村、広域公園)の緑のスポーツエリアに「21世紀建設館」(H13年開催うつくしま未来博)移築完了・供用開始
平成17年	3月	● いわき公園(いわき市、総合公園)の全面供用開始(A=71.3ha)
平成18年	4月	○ 会津クレーション公園(会津若松市、広域公園)整備概成(A=42.6ha開園/43.7ha) ○ 福島空港公園(須賀川市・玉川村、広域公園)の緑のスポーツエリア(一部A=1.5ha)を開園 ○ 新浜公園(福島市、近隣公園)を福島市に移管(譲与、県営都市公園廃止)
平成19年	4月	○ 東ヶ丘公園(南相馬市、広域公園)の一部(A=21.2ha)を開園



●福島空港公園（須賀川市・玉川村）



●東ヶ丘公園（南相馬市）



●会津レクリエーション公園（会津若松市）



●あづま総合運動公園（福島市）



●いわき公園（いわき市）



(下水道事業)

年	月	事 項 ・ 事 象	
平成元年	3月31日	○ 蛇谷須浄化センター（富岡町）供用開始	
	4月 1日	○ 双葉浄化センター（双葉町）供用開始	
	12月 7日	○ 県北流域下水道建設事務所が福島市鎌田に新築移転	
平成2年	4月 1日	○ 相馬市下水処理場（相馬市）供用開始	
平成3年	4月 1日	○ 高松浄化センター（原町市）供用開始	
	9月 1日	○ 浪江浄化センター（浪江町）供用開始	
平成4年	4月 1日	○ 富岡浄化センター（富岡町）供用開始	
	4月20日	○ 熱海浄化センター（郡山市）供用開始	
	8月 1日	○ 志田浜浄化センター（猪苗代町）供用開始	
	10月 1日	○ 須賀川市が流域関連公共下水道通水開始	
平成5年	4月 7日	○ 坂下西浄化センター（会津坂下町）供用開始	
		○ 広野浄化センター（広野町）供用開始	
	7月 1日	○ 北泉浄化センター（原町市）供用開始	
	10月 1日	○ 喜多方浄化センター（喜多方市）供用開始	
	2月 1日	○ 大平浄化センター（西郷村）供用開始	
平成6年	3月29日	○ 白河都市環境センター（白河市）供用開始	
	4月 4日	○ 南地区浄化センター（檜葉町）供用開始	
	6月 1日	○ 鏡石町が流域関連公共下水道通水開始	
平成7年	4月 1日	○ 矢吹町が流域関連公共下水道通水開始	
	5月29日	○ 「福島県全域下水道化構想」を樹立	
	10月 1日	○ 土湯温泉町浄化センター（福島市）供用開始	
平成8年	3月25日	○ 県北浄化センター通水式	
	4月 1日	● 阿武隈川上流流域下水道（県北処理区）供用開始	
		○ 福島市、桑折町、伊達町、国見町、梁川町、保原町が流域関連公共下水道通水開始	
		○ 南部浄化センター（いわき市）供用開始	
		○ 市町村下水道整備代行業を開始	
	10月 8日	○ 久慈川流域別下水道整備総合計画承認	
	平成9年	2月 3日	○ 福島県下水道防災計画策定
		3月25日	○ 福島県下水汚泥処理総合計画策定
		3月31日	○ 阿武隈川流域別下水道整備総合計画（変更）承認
			○ 小高浄化センター（小高町）供用開始
4月 1日		○ 棚倉浄化センター（棚倉町）供用開始	
	○ 新町浄化センター（大熊町）供用開始		
	8月 1日	○ 北作浄化センター（長沼町）供用開始	
	9月10日	○ 裏磐梯浄化センター（北塩原村）供用開始	
平成10年	7月27日	○ 中通り地域下水汚泥処理施設基本計画策定	
	10月 1日	● 阿武隈川あだたら流域下水道（二本松処理区）供用開始	
		○ 二本松市、安達町が流域関連公共下水道通水開始	
	10月22日	○ あだたら清流センター通水式	
	11月 9日	○ 田島都市環境センター（田島町）供用開始	
平成11年	3月 1日	○ 北山浄化センター（北塩原村）供用開始	
		25日	○ 浜通り地域下水汚泥処理施設基本計画策定
		26日	○ 会津地域下水汚泥処理施設基本計画策定
	7月 1日	○ 磐梯環境浄化センター（磐梯町）供用開始	
平成12年	3月31日	○ 鹿島浄化センター（鹿島町）供用開始	
	4月 1日	○ 三春水環境センター（三春町）供用開始	
		○ 野沢浄化センター（西会津町）供用開始	
	9月25日	○ 新地浄化センター（新地町）供用開始	

年	月	事 項 ・ 事 象	
平成13年	3月30日	○ 上昭和浄化センター（昭和村）供用開始 ○ 南郷浄化センター（南郷村）供用開始	
	4月 1日	○ 大久保浄化センター（西会津町）供用開始	
	12月10日	○ 檜枝岐浄化センター（檜枝岐村）供用開始	
平成14年	4月 1日	○ 北会津北部浄化センター（北会津村）供用開始	
	6月 1日	○ 塩川浄化センター（塩川町）供用開始	
	7月 1日	○ 福島県汚泥溶融施設供用開始 ○ 湖南浄化センター（郡山市）供用開始	
	8月29日	○ 北地区浄化センター（檜葉町）供用開始	
	11月 1日	○ 中ノ沢浄化センター（猪苗代町）供用開始	
	11月18日	○ 大塩浄化センター（北塩原村）供用開始	
平成15年	3月 1日	○ 塙浄化センター（塙町）供用開始	
	3月31日	○ 熱塩浄化センター（熱塩加納村）供用開始	
	4月22日	○ 湯川浄化センター（湯川村）供用開始	
	5月 1日	○ 柳津浄化センター（柳津町）供用開始	
	10月 1日	○ 双葉地方広域市町村圏組合が汚泥炭化処理施設供用開始	
平成16年	3月31日	○ 会津高田浄化センター（会津高田町）供用開始	
	4月 1日	● 大滝根川流域下水道（田村処理区）供用開始 ○ 船引町が流域関連公共下水道通水開始 ○ 坂下東浄化センター（会津坂下町）供用開始 ○ 岳せせらぎセンター（二本松市）供用開始 ○ 岩代せせらぎセンター（岩代町）供用開始	
	4月23日	○ 大滝根水環境センター通水式	
	平成17年	3月31日	○ 山都浄化センター（山都町）供用開始
		4月 1日	○ 河東浄化センター（河東町）供用開始 ○ 会津本郷浄化センター（会津本郷町）供用開始
	平成18年	3月	○ 福島県下水汚泥処理総合計画（見直し）策定
		4月 1日	○ 浅川浄化センター（浅川町）供用開始
	平成20年	4月 1日	○ 大滝根川流域下水道旧滝根町通水開始（大滝根幹線全線供用開始） ○ 小処理の維持管理における民間一括委託開始（阿武隈川あだたら流域下水道二本松処理区）

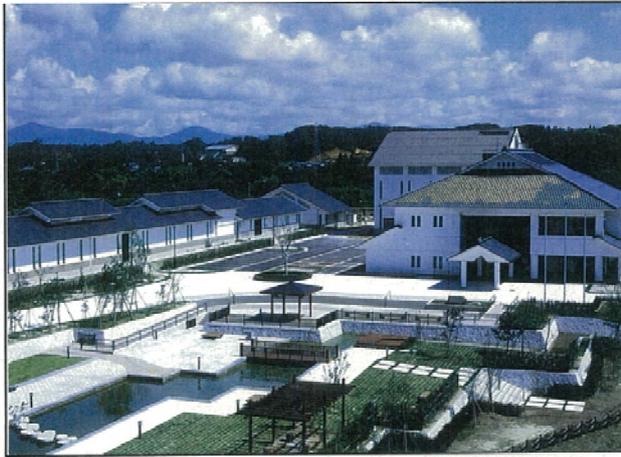


【 県北浄化センター（国見町）】



【 県北浄化センターでの下水道まつり 】

●阿武隈川上流流域下水道（県北処理区）



【 あだたら清流センター（二本松市）】



【 あだたら清流センター内中央監視室 】

●阿武隈川あだたら流域下水道（二本松処理区）



【 大滝根水環境センター（田村市）】



【 大滝根水環境センター施工中写真 】

●大滝根川流域下水道（田村処理区）

(空 港)

年	月	事 項 ・ 事 象
平成元年	6月	○ 「福島県空港建設対策本部会議」において、滑走路長2,500mへの延長を国に要望することを決定
平成2年	4月26日	○ 福島空港ビル株式会社設立
平成3年	11月29日	○ 「福島空港の滑走路2,500mへの延長」を盛り込んだ「第6次空港整備五箇年計画」閣議決
平成4年	4月	○ 「空港拡張基本計画調査」に着手
	10月1日	○ 「福島空港管理事務所」を新設、空港建設事務所敷地内に併設
平成5年	1月	○ 福島空港ターミナルビル竣工
	2月1日	○ 福島空港管理事務所が、福島空港ターミナルビル内に移転
	4日	○ 福島空港供用開始告示
	3月20日	● 福島空港開港(札幌便、名古屋便、大阪便開設、名古屋便についてはH15・3・31路線廃止)
	5月1日	○ 福岡便開設 (H18・4・1路線休止)
平成6年	6月1日	○ 函館便開設 (H14・3・31路線休止)
	6月23日	○ 福島空港の滑走路2,500mへの延長事業の新規事業採択
	9月4日	○ 沖縄便開設
平成7年	3月16日	○ 福島空港の飛行場施設変更許可(滑走路2,500m)を申請
	7月22日	○ 帯広便開設 (H13・3・31路線休止)
	11月13日	○ 福島空港滑走路2,500m拡張工事起工式
平成8年	12月13日	○ 「福島空港の滑走路3,000m級への延長」を盛り込んだ「第7次空港整備五箇年計画」が閣議決定
平成9年	8月15日	○ 日中航空当局間協議において福島空港を中国の新規乗り入れ地点とすることを合意
平成10年	4月1日	○ 福島空港内に福島県消防防災航空センターを設置
	6月17日	○ 国際線旅客ターミナルビル着工
	11月5日	○ 2,500m滑走路第Ⅰ期供用開始告示
	12月3日	○ 第Ⅰ期供用開始(2,500m滑走路のみの供用)
平成11年	1月21日	○ 日韓航空当局間協議において福島空港を韓国の新規乗り入れ地点とすることを合意
	5月31日	○ 国際線旅客ターミナルビル竣工
	6月17日	● 中国(上海)との国際定期便開設
	22日	○ 韓国(ソウル)との国際定期便開設
	8月12日	○ 滑走路警戒灯の航空灯火変更申請2,500m滑走路第Ⅱ期供用開始告示
	9月9日	○ 第Ⅱ期供用開始(エプロンとその取付誘導路の供用)
平成12年	4月1日	○ 福島空港管理事務所と空港建設事務所を統合し「福島空港事務所」となる。
	6月15日	○ 2,500m滑走路第Ⅲ期供用開始告示
	7月13日	● 第Ⅲ期供用開始(平行誘導路を含む全面供用)
平成13年	4月1日	○ 広島便開設 (H14・3・31路線休止)
平成15年	3月20日	○ 福島空港開港10周年記念式
	4月1日	○ 都市領域内に空港管理グループを設置(行政組織の再編により課制を廃止、グループ制の導
平成16年	6月20日	○ 福島空港国際線定期便就航5周年記念式
平成17年	2月17日	○ 名古屋便開設(中部国際空港、H19・11・30路線休止)
	4月1日	○ 大阪便(関西空港)運航
平成20年	4月1日	○ 河川港湾総室内に空港管理室を設置(行政組織の再編によりグループ制から課・室制へ)
	9月9日	○ アルファード・アビエーション福島空港運航所の開校式
	8月12日	○ 法政大学パイロット養成学科開講式



●福島空港開港式典 (H5・3・20)



●2,000m 滑走路供用開始 (H5・3・20)



●国内線一番機(大阪便, H5・3・20)



●国際線一番機 (中国・上海便, H11・6・17)



●2,500m 滑走路供用記念式典 (H12・7・13)



●2,500m 滑走路全面供用開始 (H12・7・13)



●福島空港初のジャンボジェット機 (H12・7・13)



●福島空港「空の日」

6 建築領域

(建築住宅企画)

年	月	事 項 ・ 事 象
平成元年		○ 住宅問題懇談会を開催
平成2年		○ 住宅問題懇談会を開催
		○ 「高齢化対応型住宅計画要領書」を策定
平成3年		○ 第6期住宅建設5箇年計画を策定
		● 県営住宅五百淵山団地（郡山市・8棟・141戸）完成
平成4年		○ 県営住宅鹿島団地（いわき市・6棟・72戸）完成
平成5年		○ 県営住宅日吉団地（会津若松市・7棟・63戸）完成
平成6年		○ 特定優良賃貸住宅の建設開始
		○ 福島県建築文化賞の事務局を企画調整部から土木部へ（第1回～12回企画調整部、第13回～土木部）
平成7年		○ 県営住宅桜ヶ丘団地完成（須賀川市・3棟・68戸）完成
平成8年	2月	○ （社）プレハブ建築協会と災害時における応急仮設住宅の建設に係る協定を締結
		○ 公営住宅法的大幅改正（応能応益型家賃制度）
		○ 第7期住宅建設5箇年計画を策定
	3月	○ 福島県住宅マスタープラン「うつくしま・ふくしますまいるプラン21」を策定
平成9年		○ 県営住宅桜木町団地（福島市・5棟・110戸）完成
平成10年	3月	○ 県営住宅亀田団地（郡山市・3棟・56戸）完成
	3月	● 県営住宅四ツ波団地（いわき市・5棟・112戸）完成
平成11年	10月	○ 県営住宅北信団地（福島市・3棟・66戸）完成
	3月	○ 県営住宅緑ヶ丘団地（郡山市・8棟・72戸）完成
平成12年	4月	○ 県営住宅関川窪団地（白河市・5棟・101戸）完成
	6月	○ 県営住宅五月町団地（会津若松市・5棟・64戸）完成
		○ 県営住宅蓬莱団地全面改善事業基本設計
平成13年	3月	○ 福島県少子高齢社会住宅整備計画策定
	3月	○ 既存県営住宅等総合再生計画策定
	6月	● 県営住宅東桜が丘団地（喜多方市・2棟・24戸）完成
	10月	○ 高齢者円滑入居賃貸住宅登録制度の創設
		○ 第8期住宅建設5箇年計画を策定
平成14年		○ 県営住宅滝尻団地（いわき市・4棟・50戸）完成
平成15年		○ 県営住宅青木団地（会津若松市・5棟・88戸）完成
平成16年		● 県営住宅荒井団地（福島市・10棟・143戸）完成
平成17年		● 県営住宅柴宮団地（郡山市・7棟・94戸）
平成18年	3月	○ 「福島県住宅マスタープラン」を策定
平成19年	3月	○ 「福島県住生活基本計画」を策定
		○ 住宅一体型子育て支援施設の実施（県営住宅蓬莱団地集会場の活用）

(建築指導)

年	月	事 項 ・ 事 象
平成2年	3月	○ モデル都市景観推進事業（「美しい街なみづくりのためにー建築景観デザインマニュアル」発刊）
		● 優良建築物等整備事業（ホテルはまつ）完成
	3月	○ モデル都市景観推進事業（「建築景観デザインマニュアルーチェックリスト編」発刊）
平成3年		○ モデル都市景観推進事業
	4月	○ ふくしまウッドィハウス建設推進事業創設
	4月	○ 木のまち整備事業創設
平成6年		○ 環境共生住宅市街地モデル事業（伊達町志和田前住宅団地）
平成6年	9月	○ 市街地再開発事業（ユニックスビル）完成
平成7年		● 街並み・まちづくり総合支援事業（伊達町志和田前住宅団地）
		○ うつくしまふくしままちなみ建築デザインモデル事業（会津若松市七日町・大町）
	9月	○ 「人にやさしいまちづくり条例ー施設整備マニュアル」の発刊
	12月	○ 「既存建築物総合防災対策推進要綱」の改正
平成8年		● うつくしまふくしままちなみ建築デザインモデル事業（矢吹町・矢吹駅前）
		○ 優良建築物等整備事業（梁川町 ふるさと会館）完成
平成10年	3月	○ 優良建築物等整備事業（福島市 曾根田ショッピングセンター）完成
	11月	○ 住宅フェア（会場：ビッグパレットふくしま）開催
平成11年	10月	○ 「福島県建築物安全安心実施計画」を策定（平成11年10月1日～平成14年3月31日）
	10月	● 市街地再開発事業（郡山市 うすい百貨店ビル）完成
	11月	○ 住宅フェア（会場：ビッグパレットふくしま）開催
平成12年	4月	○ 福島県知事の指定確認検査機関「財団法人ふくしま建築住宅センター」が業務開始
	11月	○ 住宅フェア（会場：ビッグパレットふくしま）開催
平成13年		● 優良建築物等整備事業（三春町 みはる壱番館）完成
		○ 「ふくしまの棟梁コンクール」の創設
		○ バーチャルモデル住宅「ふくしまの家」構築事業
		○ シックハウス相談窓口設置
平成14年		○ 「福島県建築物違反対策推進計画」を策定（平成14年8月1日～平成19年3月31日）
	3月	● 優良建築物等整備事業（福島市 ラシェール追分ビル）完成
	3月	● 市街地再開発事業（いわき市 ティーワンビル）完成
平成15年		○ 優良建築物等整備事業（会津若松市 ベルアス大町ビル）完成
	6月	○ 福島県優良木造住宅ストック形成支援事業の創設
平成17年	3月	○ 優良建築物等整備事業（福島市 サンライズ中町ビル）完成
	6月	○ 福島県過疎・中山間地域空家住宅等活用事業の創設
	7月	○ ふくしま木造住宅耐震診断の手引き作成
	7月	○ アスベスト相談窓口の実施
平成18年	4月	○ （新）福島県優良木造住宅ストック形成支援事業の創設
	4月	○ 福島県木造住宅耐震診断促進事業の創設
	4月	○ 福島県民間住宅吹付けアスベスト対策事業の創設
	9月	○ 「持続可能な地域社会形成に資する住まいとまちづくり協定」の締結
平成19年	1月	○ 「福島県耐震改修促進計画」を策定
	3月	○ 優良建築物等整備事業（福島市 NFCビル）完成
	3月	● 街なみ環境整備事業（会津美里町 瀬戸町・瀬戸町西地区）完成
	6月	○ 改正建築基準法に基づく「構造計算適合性判定制度」の開始
	7月	○ 「福島県建築物安全安心指針計画」を策定
	8月	○ 福島県耐震化・リフォーム等推進協議会設立
	9月	○ ふくしま木造住宅耐震改修の手引き作成
	9月	○ 木の香るふくしまの家工事共通仕様書作成
	9月	○ 福島県木造住宅耐震改修促進事業の創設

(営繕・設備)

年	月	事 項 ・ 事 象
平成2年	3月	○ 浪江高等学校津島分校完成
平成3年	10月	○ 喜多方しのめ荘完成
平成4年	3月	○ 会津養護学校完成
	3月	○ 田島病院指名プロポーザル実施 (㈱共同設計)
	3月	○ 浜通り高等技術専門校指名設計競技実施 (㈱教育施設研究所)
	9月	○ 「県有施設冷房設備整備方針」の策定
平成4年	9月	○ 地域福祉推進特別対策事業の開始
平成5年	1月	○ 富岡警察署庁舎完成
平成6年	2月	○ 宮川ダム管理事務所完成
	6月	○ 浪江救護院指名プロポーザル実施 (㈱邑建築事務所)
		○ 産業見本市会館 (ビッグパレットふくしま) 本県初の公開設計競技実施 (㈱北川原温建築都市研究所)
	10月	○ 三春合同庁舎完成
	12月	○ 南会津病院 (田島病院) 完成
平成7年	3月	○ 小玉ダム管理事務所完成
	3月	○ 浜通り高等技術専門校 (テクノカレッジ浜) 完成
	5月	○ 県民の森オートキャンプ場 (フォレストパークあだたら) 指名プロポーザル実施 (アキテクチャー・ファクトリー)
	9月	○ 海洋文化学習施設 (アクアマリンふくしま) 指名設計競技実施 (㈱日本設計)
平成8年	3月	○ 福島北警察署庁舎完成
	3月	○ あぶくま養護学校完成
	4月	○ 防災上重要建築物を対象に耐震診断を行う「建築物耐震対策事業」を開始
	6月	○ いわき海浜青年の家完成
	7月	○ 県立郡山養護学校指名プロポーザル実施 (㈱惟建築計画)
	12月	○ 郡山運転免許センター完成
平成9年	2月	○ あぶくま養護学校完成
	2月	○ 浪江救護院 (浪江ひまわり荘) 完成
	2月	○ 女性総合センター (二本松男女共生センター) 公募型プロポーザル実施 (㈱横総合計画一級建築士事務所)
	6月	○ 文化財センター白河館指名プロポーザル実施
	6月	○ 女性総合センター (男女共生センター) 公募型プロポーザル実施 (㈱佐藤総合計画)
	7月	○ 郡山合同庁舎公募型プロポーザル実施 (㈱建築研究所アーキビジョン)
	11月	○ 福島県消防学校改築公募型プロポーザル実施 (阿部直人建築研究所)
平成10年	2月	○ 川俣警察署庁舎完成
	2月	○ 医科大学看護学部完成
	3月	● 県民の森オートキャンプ場 (フォレストパークあだたら) 完成
	5月	○ ハイテクプラザ会津若松支援センター指名プロポーザル実施 (古市徹雄・都市建築研究所)
	6月	○ 郡山北警察署庁舎指名プロポーザル実施 (㈱ティ・アール建築アトリエ)
	9月	● 産業見本市会館 (ビッグパレットふくしま) 完成
	11月	○ 福島県立大野病院移転改築公募型プロポーザル実施 (㈱ヘルム都市・建築コンサルタンツ)
	11月	○ 福島県ばんだい学園完成
平成11年	3月	○ 堀川ダム庁舎完成
	5月	○ 福島女子高等学校改築公募型 (地域限定) プロポーザル実施 (㈱清水公夫研究所)
	5月	○ 相馬高等学校改築公募型 (地域限定) プロポーザル実施 (㈱白井設計)
平成12年	1月	● 海洋文化学習施設 (アクアマリンふくしま) 完成
	7月	○ いわき光洋高等学校移転新築公募型プロポーザル実施 (㈱湯澤建築設計研究所)
	7月	○ 相馬女子高等学校改築公募型 (地域限定) プロポーザル実施 (阿部直人建築研究所)
	10月	● 女性総合センター (男女共生センター) 完成
平成13年	1月	● ハイテクプラザ会津若松支援センター完成
	3月	● 文化財センター白河館「まほろん」完成

年	月	事 項 ・ 事 象
平成14年	3月	● 郡山養護学校完成
	4月	共生のまち推進事業を開始 平養護学校改築公募型（地域限定）プロポーザル実施（（株）ティ・アールアトリエ）
平成15年	10月	● 福島県立大野病院完成 ○ 会津学鳳高校等整備事業公募型プロポーザル実施（榊原広司・アトリエ・ファイ建築研究所）
	3月	● 橘高校（福島女子高等学校）、相馬高等学校完成
平成16年	3月	● いわき光洋高校、相馬東高等学校（相馬女子高等学校）完成
平成17年	3月	● 福島県消防学校完成
平成18年	7月	○ 県有建築物の吹付けアスベスト対策の推進
	9月	○ 「福島県環境共生建築計画・設計指針」の策定
	10月	○ 「福島県環境共生建築計画・設計指針」に基づく環境性能診断のモデル試行開始
	12月	○ 福島県立会津統合病院（仮称）整備公募型プロポーザル実施（佐藤総合・古市徹雄JV）
平成19年	2月	○ 「県有建築物の耐震改修計画」の策定（県有建築物耐震対策推進連絡会議）
	3月	● 平養護学校完成
	8月	● 会津学鳳高等学校・中学校完成

7 災 害

平成以降の災害の状況

(単位:千円)

年 災	災害原因	件 数	被 害 額	期 間
1	地すべり	1	57,647	5/12~5/12
	台風13号	3,747	34,271,321	8/6~8/7
	台風17号	534	2,776,873	8/27~8/27
	地すべり	2	246,654	9/20~9/20
合 計	4 回	4,284	37,352,495	(全国1位)
2	融 雪	489	3,746,914	2/18~2/27
	台風11号	517	2,687,464	8/9~8/11
	地すべり	1	64,166	8/11~8/11
	台風19号	29	169,075	9/19~9/21
	豪 雨	14	84,139	11/4~11/4
	台風28号	77	514,822	11/30~12/1
合 計	6 回	1,127	7,266,580	(全国27位)
3	降 雪	76	66,882	2/1~2/28
	波 浪	7	1,052,828	2/9~2/18
	豪 雨	35	336,733	2/15~2/18
	融 雪	454	3,219,904	3/22~3/27
	豪 雨	199	1,712,170	8/6~8/8
	台風12号	342	2,965,376	8/20~8/21
	地すべり	1	48,408	8/30~8/30
	台風18号	1,328	8,221,444	9/18~9/20
	台風21号	953	5,808,550	10/10~10/14
合 計	9 回	3,395	23,432,295	(全国1位)
4	融 雪	320	2,662,128	3/27~4/6
	豪 雨	433	2,826,532	6/20~6/22
	地すべり	1	24,857	7/16~7/16
	地すべり	1	150,190	11/4~11/4
合 計	4 回	755	5,663,707	(全国9位)
5	台風11号	1,292	12,478,192	8/26~8/28
	豪 雨	189	944,539	9/10~9/10
	豪 雨	342	2,093,448	11/13~11/14
合 計	3 回	1,823	15,516,179	(全国9位)
6	降 雪	65	91,150	2/1~2/28
	地すべり	1	119,148	3/13~3/13
	融 雪	343	2,840,599	3/17~3/30
	豪 雨	226	1,888,890	8/19~8/22
	地すべり	1	186,240	8/22~8/22
	台風26号	549	4,268,264	9/29~9/30
合 計	6 回	1,185	9,394,291	(全国7位)
7	降 雪	20	30,089	1/15~2/28
	融 雪	274	2,697,357	3/8~3/23
	豪 雨	96	566,213	6/13~6/14
	豪 雨	8	267,675	7/13~7/14
	豪 雨	99	948,921	7/16~7/17
	豪 雨	378	6,648,360	8/2~8/4
	台風12号	221	1,714,098	9/16~9/17
合 計	7 回	1,096	12,872,713	(全国8位)
8	地すべり	2	57,482	2/20~2/20
	融 雪	255	2,559,318	3/14~3/29
	地すべり	1	27,148	5/9~5/9
	地すべり	1	124,363	5/12~5/12
	豪 雨	3	31,862	7/29~7/29
	台風17号	799	5,910,002	9/22~9/23
合 計	6 回	1,061	8,710,175	(全国5位)
9	地すべり	1	58,268	4/8~4/8
	豪 雨	67	322,210	5/24~5/25
合 計	2 回	68	380,478	(全国43位)
10	地すべり	2	219,811	5/18~5/19
	豪 雨	55	490,662	7/22~7/23
	豪 雨	196	1,380,101	7/28~7/30
	豪 雨	154	1,577,540	8/3~8/4
	豪 雨	68	854,211	8/6~8/7
	豪 雨	175	1,638,833	8/12~8/12
	豪 雨	2514	35,158,626	8/26~8/31
台風5号	302	2,848,205	9/15~9/16	
合 計	8 回	3,466	44,167,989	(全国2位)
11	豪 雨	444	4,238,405	4/23~4/26
	豪 雨	174	1,284,644	6/29~6/30
	豪 雨	439	3,393,622	7/12~7/15
	豪 雨	26	221,363	7/21~7/22
	台風16号	300	2,350,107	9/14~9/16
地すべり	1	82,586	10/28~10/28	
合 計	6 回	1,384	11,570,727	(全国11位)
12	降 雪	24	48,974	2/28~3/31
	融 雪	128	1,487,454	3/24~4/7
	地すべり	1	99,269	3/30
	台風3号	357	4,039,558	7/7~7/8
	豪 雨	20	127,855	7/15~7/16
豪 雨	8	35,277	9/10~9/12	
合 計	6 回	538	5,838,387	(全国11位)

(単位:千円)

年 災	災害原因	件 数	被 害 額	期 間
13	降 雪	73	312,660	1/5~3/9
	1月低温	1,259	14,575,320	1/1~1/28
	2月低温	333	3,209,539	2/2~2/27
	3月低温	67	588,593	3/4~3/16
	豪 雨	7	73,993	7/17~7/18
	豪 雨	20	105,930	8/4
	台風11号	44	394,938	8/21~8/23
	地すべり	1	41,907	8/23
	地すべり	1	58,545	9/7
	台風15号	54	410,168	9/10~9/11
合 計	10 回	1,859	19,771,593	(全国2位)
14	地すべり	1	13,644	3/31
	地すべり	1	43,234	4/13
	地すべり	1	44,591	5/2
	台風6号	1,479	16,428,512	7/10~7/11
	台風21号	292	7,542,387	10/1~10/2
合 計	5 回	1,774	24,072,368	(全国2位)
15	地すべり	1	73,487	5/14~7/9
	地すべり	1	26,167	8/19
合 計	2 回	2	99,654	(全国45位)
16	地すべり	1	23,365	2/3
	降 雪	12	23,235	2/8~19
	融 雪	50	471,570	2/22~3/1
	地すべり	1	74,902	3/22
	地すべり	1	63,142	5/10
	豪 雨	6	28,408	6/7
	豪 雨	26	102,034	6/29
	梅雨前線豪雨	584	6,098,318	7/10~18
	地すべり	1	223,363	7/19
豪 雨	23	168,731	9/4	
台風22号	216	2,734,990	10/8~10	
台風23号	202	1,045,778	10/20~21	
新潟県中越地震	7	428,614	10/23	
合 計	13 回	1,130	11,486,450	(全国16位)
17	雪 崩	1	5,902	3/ 9
	雪 崩	2	16,022	3/10
	雪 崩	3	21,312	5/ 2
	梅雨前線豪雨	75	676,979	6/27~28
	豪 雨	6	91,033	6/ 9~11
	豪 雨	20	93,123	8/14
	豪 雨	43	166,007	8/19~20
	台風11号	101	543,867	8/25~26
	豪 雨	8	98,077	9/ 4~ 5
合 計	9 回	259	1,712,322	(全国26位)
18	1月低温	399	4,369,719	
	2月低温	228	3,493,824	
	3月低温	1	8,800	
	降 雪	13	21,736	1/1~3/16
	豪 雨	2	40,670	6/7
	豪 雨	61	598,313	6/15~16
	梅雨前線豪雨	42	278,325	6/30~7/1
	梅雨前線豪雨	50	395,155	7/11~14
	梅雨前線豪雨	1	174,791	7/18~19
	台風12号	25	1,392,081	9/5
	豪 雨	36	373,328	9/26~27
豪 雨	225	1,670,578	10/5~7	
風 浪	19	1,551,220	10/6~8	
地すべり	1	26,046	8/4~10/16	
豪 雨	9	78,149	12/26~27	
合 計	15 回	1,112	14,472,735	(全国5位)
19	地すべり	1	19,979	18.10/7~3/9
	地すべり	1	145,080	18.10/11~3/22
	台風4号	113	908,966	7/14~16
	豪 雨	12	44,701	7/29
	台風9号	330	2,200,905	9/5~7
	台風20号	5	41,601	10/27
合 計	6 回	462	3,361,232	(全国13位)
20	地すべり	1	27,203	19.12/4~3/25
	豪 雨	11	136,204	4/18~19
	雪 崩	1	53,512	2/15~20
	豪 雨	6	39,600	8/5~6
	豪 雨	2	12,671	8/21
	豪 雨	107	811,548	8/28~31
豪 雨	11	56,530	9/6	
合 計	7 回	139	1,137,268	(全国12位)



平成元年 8月 石田川 (旧霊山町)



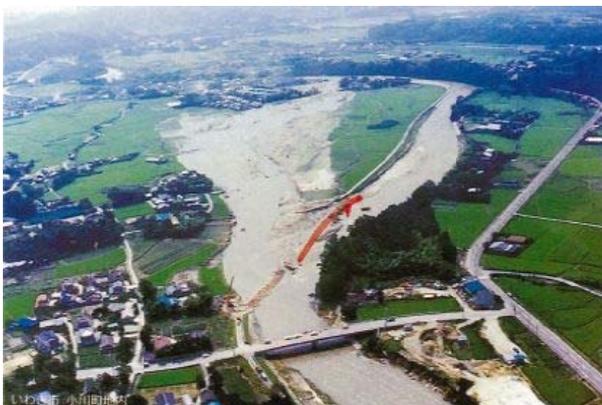
平成元年 8月 大倉川 (猪苗代町)



平成元年 8月 新田川・下川原橋 (旧原町市)



平成元年 8月 牛渡川 (浪江町)



平成元年 8月 夏井川 (いわき市小川町)



平成3年 1月 小沢海岸 (旧原町市堤谷)



平成3年 1月 久之浜海岸 (いわき市久之浜)



平成5年11月 湯本川 (いわき市常磐湯本町)



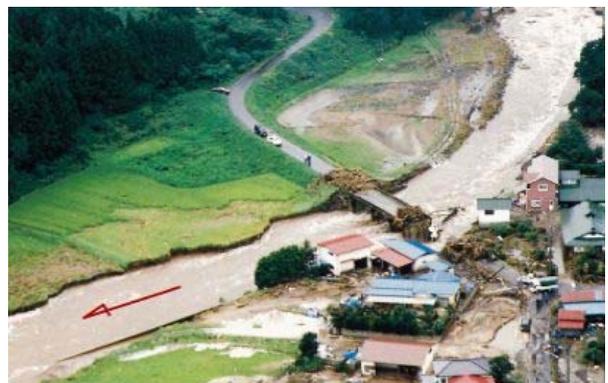
平成7年8月 大塩川 (喜多方市・北塩原村)



平成7年8月 田付川 (喜多方市)



平成10年8月 隈戸川 (矢吹町・大信村)



平成10年8月 黒川 (白河市・西郷村)



平成10年8月 堀川 (白河市・西郷村)



平成10年8月 谷津田川 (白河市)



平成10年8月 阿武隈川・羽太橋（西郷村）



平成12年7月 湖南湊線（郡山市湖南町）



平成13年 低温災



平成14年7月 くるみ川（福島市）



平成16年7月 田付川（喜多方市）



平成16年7月 国道252号（只見町）



平成16年10月 水沼沼沢線（金山町）



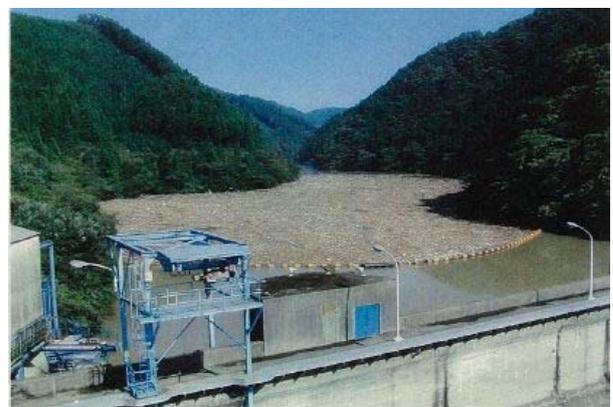
平成18年9月 夏井海岸（いわき市平）



平成18年10月 原町川俣線（南相馬市原町区）



平成19年9月 長瀬川（猪苗代町）



平成19年9月 鮫川・高柴ダム（いわき市）



平成19年9月 国道289号（鮫川村）

第三章 関係機関の事業

1 企業局

年	月	日	事項・事象
平成2年	4月	日	○ 機構改革により、管理課を総務課に、建設課を業務課に相馬工業用水道事務所を相馬事業所に、いわき工業用水道事務所をいわき事業所に組織改正
	7月	日	○ 小谷発電所運転開始
平成3年	2月	日	○ 真野発電所建設工事着工（元. 7 電源開発調整審議会採択）
	4月	日	○ いわき事業所の組織の一部改正（係制を廃止、新たに管理課を設置し、総務課、管理課、施設課の3課体制となる）
平成4年	12月	日	○ 日中発電所建設工事着工（2. 1 2 電源開発調整審議会採択）
	4月	日	○ 条例を一部改正し、用地造成事業を地域開発事業とし、公営企業資産活用事業を新設
			〃 ○ 相馬工業用水道給水開始 〃 ○ 真野発電所運転開始
平成5年	2月	日	○ 田村西部工業団地造成事業着工
	4月	日	○ 相馬地域水道用水供給事業廃止
平成7年	7月	日	○ 日中発電所運転開始
平成9年	3月	日	○ 白河複合型拠点整備事業着工
	4月	日	○ 白河監理所設置（総務課の駐在事務所）、相馬事業所工事係を管理係に改称
平成10年	4月	日	○ 第1期磐城工業用水道と第2期磐城工業用水道を統合し磐城工業用水道となる
平成11年	3月	日	○ 白河複合型拠点「工業の森・新白河C工区」、「新白河ビジネスパーク」、「新白河ライフパーク」の完成
	4月	日	○ 庭坂発電所建設工事着工
平成12年	3月	日	○ 福島県企業局21世紀展望構想（素案）策定
平成13年	3月	日	○ 福島県企業局21世紀展望構想策定
	4月	日	○ 庭坂発電所運転開始
平成15年	4月	日	○ 機構改革により、本局の課制（総務課、業務課）を廃止し、新たに経営管理グループ、販売推進グループ、業務管理グループを設置
			○ 相馬事業所の係制を廃止
			○ いわき事業所の課制（総務課、管理課、施設課）を廃止し、新たに総務グループ、施設管理グループを設置
平成17年	3月	日	○ 電気事業を東星興業㈱に譲渡
	12月	日	○ 原町工業用水道事業を原町市（現 南相馬市）に譲渡
平成19年	3月	日	○ 企業局相馬事業所を廃止
	4月	日	○ 相馬工業用水道事業の包括業務委託開始

2 公 社 等

福島県住宅供給公社

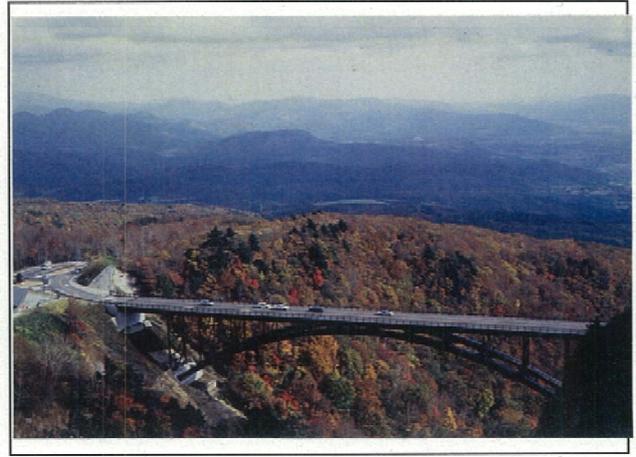
年	月	事 項 ・ 事 象
平成元年	4月	日 ● 5省協定に基づく郡山市立緑ヶ丘第一小学校建設工事着工（郡山東部ニュータウン内、平成2年4月1日開校）
平成2年	4月	日 ○ 組織を3部5課1事務所3案内所に変更
	4月	日 ○ 職員数38名（内県派遣職員5名）
	12月	日 ○ 福島県と共催による「あったか家族のいきいき住宅（福島県高齢化対応型住宅）」設計競技等の事業実施
平成3年	3月	日 ● 郡山市郡山東部ニュータウン内「ウッドタウン緑ヶ丘（100戸）」が平成2年度福島県木のまち整備事業モデル団地に指定
	3月	日 ○ 一般分譲住宅平均建築面積約132㎡になる
	4月	日 ○ 福島県県北建設事務所管内県営住宅管理業務を受託
平成4年	3月	日 ○ 一般分譲住宅分譲累計4,000戸を超える
	5月	日 ○ 県営住宅有料駐車場管理運営業務開始
平成5年	8月	日 ○ 土木建築工事費積算のための電算システム導入
平成6年	4月	日 ○ 特定優良賃貸住宅管理業務受託開始
	6月	日 ● 会津若松市松長団地で一街区による「街なみづくり」を公募。輸入住宅による「ヒルトップまつなが」を採用し、造成工事着工
	11月	日 ○ 職員海外研修制度スタート
平成7年	3月	日 ○ 阿武隈急行線沿線開発と公共団体政策の連携による梁川町梁川南ニュータウン造成工事着工
	3月	日 ○ 公社供給住宅（戸建、共同、賃貸住宅等）総計13,000戸を超える
平成8年	3月	日 ○ 郡山市郡山東部ニュータウン縦断幹線道（郡山赤沼方八町線）開通、公社初の団地市街地間循環式幹線道路
	4月	日 ● 公共団体の地域政策を支援する玉川村赤坂団地の分譲開始
	9月	日 ● 梁川町梁川南ニュータウンの分譲開始
	10月	日 ○ 福島県と共催による「ふくしまロングライフの住まい設計提案競技」を実施
平成9年	3月	日 ○ 「地域とともに目指す 住まいづくり、まちづくりプラン21ー公社10か年経営計画」策定
	4月	日 ○ 公社創立40周年
平成9年	6月	日 ○ 公社創立40周年記念誌の発行
平成11年	8月	日 ● 北町ニュータウン（原町市）、ふたばパークヒルズ（双葉町）の分譲開始
	10月	日 ● 大泉みずほの郷（保原町）の分譲開始
平成13年	3月	日 ○ 福島県住宅供給公社経営改善検討委員会を設置
	12月	日 ○ 福島県住宅供給公社経営改善検討委員会が「公社事業の今後のあり方について」の報告書を作成
平成14年	12月	日 ○ 福島県行財政改革推進本部において公社等外郭団体の見直し実行計画を策定
平成16年	4月	日 ○ 組織を2部制から1事務局制に変更
	7月	日 ○ 北町ニュータウン、ふたばパークヒルズに連絡所を設置
	9月	日 ○ 福島県住宅供給公社整理計画が策定され、平成20年度末を目的に解散
平成17年	3月	日 ○ 県営住宅管理事業の受託業務終了
	4月	日 ○ 5課体制から3課体制に変更
平成18年	3月	日 ○ 特定優良賃貸住宅管理業務の受託終了
	4月	日 ○ 3課体制を2課体制に変更
	6月	日 ○ 郡山東部ニュータウン未造成地の造成工事着手
	10月	日 ○ 福島県住宅供給公社整理計画の見直し
平成19年	3月	日 ○ 郡山東部ニュータウン未造成地の造成工事終了
	4月	日 ○ 公社創立50周年
	4月	日 ○ 長期借入金を完済
	7月	日 ● 郡山東部ニュータウン新規宅地（219区画）を分譲
平成20年	1月	日 ○ 蓬萊ショッピングセンター（福島市蓬萊団地）建替工事着手

福島県道路公社

年	月	事 項 ・ 事 象
平成元年	4月 1日	○ 消費税導入に伴う料金変更（全路線）
平成2年	4月 2日	○ 杉妻町有料駐車場営業開始
	9月 1日	○ 中型バス車種区分変更
平成4年	3月31日	○ 万世町有料駐車場廃止
平成6年	4月 1日	○ あづま陸橋有料駐車場営業休止 ○ 第二大町有料駐車場営業開始
平成7年	1月 1日	○ あづま陸橋有料駐車場営業再開
平成8年	6月17日	○ 磐梯吾妻道路（スカイライン）不動沢橋改築事業着工
平成9年	3月31日	○ 大町有料駐車場及び第二大町有料駐車場廃止
	4月 1日	○ 消費税率改正に伴う料金変更（全路線）
	4月16日	○ 上町有料駐車場営業開始
平成10年	3月31日	○ 那須甲子有料道路事業変更（県道 豊原大島線の取付工事）
	7月 1日	○ 新白河有料駐車場営業開始
平成11年	9月 1日	○ 福島空港道路（あぶくま高原道路）工事着工
平成12年	3月31日	○ 高湯売店廃止
	4月14日	● 磐梯吾妻道路（スカイライン）新不動沢橋供用開始
	12月12日	○ 母成売店廃止
平成13年	2月 1日	○ 福島県道路公社あぶくま高原道路管理事務所設置（矢吹町下宮崎）
	3月27日	● 福島空港道路（あぶくま高原道路）供用開始 ○ あぶくま高原道路（1、3工区）を福島県より維持管理受託
	3月31日	○ 上町有料駐車場廃止
平成14年	11月25日	○ 裏磐梯総合事務所廃止
	11月25日	○ 磐梯吾妻総合事務所設置（土湯道路管理所内）
平成15年	6月30日	○ 西吾妻有料道路（スカイハレー）料金徴収期間満了に伴う無料開放
	7月 1日	○ 西吾妻有料道路（スカイハレー）県道へ移管
平成16年	4月 1日	○ 国道115号（土湯道路）を福島県より維持管理を受託
	11月25日	○ あぶくま高原道路（7、8工区）を福島県より維持管理受託
平成17年	12月 3日	○ 国道115号（土湯道路、横道工区）を福島県より維持管理受託
平成18年	4月 8日	○ 磐梯吾妻道路（スカイライン）の早期開通を試行的に実施 ○ 磐梯吾妻道路（スカイライン）の通行料金割引で社会実験を実施（4/8～5/31）
	8月 8日	○ 磐梯吾妻道路（スカイライン）霜降工区の防災工事（P式ロックネット）を実施
	8月31日	○ 高森熱海有料道路（母成グリーンライン）料金徴収期間満了に伴う無料開放
	9月 1日	○ 高森熱海有料道路（母成グリーンライン）県道へ移管



【 開通式 (H12・4・14) 】



【 新不働沢橋全景 】

●磐梯吾妻道路 (スカイライン) 新不働沢橋



【 有料道路区間 】



【 矢吹料金所 】

●福島空港道路 (あぶくま高原道路)

(財)福島県下水道公社

年	月	事 項 ・ 事 象
平成4年	4月16日	○ 水質分析受託事業開始
	10月1日	○ 県中処理区（須賀川市）供用開始
平成6年	4月1日	○ 下水道排水設備工事責任技術者資格認定事業開始
	6月1日	○ 県中処理区（鏡石町）供用開始
平成7年	4月1日	○ 県中処理区（矢吹町）供用開始
平成8年	3月1日	○ 阿武隈川上流流域下水道県北処理区維持管理業務受託開始
	4月1日	○ 本社を福島市に移転 ○ 県北処理区（福島市、伊達町、桑折町、国見町、保原町、梁川町）供用開始 ○ 下水道設計等受託事業開始 ○ 下水道排水設備工事責任技術者資格登録事務開始
平成10年	4月1日	○ 阿武隈川あだたら流域下水道二本松処理区維持管理業務受託開始
	10月1日	○ 二本松処理区（二本松市、安達町）供用開始
平成12年	4月1日	○ 県中処理区熱海幹線供用開始
平成14年	3月22日	○ ISO14001 認証登録
	4月1日	○ 県中・県南地域流域下水汚泥処理業務受託開始
	7月1日	○ 汚泥溶融施設運転開始
平成15年	4月1日	○ 大滝根川流域下水道田村処理区維持管理業務受託開始
平成16年	4月1日	○ 田村処理区（滝根町、大越町、常葉町、船引町）供用開始
昭和63年	4月1日	○ 財団法人福島県下水道公社設立許可 ○ 公社開設（郡山市日和田町） ○ 阿武隈川上流流域下水道県中処理区維持管理業務受託開始
	10月1日	○ 県中処理区（郡山市、本宮町）供用開始

【流域下水道の維持管理業務等の受託】

阿武隈川上流流域下水道(県北処理区、県中処理区)、阿武隈川あだたら流域下水道(二本松処理区)、大滝根川流域下水道(田村処理区)の維持管理業務及び県中・県南地域流域下水道汚泥処理業務を県から受託。

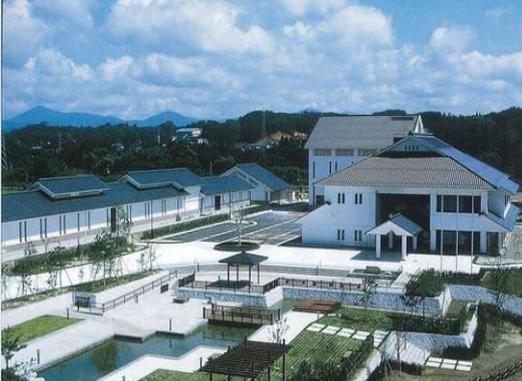
①阿武隈川上流流域下水道(県北処理区) 県北浄化センター



②阿武隈川上流流域下水道(県中処理区) 県中浄化センター



③阿武隈川あだたら流域下水道(二本松処理区)あだたら清流センター



④大滝根川流域下水道(田村処理区) 大滝根水環境センター



【下水道知識の普及・啓発】

①下水道まつりの開催



下水道に関する知識の普及及び啓発等を目的として、9月10日の「下水道の日」を前後に、毎年各センターで施設を開放した『下水道まつり』を実施。
平成19年9月に県中浄化センターにおいて実施された下水道まつりの開催風景。

②下水道フォーラムの開催



身近にある「水環境」にスポットを当て、下水道事業に対する理解と各家庭への接続向上を図るため、『快適生活下水道フォーラム』を開催。
平成19年11月に二本松市安達文化ホールにおいて、『さかなくん』を招き開催された下水道フォーラム。

③出前講座



県内各小学校からの依頼により、環境教育の一つとして下水道の役割や水質浄化等についての出前講座を実施。
平成20年2月に須賀川市立西袋第2小学校で実施された出前講座

【下水道技術者の養成】

①下水道維持管理研修会



県、市町村及び公社の下水道事業に従事する職員の下水道維持管理に関する専門的知識及び技術の修得を目的に、福島県と公社が共催。
平成20年2月に郡山市において実施された維持管理研修会。

②市町村下水道担当職員研修



下水道技術者の養成事業の一つとして、県内市町村下水道担当職員の技術力の維持・向上を図る。
平成19年7月に実施された初級研修。

【下水道に係る設計・監理等の受託】



市町村等が実施する下水道施設の建設工事における設計積算・工事監理等を受託。
二本松市から設計・積算・工事管理業務で受託した特定環境保全公共下水道岳処理区『岳せせらぎセンター』（平成16年3月竣工）。

【排水設備工事責任技術者認定】



県内市町村と協定を締結し、認定試験、更新講習会及び技術者の登録事務等を実施。
平成20年2月に実施された更新講習会。

【下水道水質分析受託】



流域下水道関連市町村からの要請により実施する流域関連公共下水道の水質分析業務。

第四章 市町村の事業

1 市町村合併の歴史

合併年月日	市町村数 320	新市町村名	合併の状況（構成市町村）等	
			合併数	
昭和2年11月23日	319	昭和村	2	大沼郡野尻村及び大芦村が合併
昭和15年4月1日	319	滝根町	1	田村郡滝根村を滝根町とする
昭和15年4月1日	319	広野町	1	双葉郡広野村を広野町とする
昭和17年12月8日	319	大越町	1	田村郡大越村を大越町とする
昭和22年2月11日	317	福島市	3	福島市に信夫郡渡利村、杉妻村を編入
昭和22年3月10日	313	福島市	5	福島市に信夫郡瀬上町、岡山村、鎌田村、清水村、吉井田村を編入
昭和24年4月1日	312	白河市	2	西白河郡白河町及び大沼村が合併
昭和26年4月1日	311	会津若松市	2	会津若松市に北会津郡町北村を編入
昭和26年4月1日	310	標葉町	2	双葉町新山町及び長塚村が合併
昭和29年3月20日	307	原町市	4	相馬郡原町、高平村、太田村及び大甕村が合併
昭和29年3月31日	306	福島市	2	福島市に信夫郡余目村を編入
昭和29年3月31日	302	須賀川市	5	岩瀬郡須賀川町、浜田村、稲田村、西袋村及び石川郡小塩江村が合併
昭和29年3月31日	295	喜多方市	8	耶麻郡喜多方町、岩槻村、松山村、慶徳村、豊川村、間柴村、熊倉村及び上三宮村が合併
昭和29年3月31日	288	相馬市	8	相馬郡中村町、大野村、飯豊村、磯部村、日立木村、八幡村、山上村及び玉野村が合併
昭和29年3月31日	284	国見町	5	伊達郡藤田町、小坂村、森江野村、大木戸村及び大枝村が合併
昭和29年3月31日	281	本宮町	4	安達郡本宮町、荒井村、青田村及び仁井田村が合併
昭和29年3月31日	279	熱塩加納村	3	耶麻郡熱塩村、加納村及び朝倉村の一部が合併
昭和29年3月31日	277	北塩原村	3	耶麻郡北山村、大塩村及び桧原村が合併
昭和29年3月31日	274	山都町	4	耶麻郡山都町、相川村、早稲谷村、一ノ木村及び朝倉村の一部が合併
昭和29年3月31日	271	鹿島町	4	相馬郡鹿島町、八沢村、真野村及び上真野村が合併
昭和29年3月31日	269	小高町	3	相馬郡小高町、金房村及び福浦村が合併
昭和29年7月1日	268	白河市	2	白河市に西白河郡白坂村を編入
昭和29年7月1日	265	塩川町	4	耶麻郡塩川町、堂島村、姥堂村及び駒形村が合併
昭和29年7月1日	256	西会津町	10	河沼郡野沢町、尾野本村、登世島村、下谷村、睦合村、群岡村、宝坂村、上野尻村、耶麻郡新郷村及び奥川村が合併
昭和29年8月20日	254	新地村	3	相馬郡新地村、福田村及び駒ヶ嶺村が合併
昭和29年10月1日	253	白河市	2	白河市に西白河郡小田川村を編入
昭和29年10月1日	252	泉崎村	2	西白河郡関平村及び川崎村が合併
昭和29年10月1日	251	浅川村	2	石川郡浅川町及び山白石村が合併
昭和29年11月1日	250	本郷町	2	大沼郡本郷町及び玉路村が合併
昭和29年11月1日	249	大熊町	2	双葉郡熊野町及び大野村が合併
昭和30年1月1日	242	会津若松市	8	若松市を会津若松市とする 会津若松市に北会津郡湊村、一箕村、高野村、神指村、門田村、大戸村、東山村を編入
昭和30年1月1日	239	桑折町	4	伊達郡桑折町、睦合村、半田村及び伊達崎村が合併
昭和30年1月1日	236	飯野町	4	伊達郡飯野町、明治村、大久保村及び青木村が合併
昭和30年1月1日	234	安達村	3	安達郡油井村、渋川村及び上川崎村が合併
昭和30年1月1日	232	岩代町	3	安達郡小浜町、新殿村及び旭村が合併
昭和30年1月1日	229	東和村	4	安達郡戸沢村、針道村、木幡村及び太田村が合併
昭和30年1月1日	228	中島村	2	西白河郡吉子川村及び滑津村が合併
昭和30年1月1日	224	棚倉町	5	東白川郡棚倉町、社川村、高野村、近津村及び山岡村が合併

合併年月日	市町村数	新市町村名	合併の状況（構成市町村）等	
			合併数	
昭和30年1月31日	221	霊山町	4	伊達郡掛田町、石戸村、霊山村及び小国村が合併
昭和30年2月1日	219	表郷村	3	西白河郡古関村、金山村及び社村が合併
昭和30年2月1日	217	小野町	3	田村郡小野町、飯豊村及び夏井村が合併
昭和30年2月1日	216	常葉町	2	田村郡常葉町及び山根村が合併
昭和30年3月1日	215	白河市	2	白河市に西白河郡五箇村を編入
昭和30年3月1日	209	梁川町	7	伊達郡梁川町、粟野村、五十沢、富野村、山舟生村、白根村及び堰本村が合併
昭和30年3月1日	205	保原町	5	伊達郡保原町、大田村、上保原村、柱沢村及び富成村が合併
昭和30年3月1日	204	月舘町	2	伊達郡月舘町及び小手村が合併
昭和30年3月1日	197	川俣町	8	伊達郡川俣町、飯坂村、大綱木村、小綱木村、富田村、福田村、小島村及び安達郡山木屋村が合併
昭和30年3月1日	193	猪苗代町	5	耶麻郡猪苗代町、千里村、吾妻村、月輪村及び翁島村が合併
昭和30年3月1日	192	東村	2	西白河郡小野田村及び釜子村が合併
昭和30年3月10日	191	須賀川市	2	須賀川市に岩瀬郡仁井田村を編入
昭和30年3月31日	187	福島市	5	福島市に信夫郡大笹生村、笹谷村、荒井村、土湯村を編入
昭和30年3月31日	186	大玉村	2	安達郡大山村及び玉井村が合併
昭和30年3月31日	185	長沼町	2	岩瀬郡長沼町及び榊衝村が合併
昭和30年3月31日	184	岩瀬村	2	岩瀬郡白江村及び白方村が合併
昭和30年3月31日	181	天栄村	4	岩瀬郡広戸村、湯本村、牧本村及び大里村が合併
昭和30年3月31日	178	高郷村	4	耶麻郡山郷村、河沼郡高寺村、新郷村及び千咲村が合併
昭和30年3月31日	177	柳津町	2	河沼郡柳津町及び大沼郡西山村が合併
昭和30年3月31日	171	会津高田町	7	大沼郡高田町、赤沢村、永井野村、尾岐村、東尾岐村、旭村及び藤川村が合併
昭和30年3月31日	168	金山村	4	大沼郡沼沢村、川口村、本名村及び横田村が合併
昭和30年3月31日	166	矢吹町	3	西白河郡矢吹町、中畑村及び三神村が合併
昭和30年3月31日	165	矢祭村	2	東白川郡豊里村及び高城村の一部が合併
昭和30年3月31日	164	塙町	2	東白川郡塙笹原町、石井村及び高城村の一部が合併
昭和30年3月31日	163	古殿村	2	東白川郡竹貫村及び宮本村が合併
昭和30年3月31日	158	石川町	6	石川郡石川町、沢田村、中谷村、母畑村、野木沢村及び山橋村が合併
昭和30年3月31日	157	玉川村	2	石川郡泉村及び須釜村が合併
昭和30年3月31日	156	平田村	2	石川郡蓬田村及び小平村が合併
昭和30年3月31日	155	富岡町	2	双葉郡富岡町及び双葉町が合併
昭和30年4月1日	153	田島町	3	南会津郡田島町、桧沢村及び荒海村が合併
昭和30年4月1日	151	下郷町	3	南会津郡檜原町、江川村及び旭田村が合併
昭和30年4月1日	150	伊南村	2	南会津郡伊南村及び大川村が合併
昭和30年4月1日	145	会津坂下町	6	河沼郡坂下町、八幡村、金上村、若宮村、広瀬村及び川西村が合併
昭和30年4月1日	140	三春町	6	田村郡三春町、御木沢村、中妻村、沢石村、要田村及び中郷村が合併
昭和30年4月1日	141	船引町		田村郡船引町、芹沢村、美山村、移村、瀬川村、文珠村及び七郷村が合併
昭和30年4月10日	140	大信村	2	西白河郡大屋村及び信夫村が合併
昭和30年4月30日	139	白沢村	2	安達郡白岩村及び和木沢村が合併
昭和30年7月10日	138	福島市	2	福島市に信夫郡立子山村を編入
昭和30年7月20日	137	南郷村	2	南会津郡大宮村及び富田村が合併
昭和30年7月20日	136	只見村	2	南会津郡明和村及び只見村が合併
昭和30年7月20日	135	猪苗代町	2	猪苗代町に耶麻郡長瀬村を編入
昭和30年7月20日	134	三島村	2	大沼郡宮下村及び西方村が合併
昭和31年1月23日	133	新鶴村	2	大沼郡新田村及び鶴ノ辺村が合併
昭和31年4月1日	133	双葉町	1	標津町を双葉町とする

合併年月日	市町村数	新市町村名	合併の状況（構成市町村）等	
			合併数	
昭和31年4月30日	132	本宮町	2	本宮町に安達郡岩根村を編入
昭和31年5月1日	131	北会津村	2	北会津郡荒館村及び川南村が合併
昭和31年5月1日	128	浪江町	4	双葉郡浪江町、大堀村、荻野村及び津島村が合併
昭和31年9月1日	127	檜葉町	2	双葉郡竜田村及び木戸村が合併
昭和31年9月30日	126	福島市	2	福島市に信夫郡佐倉村を編入
昭和31年9月30日	125	原町市	2	原町市に相馬郡石神村を編入
昭和31年9月30日	124	飯館村	2	相馬郡大館村及び飯曾村が合併
昭和32年1月1日	124	伊達町	1	伊達郡伏黒村を伏黒町、伏黒町を伊達町とする
昭和32年3月31日	123	湯川村	2	河沼郡笈川村及び勝常村が合併
昭和32年4月1日	122	河東村	2	河沼郡日橋村及び堂島村が合併
昭和32年4月1日	122	古殿町	1	古殿村を古殿町とする
昭和32年7月1日	121	福島市	2	福島市に信夫郡吾妻村を編入
昭和33年4月1日	121	金山町	1	金山村を金山町とする
昭和33年10月1日	121	二本松市	1	二本松町を二本松市とする
昭和34年8月1日	120	只見町	2	只見村に南会津郡朝日村を編入。只見村を只見町とする
昭和35年2月1日	120	安達町	1	安達村を安達町とする
昭和35年4月1日	120	東和町	1	東和村を東和町とする
昭和35年4月1日	120	磐梯町	1	磐梯村を磐梯町とする
昭和36年4月1日	120	三島町	1	三島村を三島町とする
昭和37年8月1日	120	鏡石町	1	鏡石村を鏡石町とする
昭和38年1月1日	120	矢祭町	1	矢祭村を矢祭町とする
昭和39年1月1日	119	福島市	2	福島市に信夫郡飯坂町を編入
昭和40年5月1日	109	郡山市	11	郡山市、安積郡安積町、三穂田村、逢瀬村、片平村、喜久田村、日和田町、富久山町、湖南村、熱海町、田村郡田村町が合併
昭和40年8月1日	107	郡山市	3	郡山市に田村郡西田村、中田村を編入
昭和41年6月1日	105	福島市	3	福島市に信夫郡信夫村及び松川町を編入
昭和41年10月1日	92	いわき市	14	平市、磐城市、勿来市、常磐市、内郷市、石城四倉町、遠野町、小川町、好間村、三和村、田人村、川内村、双葉郡久之浜町、双葉郡大久村が合併
昭和42年2月1日	91	須賀川市	2	須賀川市に石川郡大東村を編入
昭和43年10月1日	90	福島市	2	福島市に信夫郡吾妻町を編入
昭和46年8月1日	90	新地町	1	新地村を新地町とする
平成16年11月1日	89	会津若松市	2	会津若松市、北会津村が合併
平成17年3月1日	85	田村市	5	滝根町、大越町、都路村、常葉町、船引町が合併
平成17年4月1日	83	須賀川市	3	須賀川市、長沼町、岩瀬村が合併
平成17年10月1日	81	会津美里町	3	会津高田町、会津本郷町、新鶴村が合併
平成17年11月1日	80	会津若松市	2	会津若松市、河東町が合併
平成17年11月7日	77	白河市	4	白河市、表郷村、大信村、東村が合併
平成17年12月1日	74	二本松市	4	二本松市、安達町、岩代町、東和町
平成18年1月1日	72	南相馬市	3	原町市、鹿島町、小高町が合併
平成18年1月1日	68	伊達市	5	伊達町、梁川町、保原町、霊山町、月館町が合併
平成18年1月4日	64	喜多方市	5	喜多方市、熱塩加納村、塩川町、山都町、高郷村が合併
平成18年3月20日	61	南会津町	4	田島町、館岩村、伊南村、南郷村が合併
平成19年1月1日	60	本宮市	2	本宮町と白沢村が合併
平成20年7月1日	59	福島市	2	福島市と飯野町が合併

2 市町村の主要な事業

福島市



- ・施設名 : コミュニティ道路「パセオ470」
- ・施工箇所 : 福島市本町、置賜町、万世町
- ・完成年月日 : 平成元年3月31日

福島市



- ・施設名 : 矢剣ガード(都市計画道路矢剣町渡利線)
- ・施工箇所 : 福島市清明町地内
- ・完成年月日 : 平成15年9月19日

福島市(旧飯野町)



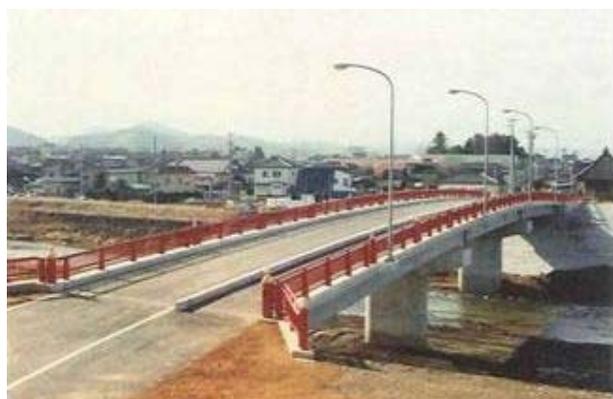
- ・施設名 : 町道西宮平線
- ・施工箇所 : 福島市飯野町青木地内
- ・完成年月日 : 平成13年4月

伊達市(旧伊達町)



- ・施設名 : 諏訪野団地
- ・施工箇所 : 伊達市諏訪野1丁目
- ・完成年月日 : 平成8年12月

伊達市(旧梁川町)



- ・施設名 : 観音橋
- ・施工箇所 : 伊達市梁川町字鶴ヶ岡
- ・完成年月日 : 平成7年2月

伊達市(旧保原町)



- ・施設名 : 保原総合公園
- ・施工箇所 : 伊達市保原町大泉字宮脇
- ・完成年月日 : 平成16年3月

伊達市（旧霊山町）



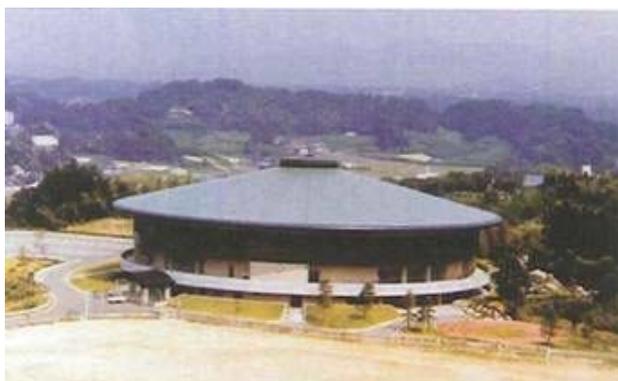
- ・施設名 : 谷津団地
- ・施工箇所 : 伊達市霊山町掛田字谷津
- ・完成年月日 : 平成4年3月25日

伊達市（旧月館町）



- ・施設名 : 夢見の郷
- ・施工箇所 : 伊達市月館町御代田字夢見の郷
- ・完成年月日 : 平成13年3月29日

二本松市



- ・施設名 : 城山総合体育館
- ・施工箇所 : 二本松市郭内4丁目
- ・完成年月日 : 平成4年10月30日

二本松市（旧東和町）



- ・施設名 : カントリーパークとうわ
- ・施工箇所 : 二本松市針道字大町西
- ・完成年月日 : 平成19年3月31日

本宮市



- ・施設名 : 本宮体育館
- ・施工箇所 : 本宮市本宮字舞台
- ・完成年月日 : 平成6年7月

本宮市



- ・施設名 : みずいろ公園
- ・施工箇所 : 本宮市本宮字馬場
- ・完成年月日 : 平成5年3月

国見町



- ・施設名 : 観月台文化センター
- ・施工箇所 : 国見町大字藤田字観月台
- ・完成年月日 : 平成6年3月31日

郡山市



- ・施設名 : 市道清水台長者一丁目線
- ・施工箇所 : 郡山市麓山一丁目
- ・完成年月日 : 平成18年6月

郡山市



- ・施設名 : せせらぎこみち
- ・施工箇所 : 郡山市台新一丁目地内
- ・完成年月日 : 平成14年3月

郡山市



- ・施設名 : 郡山市立湖南小学校
- ・施工箇所 : 郡山市湖南町三代地内
- ・完成年月日 : 平成17年3月

郡山市



- ・施設名 : 再開発ビル「ビッグアイ」
- ・施工箇所 : 郡山駅西口（第一種市街地再開発事業）
- ・完成年月日 : 平成13年3月19日

郡山市



- ・施設名 : 都市計画道路大町横塚線
- ・施工箇所 : 郡山市大町二丁目地内
- ・完成年月日 : 平成17年3月

郡山市



- ・施設名 : 「21世紀記念公園麓山の杜」
- ・施工箇所 : 郡山市麓山一丁目地内
- ・完成年月日 : 平成15年3月31日

須賀川市



- ・施設名 : ふくしま森の科学体験センター「(愛称)ムシテ
- ・施工箇所 : 須賀川市虹の台
- ・完成年月日 : 平成12年11月

田村市 (旧都路村)



- ・施設名 : 市道古道線
- ・施工箇所 : 田村市都路町
- ・完成年月日 : 平成19年3月

田村市 (旧滝根町)



- ・施設名 : 市道大橋中広土線
- ・施工箇所 : 田村市滝根町
- ・完成年月日 : 平成20年1月

鏡石町



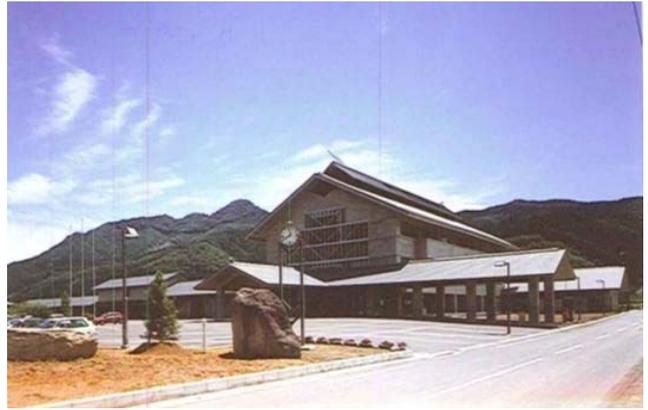
- ・施設名 : 鏡石町図書館
- ・施工箇所 : 鏡石町旭町地内
- ・完成年月日 : 平成10年3月25日

天栄村



- ・施設名 : 二俣橋
- ・施工箇所 : 天栄村大字湯本字二俣地内
- ・完成年月日 : 平成20年6月

古殿町



- ・施設名 : 古殿町役場庁舎
- ・施工箇所 : 古殿町大字松川字新桑原
- ・完成年月日 : 平成2年12月

石川町



- ・施設名 : 石川町総合体育館
- ・施工箇所 : 石川町字渡里沢地内
- ・完成年月日 : 平成5年3月20日

玉川村



- ・施設名 : たまかわ文化体育館
- ・施工箇所 : 玉川村大字小高字大谷地
- ・完成年月日 : 平成15年7月

平田村



- ・施設名 : 平田村立小平小学校
- ・施工箇所 : 平田村大字北方字蛇石
- ・完成年月日 : 平成16年7月22日

浅川町



- ・施設名 : 吉田富三記念館
- ・施工箇所 : 浅川町大字柚山字森下
- ・完成年月日 : 平成5年3月

三春町



- ・施設名 : 三春交流館「まほら」
- ・施工箇所 : 三春町字大町地内
- ・完成年月日 : 平成15年3月

小野町



- ・施設名 : 小野町ふるさと文化の館
- ・施工箇所 : 小野町大字小野新町字中通
- ・完成年月日 : 平成5年4月30日

白河市



- ・施設名 : 谷津田川せせらぎ通り
- ・施工箇所 : 白河市円明寺地内
- ・完成年月日 : 平成16年3月

白河市



- ・施設名 : 白河市都市環境センター
- ・施工箇所 : 白河市本沼鷹ノ巣地内
- ・完成年月日 : 平成5年4月

中島村



- ・施設名 : 中島村立中島幼稚園
- ・施工箇所 : 中島村大字滑津字二ツ山
- ・完成年月日 : 平成17年2月28日

矢吹町



- ・施設名 : 矢吹町文化センター
- ・施工箇所 : 矢吹町一本木地内
- ・完成年月日 : 平成5年3月

棚倉町



- ・施設名 : 時の鐘ポケットパーク
- ・施工箇所 : 棚倉町大字棚倉字北町
- ・完成年月日 : 平成16年3月31日

会津若松市



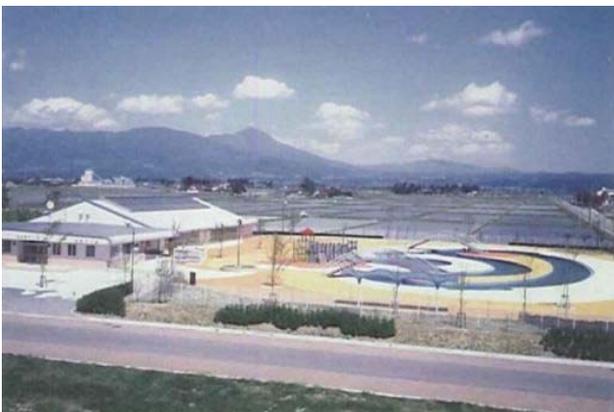
- ・施設名 : あいづドーム
- ・施工箇所 : 会津若松市門田町地内
- ・完成年月日 : 平成6年12月20日

会津若松市



- ・施設名 : 會津風雅堂
- ・施工箇所 : 会津若松市城東町地内
- ・完成年月日 : 平成6年6月

会津坂下町



- ・施設名 : ばんげひがし公園
- ・施工箇所 : 会津坂下町大字福原
- ・完成年月日 : 平成17年3月25日

湯川村



- ・施設名 : ユースピアゆがわ
- ・施工箇所 : 湯川村大字清水田地内
- ・完成年月日 : 平成5年12月3日

柳津町



- ・施設名 : やないづ町立斎藤清美術館
- ・施工箇所 : 柳津町大字柳津字下平地内
- ・完成年月日 : 平成8年12月

会津美里町



- ・施設名 : 会津美里町立宮川小学校
- ・施工箇所 : 会津美里町富川字上中川地内
- ・完成年月日 : 平成18年10月9日

三島町



- ・施設名 : 早戸温泉「つるの湯」
- ・施工箇所 : 三島町大字早戸地内
- ・完成年月日 : 平成16年3月

金山町



- ・施設名 : 妖精美術館
- ・施工箇所 : 金山町大字大栗山地内
- ・完成年月日 : 平成5年4月2日

昭和村



- ・施設名 : からむし工芸博物館
- ・施工箇所 : 昭和村大字佐倉字上ノ原地内
- ・完成年月日 : 平成13年7月

喜多方市



- ・施設名 : 押切川公園体育館
- ・施工箇所 : 喜多方市字押切一丁目地内
- ・完成年月日 : 平成4年3月

北塩原村



- ・施設名 : 裏磐梯浄化センター
- ・施工箇所 : 北塩原村大字桧原字寺沢山地内
- ・完成年月日 : 平成9年8月

西会津町



- ・施設名 : 西会津中学校
- ・施工箇所 : 西会津町尾野本字新森野地内
- ・完成年月日 : 平成14年3月10日

猪苗代町



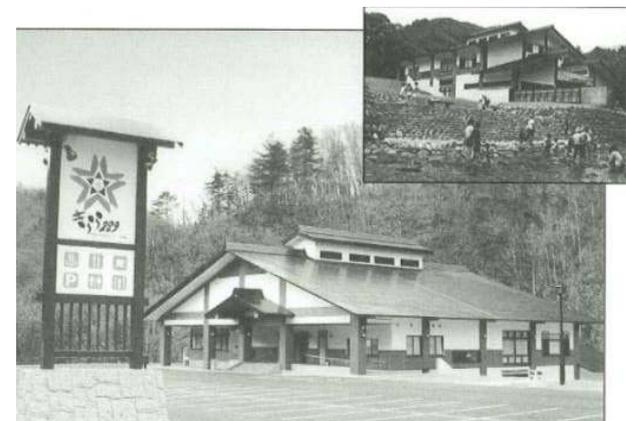
- ・施設名 : 町営住宅桜ヶ丘団地
- ・施工箇所 : 猪苗代町字欠上り地内
- ・完成年月日 : 平成17年12月

南会津町 (旧田島町)



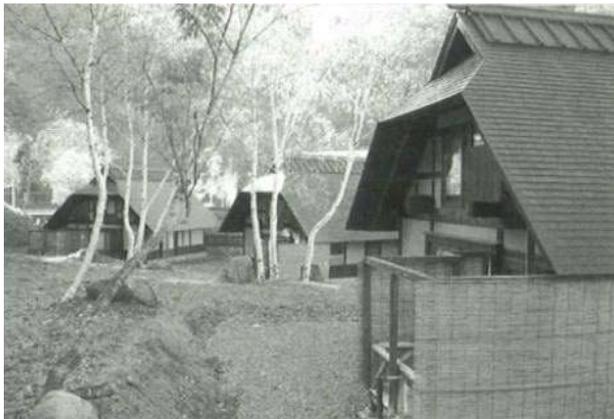
- ・施設名 : 御蔵入交流館
- ・施工箇所 : 南会津町田島字宮本東地内
- ・完成年月日 : 平成16年3月

南会津町 (旧南郷村)



- ・施設名 : 南郷交流促進センター・物産館「きらら289」
- ・施工箇所 : 南会津町山口字橋尻地内
- ・完成年月日 : 平成9年3月

南会津町 (旧伊南村)



- ・施設名 : 小豆温泉「花木の宿」
- ・施工箇所 : 南会津町大桃字平沢山地内
- ・完成年月日 : 平成9年

下郷町



- ・施設名 : 下郷町役場庁舎
- ・施工箇所 : 下郷町大字塩生字大石地内
- ・完成年月日 : 平成9年8月11日

只見町



- ・施設名 : 只見町立只見小学校
- ・施工箇所 : 只見町大字只見字上ノ原地内
- ・完成年月日 : 平成14年10月

桧枝岐村



- ・施設名 : 尾瀬御池ロッジ・尾瀬の森ミュージアム
- ・施工箇所 : 桧枝岐村字燧ヶ岳地内
- ・完成年月日 : 平成8年10月31日

檜葉町



- ・施設名 : 道の駅「ならは」
- ・施工箇所 : 檜葉町大字山田岡字大堤入地内
- ・完成年月日 : 平成13年4月

川内村



- ・施設名 : 川内温泉交流館「かわうちの湯」
- ・施工箇所 : 川内村大字上川内字小山平地内
- ・完成年月日 : 平成12年3月21日

大熊町



- ・施設名 : 大熊町総合体育館
- ・施工箇所 : 大熊町大字夫沢字中央台地内
- ・完成年月日 : 平成11年7月17日

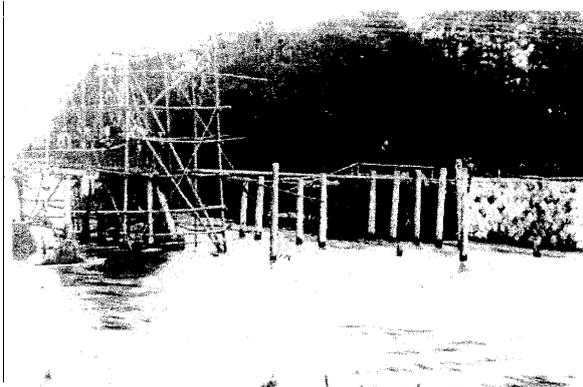
浪江町



- ・施設名 : 陶芸の杜おおぼり
- ・施工箇所 : 浪江町大字大堀字大堀地内
- ・完成年月日 : 平成14年3月31日

第五章 目で見える土木

1 土木の現場



大正8年 高瀬橋 橋脚立て込み (浪江町)



大正13年 昼曾根橋 建設 (浪江町)



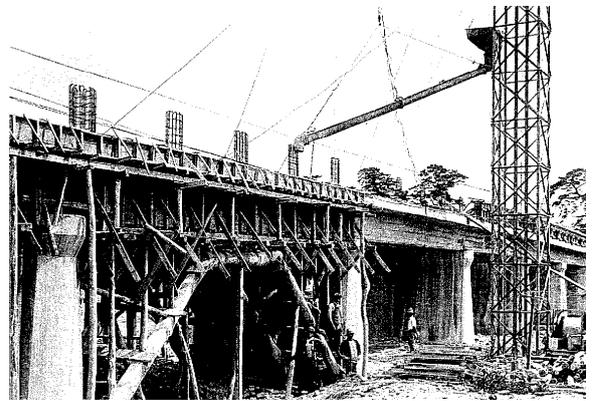
昭和4年 上の橋 床版打設 (本宮町)



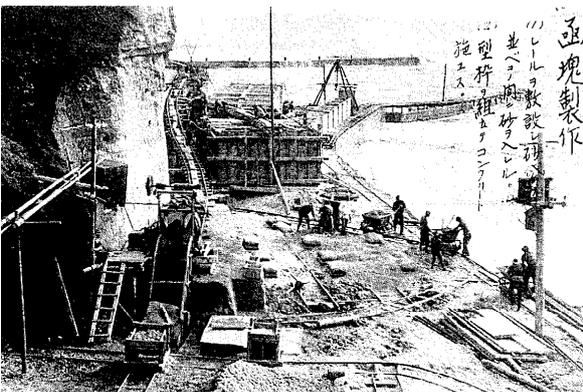
昭和5年 昭代橋 基礎掘削作業員 (二本松市)



昭和9年 久ノ浜海岸 護岸決壊 (いわき市)



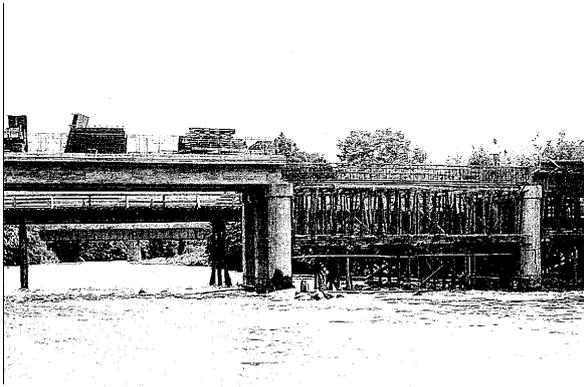
昭和9年 木戸川橋 コンクリート打設 (檜葉町)



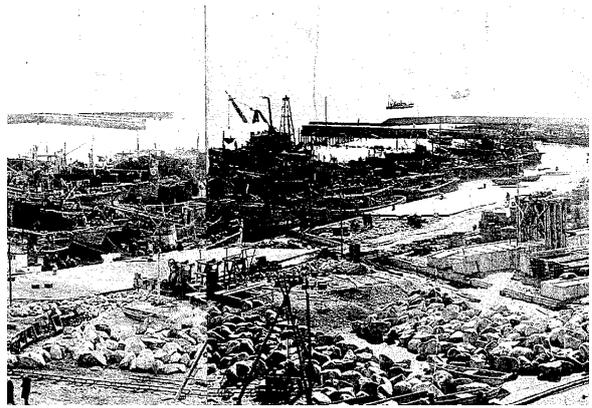
昭和10年 小浜漁港 ケーソン製作 (いわき市)



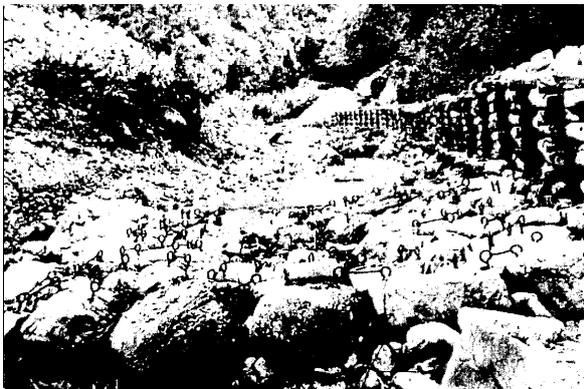
昭和10年 平停車場線 コンクリート舗装 (いわき市)



昭和10年 小川橋 床版打設 (いわき市)



昭和11年 四倉港 (いわき市)



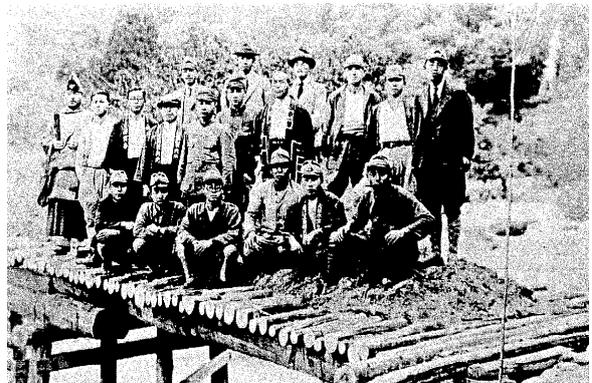
昭和11年 水無川 砂防護床工 (田島町)



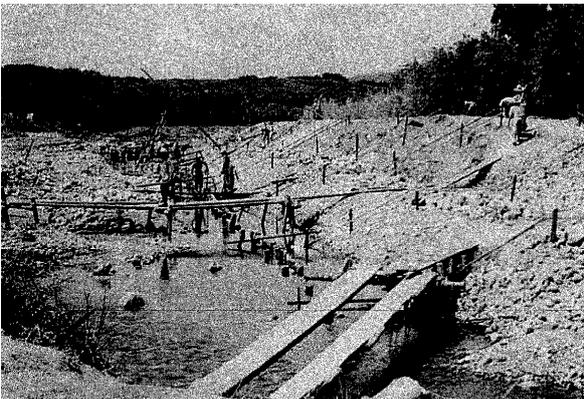
昭和12年 会青橋 左岸床版施工 (会津坂下町)



昭和15年 国道352号 平沢橋 改良 (伊南村)



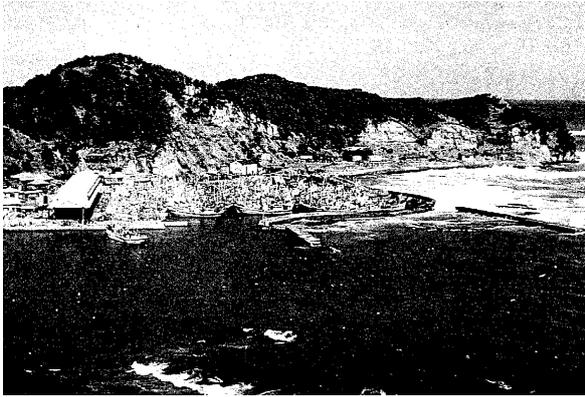
昭和18年 上極入橋 架設 (奥川村)



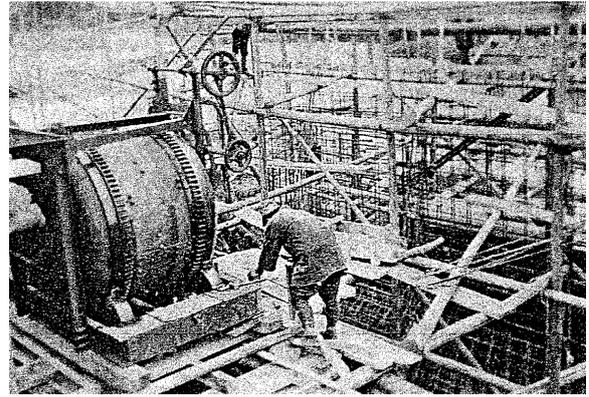
昭和25年 太田川 掘削築堤 (原町市)



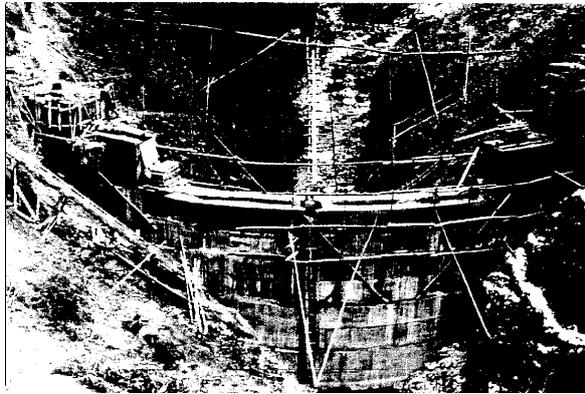
昭和25年 安達ヶ橋 渡橋式 (二本松市)



昭和26年 江名漁港 (いわき市)



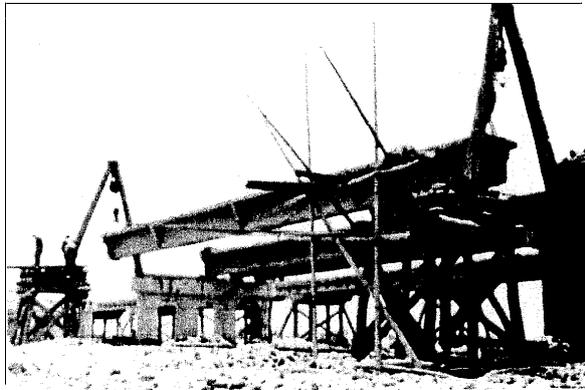
昭和26年 真船堰堤 コンクリートミキサー (西郷村)



昭和28年 赤川ダム 本堤打設 (福島市)



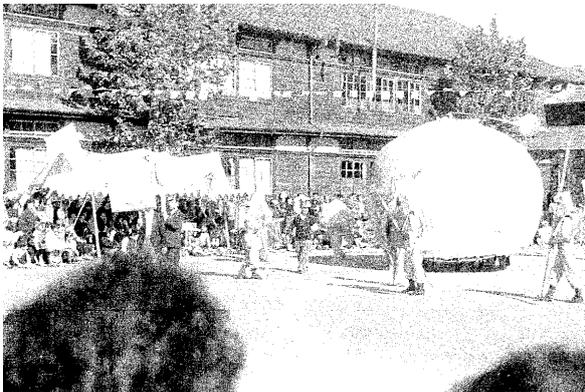
昭和29年 小名浜港 外防ゲツ進水 (いわき市)



昭和33年 蟹川橋 桁架設 (会津若松市)



昭和33年 県庁運動会 (福島市第一小学校)



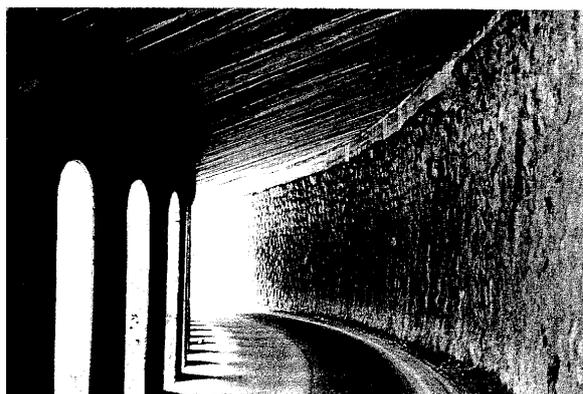
昭和33年 県庁運動会 (福島市第一小学校)



昭和34年 全建主催野球大会県南予選 (安積高)



昭和35年 三森峠 改良工事 (郡山市)



昭和36年 小沼崎スノーシェット 災害復旧 (三島町)



昭和36年 大窪橋 桁工場検査 (敦賀市)



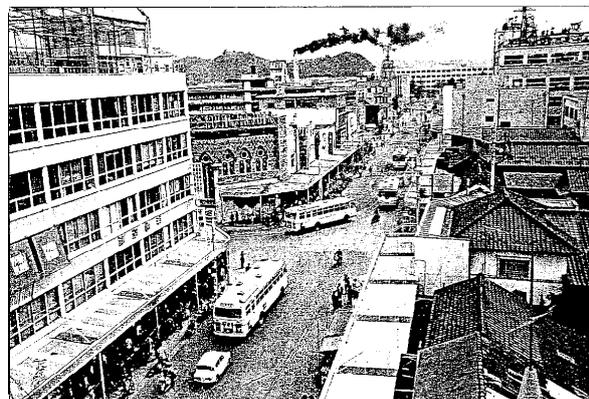
昭和36年 三森隧道 導抗貫通式 (郡山市)



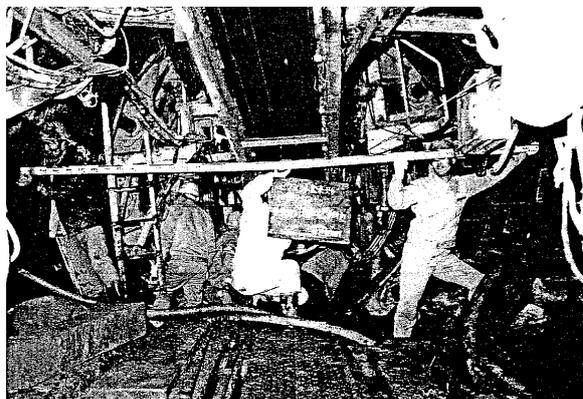
昭和38年 柏崎会津若松線 覆工支保 (只見町)



昭和44年 三島橋 渡橋式 (三島町)



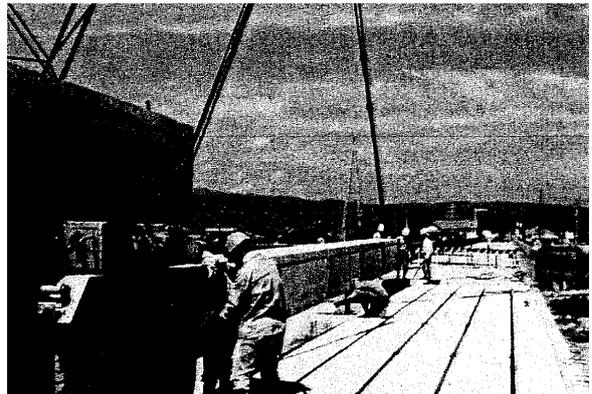
昭和46年 県庁通り 路面電車廃止直後 (福島市)



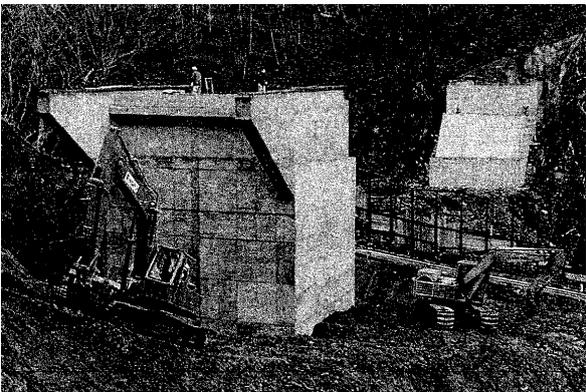
昭和52年 県中流域下水道幹線 セグメント (郡山市)



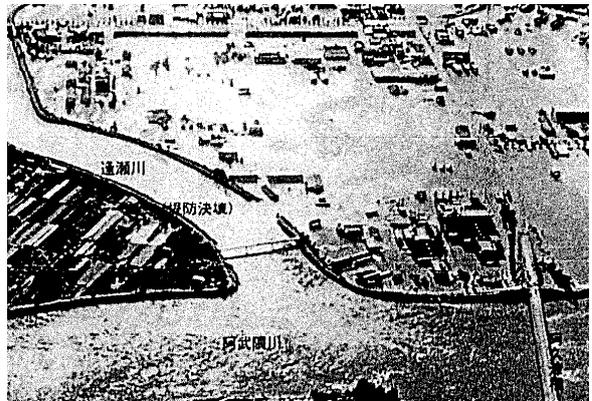
昭和53年 蟹川橋 梅雨前線豪雨で流失（会津若松市）



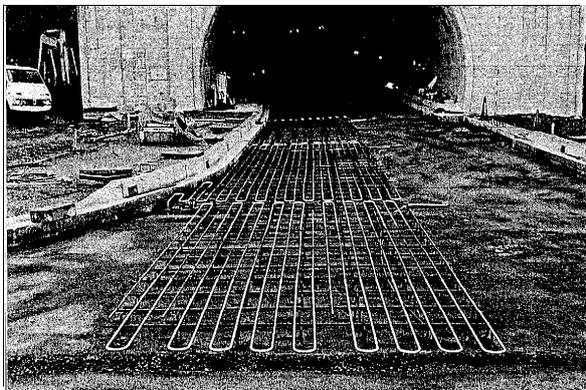
昭和53年 蟹川橋災害復旧 2径間を1ヶ月で完成



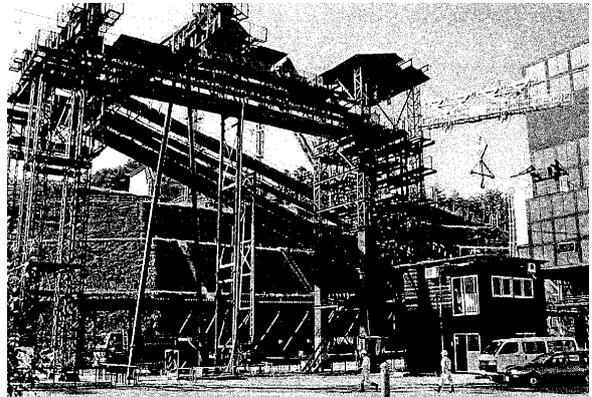
昭和57年 国道289号 縞石橋下部工（西郷村）



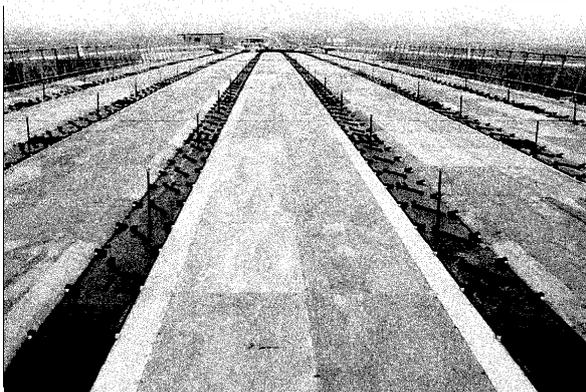
昭和61年 逢瀬川 堤防決壊で浸水（郡山市）



平成元年 国道289号 山口トンネル 無散水施設（南郷村）



平成14年 木戸ダム CoプラントJIOCE（檜葉町）



平成17年 会青橋 床版型枠組立（会津坂下町）



平成19年 湯本川 調節池（いわき市）

2 平成の全建賞受賞事業

年 度	受賞名	受賞事業・受賞工事	受賞者
平成元年度	全 建 賞	一般国道115号土湯道路改良事業	東北地建・福島県
	全 建 賞	島二丁目団地公営住宅建設事業	福 島 県
平成2年度	全 建 賞	真野川総合開発事業（真野ダム）	福 島 県
	全 建 賞	本宮町公共下水道事業（館町排水ポンプ場工事）	本 宮 町
	全 建 賞	みらい土木博 i n 福島	福島県建設技術協会
平成4年度	全 建 賞	石田川河川災害復旧助成事業	福 島 県
	全 建 賞	喜多方救護院改築工事	福 島 県
	全 建 賞	福島空港整備事業	福 島 県
平成6年度	全 建 賞	県営桜木町団地建設事業	福 島 県
	全 建 賞	松川浦漁港修築事業（松川浦大橋）	福 島 県
平成7年度	全 建 賞	砂防環境整備事業（堀川）	福島県県南建設事務所
	全 建 賞	中山間地域農村活性化総合整備事業（小浜地区）	福 島 県
平成9年度	全 建 賞	夏井川総合開発事業（小玉ダム）	福 島 県
	全 建 賞	北泉大磯海岸CCZ整備事業	原町市・福島県相双建設事務所
平成11年度	全 建 賞	芝原沢災害関連緊急砂防事業	福島県県南建設事務所
	全 建 賞	ふくしま海洋科学館（アクアマリンふくしま）新築工事	福島県都市局営繕課
平成13年度	全 建 賞	立縄沢通常砂防事業	福島県県中建設事務所
	全 建 賞	県営住宅鳥見山団地建設工事	福 島 県
平成15年度	全 建 賞	堀川・谷津田川河川激甚災害対策特別緊急事業	福島県県南建設事務所
平成16年度	全 建 賞	福島空港・あぶくま南道路整備事業（7・8工区）	福島県あぶくま高原自動車道建設事務所
	全 建 賞	統合一級河川整備事業（猪苗代湖）	福島県喜多方建設事務所
平成17年度	全 建 賞	土湯バイパス整備事業（横道トンネル）	福島県県北建設事務所
	全 建 賞	郡山市立湖南小学校建設事業	郡 山 市
平成18年度	全 建 賞	一般国道289号荷路夫バイパスエコロードの取り組み	福島県いわき建設事務所
	全 建 賞	郡山駅前大通りシンボルロード整備事業	福島県県中建設事務所
	全 建 賞	農業総合研究センター（仮称）本部整備事業	福 島 県
平成19年度	全 建 賞	主要地方道いわき上三坂小野線泉トンネル	福島県いわき建設事務所
	全 建 賞	木戸川総合開発事業木戸ダム建設事業	福 島 県
(参 考)			
昭和30年度	全 建 賞	阿武隈川砂防堰堤工事	福 島 県
昭和35年度	全建準賞	蒲生橋架設工事	福 島 県
	全建準賞	阿賀川砂防堰堤災害復旧工事	福 島 県
昭和37年度	全建準賞	磐城舞子橋新設工事	福 島 県
昭和46年度	全建準賞	柳津橋橋梁工事	福 島 県
	全建準賞	草野下神谷海岸事業	福 島 県
昭和52年度	全 建 賞	大浜海岸災害復旧助成工事	福 島 県
昭和55年度	全 建 賞	市町村道橋梁整備事業	福 島 県
昭和56年度	全 建 賞	県営住宅蓬莱団地建設工事	福 島 県
昭和57年度	全 建 賞	一般国道289号道路改良（駒止トンネル）工事	福 島 県
	全 建 賞	需要幹線街路事業（小田橋）	福 島 県
昭和58年度	全 建 賞	松川浦漁港修築事業	福 島 県
昭和61年度	全 建 賞	国道橋梁整備事業（国道252号高清水橋）	福 島 県
	全 建 賞	県営住宅（大坪団地）建設事業	福 島 県
	全 建 賞	福島県立博物館建設事業	福 島 県
昭和62年度	全 建 賞	一般県道福島微温湯線橋梁整備事業（八木田橋）	福 島 県
昭和63年度	全 建 賞	市道中町御山町線交通安全施設等整備事業	福 島 県

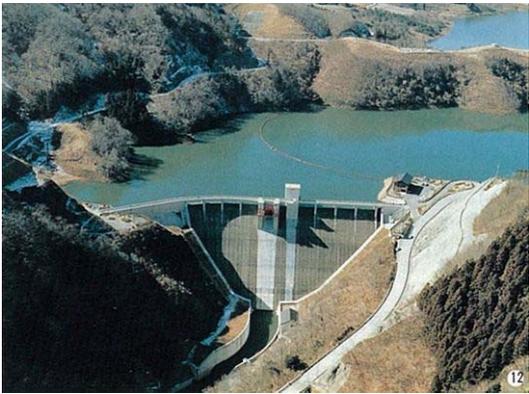
全建賞受賞事業写真集



平成元年度 一般国道115号土湯道路改良事業



平成元年度 島二丁目団地公営住宅建設事業



平成2年度 真野川総合開発事業(真野ダム)



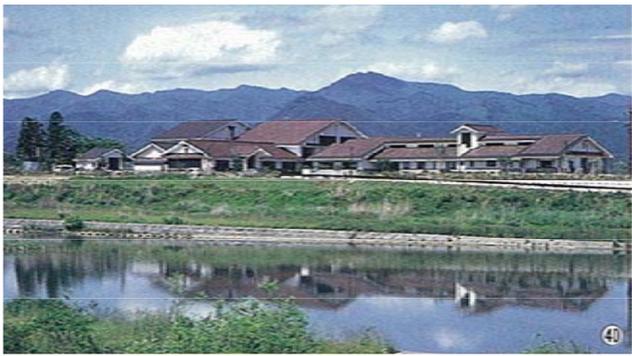
平成2年度 本宮町公共下水道事業(館町排水ポンプ場)



平成2年度 みらい土木博in福島



平成4年度 石田川河川災害復旧助成事業



平成4年度 喜多方救護院改築工事

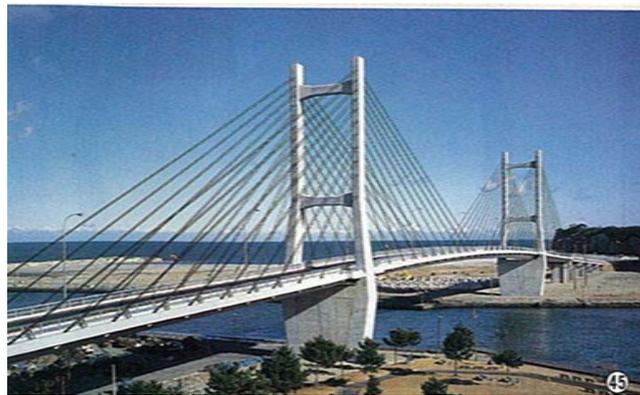


平成4年度 福島空港整備事業

全建賞受賞事業写真集



平成6年度 県営桜木町団地建設事業



平成6年度 松川浦漁港修築事業(松川浦大橋)



平成7年度 砂防環境整備事業(堀川)



平成7年度 中山間地域農活性化総合整備事業(小浜地区)



平成9年度 夏井川総合開発事業(小玉ダム)



平成9年度 北泉大磯海岸CCZ整備事業



平成11年度 芝原沢災害関連緊急砂防事業



平成11年度 ふくしま海洋科学館(アクアマリンふくしま)新築工事

全建賞受賞事業写真集



平成13年度 立縄沢通常砂防事業



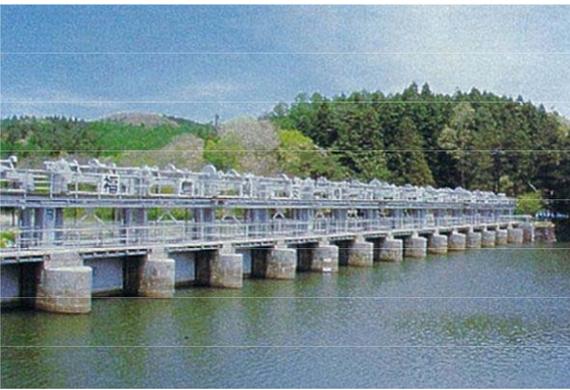
平成13年度 県営住宅鳥見山団地建設工事



平成15年度 堀川・谷津田川河川激甚災害対策特別緊急事業



平成16年度 福島空港・あぶくま南道路整備事業(7・8工区)



平成16年度 統合一級河川整備事業(猪苗代湖)



平成17年度 土湯バイパス整備事業(横道トンネル)



平成17年度 郡山市立湖南小学校建設事業



平成18年度 一般国道289号荷路夫バイパスエコロードの取り組み

全建賞受賞事業写真集



平成18年度 郡山駅前大通りシンボルロード整備事業



平成18年度 農業総合研究センター(仮称)本部整備事業



平成19年度 主要地方道いわき上三坂小野線泉トンネル



平成19年度 木戸川総合開発事業木戸ダム建設事業

資 料

- ・ 土木部本庁組織の変遷
- ・ 出先事務所等の変遷
- ・ 出典一覧

1 土木部本庁組織の変遷

	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度
部長	渡辺秀夫	益子恵治	益子恵治	益子恵治	江花 亮	江花 亮	志摩茂嘉
技 監				江花 亮			小浪博英
都市局長						兼 小浪博英	白石五郎
次長(総務)	木村鐵夫	木村鐵夫	二階堂 栄	河上聡朗	南沢大二郎	南沢大二郎	陽田正夫
次長(業務)	佐藤兼内	江花 亮	江花 亮	兼 江花 亮	白石五郎	白石五郎	渡辺一雄
参事(事業調整担当)							
次長(業務)	江花 亮	吉田 浩		吉田 浩	佐藤昭夫		
次長(業務)						福添隆二	佐久間光衛
参事(都市担当)						福添隆二	佐久間光衛
参事(建築担当)						平井良一	
監 理 課	安藤通弘 総務管理班 経理第一係 経理第二係 経理第三係 OA推進担当 建設業係 企画調査班	安藤通弘 総務管理班 経理第一係 経理第二係 経理第三係 OA推進担当 建設業係 企画調査班	久保勝男 総務管理班 経理第一係 経理第二係 経理第三係 OA推進担当 建設業係 企画調査班	久保勝男 総務管理班 経理第一係 経理第二係 経理第三係 OA推進担当 建設業係 企画調査班	高木徳治 総務管理班 経理第一係 経理第二係 経理第三係 OA推進担当 建設業係 企画調査班	高木徳治 総務管理班 経理第一係 経理第二係 経理第三係 OA推進担当 建設業係 企画調査班	吉田隆夫 総務管理班 経理第一係 経理第二係 経理第三係 OA推進担当 建設業係 企画調査班
用 地 課	二階堂秀男 用地係 財産管理係	岩見三郎 用地係 財産管理係	岩見三郎 用地係 財産管理係	加藤 隆 用地係 財産管理係	加藤 隆 用地係 財産管理係	加藤 隆 用地係 財産管理係	橋本篤爾 用地係 財産管理係
監 理 課 土木企画室							
土木検査課	小山田房夫 技術管理係 電算係 工事検査班	小山田房夫 技術管理係 電算係 工事検査班	渡辺一雄 技術指導係 基準管理係 工事検査班	田母神忠孝 技術指導係 基準管理係 工事検査班	佐藤照雄 技術指導係 基準管理係 工事検査班	近内克夫 技術指導係 基準管理係 工事検査班	近内克夫 技術指導係 基準管理係 工事検査班
道路建設課	香沢圭次 企画調査係 改良係 舗装係 橋りょう係	香沢圭次 企画調査係 県道係 国道係 橋りょう係	石倉三昌 企画調査係 県道係 国道係 橋りょう係	石倉三昌 企画調査係 県道係 国道係 橋りょう係	坂本晃一 企画調査係 県道係 国道係 橋りょう係	坂本晃一 企画調査係 県道係 国道係 橋りょう係	鈴木勝男 企画調査係 県道係 国道係 橋りょう係
道路維持課	矢吹 満 路政係 事業係 市町村道係 機械係 補修係	白石五郎 路政係 交通施設係 市町村道係 維持管理係 舗装補修係	白石五郎 路政係 交通施設係 市町村道係 維持管理係 舗装補修係	坂本晃一 路政係 交通施設係 市町村道係 維持管理係 舗装補修係	斎藤勝則 路政係 交通施設係 市町村道係 維持管理係 舗装補修係	斎藤勝則 路政係 交通施設係 市町村道係 企画管理係 維持補修係	高野佳久 路政係 交通施設係 市町村道係 企画管理係 維持補修係
道路建設課 高速道路整備室						鈴木勝男 整備担当	浅野弘一 整備担当

平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
志摩茂嘉	志摩茂嘉	坂本晃一	坂本晃一	坂本晃一	雨宮宏文	雨宮宏文
白石五郎			石井次男			
兼 白石五郎	平井良一	佐野恒彦	渡邊一也	諸井英樹		
陽田正夫	小山紀男	小山紀男	関場光雄	関場光雄	高萩秀則	高萩秀則
坂本晃一		石井次男	兼 石井次男	雨宮宏文	里見修平	里見修平
石井次男	諸井英樹	小林潤一郎	小林潤一郎	根本 勝		
					菅野光男	蛭田公雄
					浅野弘一	菅野光男
平井良一	本田恵一	坪井正由	浅野弘一	宗像武久		

					宗像武久	上野 修
吉田隆夫	八巻藤壽	八巻藤壽	岡 一	岡 一	岡 一	後藤勝雄
総務管理班 経理第一係 経理第二係 経理第三係 OA推進担当 建設業係 企画調査班	総務管理班 経理第一係 経理第二係 経理第三係 OA推進担当 建設業係 企画調査班	総務管理班 経理第一係 経理第二係 経理第三係 OA推進担当 建設業係 企画調査班	総務管理班 経理第一係 経理第二係 経理第三係 OA推進係・うつくしま 建設業係 企画調査グループ	総務管理班 経理第一係 経理第二係 経理第三係 OA推進係・うつくしま 建設業係 企画調査グループ	総務管理班 経理第一係 経理第二係 経理第三係 建設業係 企画調査グループ	総務管理班 経理第一係 経理第二係 経理第三係 建設業係 技術調査担当
橋本篤爾	山崎 司	山崎 司	高橋征治	高橋征治	尾形 敬	尾形 敬
用地係 財産管理係	用地係 財産管理係	用地係 財産管理係	用地係 財産管理係	用地係 財産管理係	用地係 財産管理係	用地グループ 財産管理係
					秋元正國 政策企画担当 高度情報化担当 うつくしま未来博担当	秋元正國 政策企画担当 高度情報化担当

大越茂俊	大越茂俊	高野勝昭	高野勝昭	斎藤志郎	菅野保孝	芳賀修二
技術指導係 基準管理係 工事検査班						
鈴木勝男	里見修平	里見修平	滝田久満	佐藤正人	長南昌三	藤田保雄
企画調査係 県道係 国道係 橋りょう係						
高野佳久	浅野弘一	菅野光男	佐藤正人	郡司和夫	藤田保雄	江口昭一
路政係 交通施設係 市町村道係 企画管理係 維持補修係						
浅野弘一	滝田久満	滝田久満	長南昌三	長南昌三	高木明義	高木明義
整備担当						

1 土木部本庁組織の変遷

	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度
河川課	玉應隆郎 企画調査係 管理係 防災係 治水係	玉應隆郎 企画調査係 管理係 防災係 治水係	平井良一 企画調査係 管理係 防災係 治水係	平井良一 企画調査係 管理係 防災係 治水係	平井良一 企画調査係 管理係 防災係 治水係	石井次男 企画調査係 管理係 防災係 治水係	石井次男 企画調査係 管理係 防災係 治水係
河川開発課	齋藤喜士雄 企画係 ダム建設係 水源地对策係	齋藤喜士雄 企画係 ダム建設係 水源地对策係	齋藤喜士雄 企画係 ダム建設係 水源地对策係	石井次男 企画係 ダム建設係 水源地对策係	石井次男 企画係 ダム建設係 水源地对策係	久保木勝重 企画係 ダム建設係 水源地对策係	久保木勝重 企画係 ダム建設係 水源地对策係
砂防課	牧田一男 砂防係 傾斜地保全係	牧田一男 砂防係 傾斜地保全係	橋本正美 砂防係 傾斜地保全係	齋藤喜士雄 砂防係 傾斜地保全係	渡邊一也 砂防係 傾斜地保全係	渡邊一也 砂防係 傾斜地保全係	渡邊一也 砂防係 傾斜地保全係
港湾課	佐久間光衛 企画調査係 管理係 港湾係 漁港係	佐久間光衛 企画調査係 管理係 港湾係 漁港係	佐久間光衛 企画調査係 管理係 港湾係 漁港係	近内克夫 企画調査係 管理係 港湾係 漁港係	近内克夫 企画調査係 管理係 港湾係 漁港係	大越茂俊 企画調査係 管理係 港湾係 漁港係	大越茂俊 企画調査係 管理係 港湾係 漁港係
都市計画課	渡辺一雄 行政係 計画係 区画整理係 公園緑地係 街路係	渡辺一雄 行政係 計画係 区画整理係 公園緑地係 街路係	福添隆二 行政係 計画係 区画整理係 公園緑地係 街路係	福添隆二 行政係 計画係 区画整理係 公園緑地係 街路係	本田恵一 行政係 計画係 区画整理係 公園緑地係 街路係	本田恵一 行政係 計画係 区画整理係 公園緑地係 街路係	本田恵一 行政係 計画係 区画整理係 公園緑地係 街路係
下水道課	畑田昌宏 公共下水道係 流域下水道係	畑田昌宏 公共下水道係 流域下水道係	大竹道雄 公共下水道係 流域下水道係	大竹道雄 公共下水道係 流域下水道係	佐野恒彦 公共下水道係 流域下水道係	佐野恒彦 公共下水道係 流域下水道係	諸井英樹 公共下水道係 流域下水道係
空港建設課	白石五郎 空港企画係 空港建設係	大内久夫 管理係 空港建設係	大内久夫 空港企画係 空港建設係	梅木勇二 管理係 空港建設係	梅木勇二 空港企画係 空港建設係	戸田和彦 管理係 空港建設係	戸田和彦 管理係 空港建設係 企画調査担当
住宅課	佐藤昭夫 企画担当 管理係 建築行政係 公営住宅係 民間住宅係	佐藤昭夫 企画担当 管理係 建築行政係 公営住宅係 民間住宅係	佐藤昭夫 企画担当 管理係 建築行政係 公営住宅係 民間住宅係	佐藤昭夫 企画担当 管理係 建築行政係 公営住宅係 民間住宅係	遠藤 弘 企画担当 管理係 建築行政係 公営住宅係 民間住宅係	遠藤 弘 企画担当 管理係 建築行政係 公営住宅係 民間住宅係	宗像武久 企画担当 管理係 建築行政係 公営住宅係 民間住宅係
営繕課	星 久夫 営繕第一係 営繕第二係 営繕第三係 営繕第四係 設備第一係 設備第二係 建設調整係	星 久夫 営繕第一係 営繕第二係 営繕第三係 営繕第四係 設備第一係 設備第二係 建設調整係	遠藤 弘 営繕第一係 営繕第二係 営繕第三係 営繕第四係 設備第一係 設備第二係 建設調整係	遠藤 弘 営繕第一係 営繕第二係 営繕第三係 営繕第四係 設備第一係 設備第二係 建設調整係	宗像武久 営繕第一係 営繕第二係 営繕第三係 営繕第四係 設備第一係 設備第二係 建設調整係	宗像武久 営繕第一係 営繕第二係 営繕第三係 営繕第四係 設備第一係 設備第二係 建設調整係	上野 修 営繕第一係 営繕第二係 営繕第三係 営繕第四係 設備第一係 設備第二係 設備第三係 建設調整係

平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
久保木勝重 企画調査係 管理係 防災係 治水係	雨宮宏文 企画調査係 管理係 防災係 治水係	雨宮宏文 企画調査係 管理係 防災係 治水係	蛭田公雄 企画調査係 管理係 防災係 治水係	蛭田公雄 企画調査係 管理係 防災係 治水係	佐藤眞夫 企画調査係 管理係 防災係 治水係	藁谷伸一 企画調査係 管理係 防災係 治水係
小林潤一郎 企画係 ダム建設係 水源地対策係	小林潤一郎 企画係 ダム建設係 水源地対策係	守谷安夫 企画係 ダム建設係 水源地対策係	守谷安夫 企画係 ダム建設係 水源地対策担当	三浦 定 企画係 ダム建設係 水源地対策担当	藁谷伸一 水源地対策担当 ダム建設係 企画係	鹿野 誠 水源地対策担当 ダム建設係
雨宮宏文 砂防係 傾斜地保全係	斎藤志郎 砂防係 傾斜地保全係	斎藤志郎 砂防係 傾斜地保全係	斎藤志郎 砂防係 傾斜地保全係	斉藤敏明 砂防係 傾斜地保全係	斉藤敏明 砂防係 傾斜地保全係	矢口秀喜 砂防係 傾斜地保全係
芳賀政勝 企画調査係 港湾振興係 港湾整備係 漁港係	芳賀政勝 企画調査係 港湾振興係 ボートセールス担当 港湾整備係 漁港係	根本 勝 企画調査係 港湾振興係 ボートセールス担当 港湾整備係 漁港係	根本 勝 企画調査係 港湾振興係 ボートセールス担当 港湾整備係 漁港係	仙波安弘 企画調査係 港湾振興係 ボートセールス担当 港湾整備係 漁港係	末永則雄 企画調査係 港湾振興係 ボートセールス担当 港湾整備係 漁港係	末永則雄 企画調査係 港湾振興係 ボートセールス担当 港湾整備係 漁港係
坪井正由 行政係 計画係 区画整理係 公園緑地係 街路係	坪井正由 行政係 計画係 区画整理係 公園緑地係 街路係	浅野弘一 行政係 計画係 区画整理係 公園緑地係 街路係	菅野光男 行政係 計画係 区画整理係 公園緑地係 街路係	橋本忠助 行政係 計画係 区画整理係 公園緑地係 街路係	佐藤清一 行政係 計画係 区画整理係 公園緑地係 街路係	佐藤清一 行政係 計画係 区画整理係 公園緑地係 街路係
諸井英樹 公共下水道係 流域下水道係	鈴木宣孝 公共下水道係 流域下水道係	鈴木宣孝 公共下水道係 流域下水道係	芳賀修二 公共下水道係 流域下水道係	芳賀修二 公共下水道係 流域下水道係	芳賀修二 公共下水道係 流域下水道係	阿倍寛治 公共下水道係 流域下水道係
戸田和彦 管理係 空港建設係 企画調査担当	中野則夫 管理係 空港建設係 企画調査担当	中野則夫 管理係 空港建設係 企画調査担当	中野則夫 酒井洋一 平成11年7月1日付 管理係 空港建設係 企画調査担当	酒井洋一 管理係 企画係	本多一男 管理係 企画係	本多一男 管理係 企画係
宗像武久 企画調査係 管理係 建築行政係 公営住宅係 民間住宅係	上野 修 企画調査係 管理係 建築行政係 公営住宅係 民間住宅係	上野 修 企画調査係 管理係 建築行政係 公営住宅係 民間住宅係	上野 修 企画調査係 管理係 建築行政係 公営住宅係 民間住宅係	本間 隆 企画調査係 管理係 建築行政係 公営住宅係 民間住宅係	本間 隆 企画調査係 管理係 建築行政係 公営住宅係 民間住宅係	鈴木康之 企画調査係 管理係 建築行政係 公営住宅係 民間住宅係
上野 修 営繕第一係 営繕第二係 営繕第三係 営繕第四係 設備第一係 設備第二係 設備第三係 建設調整係	本間 隆 営繕第一係 営繕第二係 営繕第三係 営繕第四係 設備第一係 設備第二係 設備第三係 建設調整係	本間 隆 営繕第一係 営繕第二係 営繕第三係 営繕第四係 設備第一係 設備第二係 設備第三係 建設調整係	本間 隆 営繕第一係 営繕第二係 営繕第三係 営繕第四係 設備第一係 設備第二係 設備第三係 建設調整係	鈴木康之 営繕第一係 営繕第二係 営繕第三係 営繕第四係 設備第一係 設備第二係 設備第三係 建設調整係	鈴木康之 営繕第一係 営繕第二係 営繕第三係 営繕第四係 設備第一係 設備第二係 設備第三係 建設調整係	岩並治夫 営繕第一係 営繕第二係 営繕第三係 営繕第四係 設備第一係 設備第二係 設備第三係 建設調整係

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度		平成20年度
部長	雨宮宏文	里見修平	蛭田公雄	蛭田公雄	秋元正國	部長	秋元正國
技監	里見修平	蛭田公雄	佐藤正人	藤田保雄	藁谷伸一	技監	藁谷伸一

政策監	佐藤長久	佐藤長久	理事 三瓶博文	理事 三瓶博文	平澤茂樹	政策監	平澤茂樹
企画技術領域総括参事	蛭田公雄	長南昌三	藤田保雄	高橋善清	檜野照行	次長(企画技術担当)	鹿野 誠
道路領域総括参事	佐藤正人	佐藤正人	渡辺 勉	高木明義	高木明義	次長(道路担当)	根本博行
河川港湾領域総括参事	根本 勝	根本 勝	芳賀修二	藁谷伸一	鹿野 誠	次長(河川港湾担当)	神田隆雄
都市領域総括参事	斉藤敏明	斉藤敏明	佐藤清一	秋元正國	小林広充	次長(都市担当)	北住 博
部参事(まちづくり担当)		佐藤清一	秋元正國	鹿野 誠	北住 博	部参事(まちづくり担当)	遠藤東一
建築領域総括参事	鈴木康之	鈴木康之	菊池光矩	菊池光矩	武井 一	次長(建築担当)	武井 一
部参事(住宅供給公社担当)	上野 修	岩並治夫					
総務予算G	天野金一 総務管理担当 行革担当 予算担当	天野金一 総務管理担当 行革担当 予算担当	部参事 天野金一 総務管理担当 行革担当 予算担当	部参事 安藤 徹 総務管理担当 行革担当 予算担当	部参事 安藤 徹 総務管理担当 行革担当 予算担当 建設業担当	土木総務課	松本明夫 総務管理担当 行革担当 予算担当
建設行政G	片平隆博 建設技術調査担当 建設行政担当	片平隆博 建設技術調査担当 建設行政担当	片平隆博 建設技術調査担当 建設行政担当	仲沼安夫 建設技術調査担当 建設行政担当		用地室	石井善人 用地担当 取用担当
用地 G	瓶子正明 取用担当 用地指導担当 用地管理担当	瓶子正明 取用担当 用地指導担当 用地管理担当	石井善人 取用担当 用地指導担当 用地管理担当	石井善人 取用担当 用地指導担当 用地管理担当	石井善人 取用担当 用地指導担当 用地管理担当		
土木企画G	秋元正國 取用担当 用地指導担当 用地管理担当	檜野照行 取用担当 用地指導担当 用地管理担当	檜野照行 取用担当 用地指導担当 用地管理担当	原 利弘 取用担当 用地指導担当 用地管理担当	原 利弘 取用担当 用地指導担当 用地管理担当	土木企画課	遠藤光一 政策調整担当 政策企画担当 政策評価担当 システム担当 防災担当
技術管理G	大輪芳伸 技術指導担当 基準管理担当	大輪芳伸 技術指導担当 基準管理担当	大輪芳伸 技術指導担当 基準管理担当	部参事 小林広充 技術指導担当 基準管理担当	部参事 大石光博 技術指導担当 基準管理担当	技術管理課	小浜秀夫 技術指導担当 基準管理担当
						建設産業室	佐藤貞雄 建設業法担当 建設振興担当
工事検査G	渡辺 勉 工事検査担当	渡辺 勉 工事検査担当	小林広充 工事検査担当	部参事 高橋健一 工事検査担当			
道路企画G	藤田保雄 企画担当 路政担当	佐藤憲栄 企画担当 路政担当	佐藤憲栄 企画担当 路政担当	根本博行 企画担当 路政担当	小幡雄治 企画担当 路政担当	道路計画課	小幡雄治 路政担当 道路企画担当
道路整備G	高橋善清 県道担当 国道担当 橋梁・トンネル担当	沼田典雄 県道担当 国道担当 橋梁・トンネル担当	佐藤國裕 県道担当 国道担当 橋梁・トンネル担当	佐藤國裕 県道担当 国道担当 橋梁・トンネル担当	佐藤國裕 県道担当 国道担当 橋梁・トンネル担当	道路整備課	鈴木 隆 道路整備担当 構造物担当 交通安全担当
道路環境G	神田隆雄 環境担当 市町村道担当	小幡雄治 環境担当 市町村道担当	小幡雄治 環境担当 市町村道担当	川井利光 環境担当 市町村道担当	川井利光 環境担当 市町村道担当	高速道路室	安孫子辰雄 高速道路担当
道路管理G	高橋健一郎 管理情報担当 維持補修担当	高橋健一郎 管理情報担当 維持補修担当	菅野健二 管理情報担当 維持補修担当	菅野健二 管理情報担当 維持補修担当	宗像輝由 管理情報担当 維持補修担当	道路管理課	宗像輝由 維持補修担当 管理計画担当 市町村道担当
高速道路G	北住 博 高速道路担当	北住 博 高速道路担当	根本博行 高速道路担当	佐久間賢一 高速道路担当	佐久間賢一 高速道路担当		

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度		平成20年度
河川企画G	藁谷伸一 河川砂防企画担当 水政担当	吉田好秀 河川砂防企画担当 水政担当	吉田好秀 河川砂防企画担当 水政担当	阿部悦雄 河川砂防企画担当 水政担当	部参事 高橋康寛 河川砂防企画担当 水政担当	河川計画課	小柳秀一 水政担当 河川企画担当
河川整備管理G	鹿野 誠 危機管理担当 防災担当 整備担当	鹿野 誠 危機管理担当 防災担当 整備担当	阿部悦雄 危機管理担当 防災担当 整備担当	高橋康寛 危機管理担当 防災担当 整備担当	渡辺宏喜 危機管理担当 防災担当 整備担当	河川整備課	渡辺宏喜 河川整備担当 水防担当 ダム担当
ダム G	大石光博 水源地对策担当 ダム建設担当 管理担当	大石光博 水源地对策担当 ダム建設担当 管理担当	堀内 進 水源地对策担当 ダム建設担当 管理担当	部参事 矢口秀喜 水源地对策担当 ダム建設担当 管理担当	部参事 矢口秀喜 水源地对策担当 ダム建設担当 管理担当		
砂防 G	大堀幸徳 砂防担当 傾斜地保全担当	高橋康寛 砂防担当 傾斜地保全担当	高橋康寛 砂防担当 傾斜地保全担当	加藤秀明 砂防担当 傾斜地保全担当	加藤秀明 砂防担当 傾斜地保全担当	砂防課	加藤秀明 砂防担当 傾斜地保全担当
港湾漁港G	末永則雄 企画担当 港湾経営担当 ポートセールス担当 港湾整備担当 漁港担当	大堀幸徳 企画担当 港湾経営担当 ポートセールス担当 港湾整備担当 漁港担当	大堀幸徳 企画担当 港湾経営担当 ポートセールス担当 港湾整備担当 漁港担当	小柳秀一 企画担当 港湾経営担当 ポートセールス担当 港湾整備担当 漁港担当	小柳秀一 企画担当 港湾経営担当 ポートセールス担当 港湾整備担当 漁港担当	港湾課	有我修二 港湾振興担当 港湾企画担当 港湾担当 漁港担当
						空港施設室	高橋康文 空港施設担当
都市計画G	江口昭一 都市行政担当 都市計画担当	高橋善清 都市行政担当 都市計画担当	遠藤東一 都市行政担当 都市計画担当	遠藤東一 都市行政担当 都市計画担当	重野龍勇 都市行政担当 都市計画担当	都市計画課	重野龍勇 都市行政担当 都市企画担当
まちづくり推進G	佐藤憲栄 まちづくり推進担当 区画整理担当	大内文男 まちづくり推進担当 区画整理担当	大内文男 まちづくり推進担当 区画整理担当	大内文男 まちづくり推進担当 区画整理担当	沼田典雄 まちづくり推進担当 区画整理担当	まちづくり推進課	大石正廣 まちづくり推進担当 区画整理担当 街路担当 公園緑地担当
都市整備G	遠藤東一 公園緑地担当 街路担当	遠藤東一 公園緑地担当 街路担当	原 利弘 公園緑地担当 街路担当	堀内 進 公園緑地担当 街路担当	堀内 進 公園緑地担当 街路担当		
下水道G	安部寛治 嶋原吉雄 平成15年11月17日付 市町村下水道担当 流域下水道担当	嶋原吉雄 市町村下水道担当 流域下水道担当	嶋原吉雄 市町村下水道担当 流域下水道担当	嶋原吉雄 市町村下水道担当 流域下水道担当	遠藤光一 市町村下水道担当 流域下水道担当	下水道課	矢部耕平 下水道管理担当 流域下水道担当 市町村下水道担当
空港管理G	東条健一郎 空港企画担当	東条健一郎 空港企画担当	東条健一郎 空港企画担当	小浜秀夫 空港企画担当	小浜秀夫 空港企画担当		
建築住宅企画G	岩並治夫 建築企画担当 住宅管理担当 住宅対策担当	菊池光矩 建築企画担当 住宅管理担当 住宅対策担当	部参事 渡辺光司 建築企画担当 住宅管理担当 住宅対策担当	部参事 渡辺光司 建築企画担当 住宅管理担当 住宅対策担当	斎藤隆夫 建築企画担当 住宅管理担当 住宅対策担当	建築住宅課	佐々木孝男 住宅管理担当 建築企画担当 建築住宅担当 住宅公社担当
建築指導G	織田文昭 指導審査担当 住宅整備担当 民間建築担当	織田文昭 指導審査担当 住宅整備担当 民間建築担当	武井 一 指導審査担当 住宅整備担当 民間建築担当	武井 一 指導審査担当 住宅整備担当 民間建築担当	佐々木孝男 指導審査担当 住宅整備担当 民間建築担当	建築指導課	野内忠宏 建築指導担当 民間建築担当
営繕 G	渡辺光司 営繕計画担当 営繕設計担当 保全計画担当 維持管理担当 大規模営繕担当	渡辺光司 営繕計画担当 営繕設計担当 保全計画担当 維持管理担当 大規模営繕担当	織田文昭 営繕計画担当 営繕設計担当 保全計画担当 維持管理担当 大規模営繕担当	斎藤隆夫 営繕計画担当 営繕設計担当 保全計画担当 維持管理担当 大規模営繕担当	野内忠宏 営繕計画担当 営繕設計担当 保全計画担当 維持管理担当 大規模営繕担当	営繕課	佐々木和弘 営繕計画担当 営繕設計担当 保全計画担当 維持管理担当 大規模営繕担当
営繕設備G	菊池光矩 電気設備担当 機械設備担当 建設調整担当	尾形敬英 電気設備担当 機械設備担当 建設調整担当	尾形敬英 電気設備担当 機械設備担当 建設調整担当	尾形敬英 電気設備担当 機械設備担当 建設調整担当	佐々木和弘 電気設備担当 機械設備担当 建設調整担当		機械設備担当 電気設備担当

2 出先事務所等の変遷

		平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
福島建設事務所 県北建設事務所 (平成6年度から)	所長	三浦次男 技術 73 事務等 60	三浦次男 技術 69 事務等 59	沓沢圭次 技術 66 事務等 59	沓沢圭次 技術 66 事務等 57	斎藤喜士雄 技術 67 事務等 52
	保原土木事務所 所長	丹野政幸 技術 7 事務等 11	泉 源八 技術 7 事務等 11	泉 源八 技術 7 事務等 11	泉 源八 技術 7 事務等 10	菅野久雄 技術 7 事務等 8
	二本松土木事務所 所長	野口 賢 技術 7 事務等 15	野口 賢 技術 7 事務等 15	野口 賢 技術 6 事務等 13	佐々木不二夫 技術 7 事務等 11	佐々木不二夫 技術 7 事務等 11
郡山建設事務所 県中建設事務所 (平成6年度から)	所長	吉田 浩 技術 72 事務等 70	吉田 浩 技術 73 事務等 68	玉應孝郎 技術 70 事務等 65	白石五郎 技術 69 事務等 65	石倉三昌 技術 68 事務等 66
	三春土木事務所 所長	渡辺和之 技術 7 事務等 12	渡辺和之 技術 7 事務等 11	関野一匡 技術 7 事務等 11	関野一匡 技術 8 事務等 8	小野寺軍治 技術 8 事務等 8
	須賀川土木事務所 所長	北 優 技術 6 事務等 11	三浦 定 技術 6 事務等 10	三浦 定 技術 7 事務等 7	根本 勝 技術 7 事務等 7	東条健一郎 技術 7 事務等 7
	石川土木事務所 所長	佐々木不二夫 技術 7 事務等 12	佐々木不二夫 技術 7 事務等 12	佐々木不二夫 技術 7 事務等 11	高橋正彦 技術 7 事務等 11	高橋正彦 技術 7 事務等 11
白河建設事務所 県南建設事務所 (平成6年度から)	所長	大竹道雄 技術 41 事務等 41	大竹道雄 技術 43 事務等 38	菅野重雄 技術 43 事務等 39	菅野重雄 技術 44 事務等 36	諸井英樹 技術 44 事務等 37
	棚倉土木事務所 所長	大沢義男 技術 7 事務等 12	北 優 技術 7 事務等 12	北 優 技術 7 事務等 12	北 優 技術 7 事務等 12	菅野秀治 技術 6 事務等 12
会津若松建設事務所	所長	浜津文雄 技術 62 事務等 46	浜津文雄 技術 62 事務等 44	畑田昌宏 技術 59 事務等 44	畑田昌宏 技術 59 事務等 45	菅野重雄 技術 62 事務等 40
	宮下土木事務所 所長	坂本勝彦 技術 6 事務等 16	坂本勝彦 技術 6 事務等 16	鈴木弘泰 技術 6 事務等 15	鈴木弘泰 技術 6 事務等 15	芳賀修二 技術 6 事務等 14
	東山ダム管理事務所 所長	内藤捷四郎 技術 2 事務等 1	山崎賢二 技術 2 事務等 1	山崎賢二 技術 2 事務等 1	山崎賢二 技術 2 事務等 1	佐藤正行 技術 2 事務等 1
喜多方建設事務所	所長	橋本正美 技術 42 事務等 41	橋本正美 技術 41 事務等 38	斎藤健秀 技術 42 事務等 39	斎藤健秀 技術 41 事務等 39	鈴木勝男 技術 40 事務等 39
	猪苗代土木事務所 所長	岡崎久一 技術 5 事務等 8	大沢義男 技術 6 事務等 9	大沢義男 技術 7 事務等 7	大沢義男 技術 7 事務等 7	安倍寛治 技術 7 事務等 7
	日中大峠総合管理事務所 所長				佐瀬善七 技術 6 事務等 1	佐瀬善七 技術 6 事務等 1
田島建設事務所 南会津建設事務所 (平成6年度から)	所長	佐藤健一 技術 39 事務等 34	佐藤健一 技術 39 事務等 34	本田恵一 技術 39 事務等 37	本田恵一 技術 43 事務等 34	遠藤正信 技術 44 事務等 35
	山口土木事務所 所長	斎藤延明 技術 8 事務等 10	菅野光男 技術 8 事務等 9	菅野光男 技術 7 事務等 10	根本省二 技術 8 事務等 9	根本省二 技術 7 事務等 9
原町建設事務所 相双建設事務所 (平成6年度から)	所長	佐藤照雄 技術 57 事務等 44	平井良一 技術 65 事務等 43	佐野恒彦 技術 59 事務等 42	佐野恒彦 技術 62 事務等 41	高野佳久 技術 57 事務等 42
	富岡土木事務所 所長	八代 弘 技術 7 事務等 15	八代 弘 技術 7 事務等 13	宗像 盛 技術 7 事務等 13	渡辺和之 技術 7 事務等 11	江口昭一 技術 6 事務等 8
	真野ダム管理事務所 所長		渡辺剛基 技術 6 事務等 2	渡辺和之 技術 3 事務等 1	小野寺軍治 技術 2 事務等 1	寺崎英規 技術 2 事務等 1

平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
斎藤喜士雄 技術 70 事務等 52	石倉三昌 技術 69 事務等 51	石倉三昌 技術 69 事務等 53	久保木勝重 技術 70 事務等 51	久保木勝重 技術 69 事務等 49	鈴木勝男 技術 68 事務等 49	浅野弘一 技術 70 事務等 48	佐藤正人 技術 69 事務等 49
菅野久雄 技術 7 事務等 7	菅野久雄 技術 7 事務等 6	菅野秀治 技術 7 事務等 8	菅野秀治 技術 7 事務等 8	菅野秀治 技術 7 事務等 7	丹治 乾 技術 7 事務等 7	丹治 乾 技術 7 事務等 7	丹治 乾 技術 7 事務等 7
菅野秀治 技術 7 事務等 11	菅野秀治 技術 7 事務等 11	小野寺軍治 技術 7 事務等 9	小野寺軍治 技術 7 事務等 8	菅野久雄 技術 7 事務等 8	斎藤勇治 技術 7 事務等 7	高橋憲一 技術 6 事務等 7	高田豊勝 技術 7 事務等 6
石倉三昌 技術 72 事務等 64	坂本晃一 技術 71 事務等 62	佐野恒彦 技術 73 事務等 63	佐野恒彦 技術 74 事務等 62	渡邊一也 技術 74 事務等 61	雨宮宏文 技術 74 事務等 59	菅野光男 技術 77 事務等 58	蛭田公雄 技術 76 事務等 57
小野寺軍治 技術 8 事務等 7	小野寺軍治 技術 8 事務等 7	皆川久仲 技術 8 事務等 7	皆川久仲 技術 8 事務等 7	佐藤憲栄 技術 8 事務等 7	沼田典雄 技術 8 事務等 7	八巻誠一 技術 8 事務等 7	大内文男 技術 8 事務等 7
酒井孝夫 技術 7 事務等 7	酒井孝夫 技術 7 事務等 7	酒井孝夫 技術 7 事務等 7	酒井孝夫 技術 7 事務等 7	内池武夫 技術 8 事務等 7	内池武夫 技術 9 事務等 7	目黒和弥 技術 8 事務等 7	目黒和弥 技術 7 事務等 7
東条健一郎 技術 7 事務等 10	東条健一郎 技術 7 事務等 9	菅野久雄 技術 7 事務等 7	菅野久雄 技術 7 事務等 7	酒井孝夫 技術 7 事務等 7	八代 一 技術 7 事務等 7	八代 一 技術 7 事務等 7	有我修二 技術 7 事務等 7
諸井英樹 技術 45 事務等 36	守谷安夫 技術 45 事務等 35	守谷安夫 技術 46 事務等 35	渡辺 駿 技術 45 事務等 35	渡辺 駿 技術 45 事務等 35	佐藤眞夫 技術 54 事務等 37	佐藤眞夫 技術 54 事務等 36	鹿野 誠 技術 55 事務等 34
鈴木賢治 技術 7 事務等 10	鈴木賢治 技術 7 事務等 9	中村孝行 技術 7 事務等 7	中村孝行 技術 7 事務等 7	吉田寿保 技術 7 事務等 7	高田豊勝 技術 7 事務等 7	高田豊勝 技術 7 事務等 7	渡辺和栄 技術 7 事務等 7
菅野重雄 技術 60 事務等 42	斎藤勝則 技術 58 事務等 42	斎藤勝則 技術 59 事務等 43	鈴木勝男 技術 58 事務等 42	鈴木勝男 技術 57 事務等 41	里見修平 技術 58 事務等 41	里見修平 技術 60 事務等 41	橋本忠助 技術 60 事務等 39
芳賀修二 技術 6 事務等 13	橋本善夫 技術 6 事務等 12	橋本善夫 技術 6 事務等 12	加藤靖夫 技術 6 事務等 11	加藤靖夫 技術 6 事務等 10	須佐二郎 技術 6 事務等 10	鈴木敏美 技術 6 事務等 8	鈴木敏美 技術 6 事務等 7
佐藤正行 技術 2 事務等 1	寺島 満 技術 2 事務等 1	佐藤貞美 技術 2 事務等 1	佐藤貞美 技術 2 事務等 1	佐藤貞美 技術 2 事務等 1			
坪井正由 技術 41 事務等 38	坪井正由 技術 41 事務等 38	田辺 宏 技術 43 事務等 36	田辺 宏 技術 44 事務等 36	田辺 宏 技術 44 事務等 35	佐藤清一 技術 43 事務等 34	佐藤清一 技術 46 事務等 34	小林広充 技術 46 事務等 34
安陪寛治 技術 7 事務等 7 土湯道路管理担当 4	菊地 隆 技術 7 事務等 7 土湯道路管理担当 4	菊地 隆 技術 7 事務等 7 土湯道路管理担当 4	菅野健二 技術 7 事務等 7 土湯道路管理担当 4	菅野健二 技術 7 事務等 7 土湯道路管理担当 4	石橋和司 技術 8 事務等 7 土湯道路管理担当 4	石橋和司 技術 8 事務等 7 土湯道路管理担当 4	横田道博 技術 8 事務等 7 土湯道路管理担当 4
佐瀬善七 技術 6 事務等 1	坂井幸一 技術 6 事務等 1	坂井幸一 技術 6 事務等 1	坂井幸一 技術 6 事務等 1	中村孝行 技術 6 事務等 1	中村孝行 技術 6 事務等 1	斎藤武正 技術 6 事務等 1	斎藤武正 技術 6 事務等 1
遠藤正信 技術 46 事務等 33	雨宮宏文 技術 44 事務等 33	長岡勝廣 技術 45 事務等 33	長岡勝廣 技術 45 事務等 32	長岡勝廣 技術 45 事務等 32	斎藤延明 技術 40 事務等 32	渡辺 勉 技術 43 事務等 32	渡辺 勉 技術 44 事務等 31
橋本善夫 技術 8 事務等 9	加藤靖夫 技術 8 事務等 9	加藤靖夫 技術 8 事務等 9	大堀幸徳 技術 8 事務等 8	大堀幸徳 技術 8 事務等 8	佐久間賢一 技術 7 事務等 8	大石正廣 技術 8 事務等 7	佐々木秀彦 技術 8 事務等 7
高野佳久 技術 59 事務等 42	三野 仁 技術 58 事務等 41	菅野光男 技術 61 事務等 41	菅野光男 技術 60 事務等 39	蛭田公雄 技術 59 事務等 40	藤田保雄 技術 57 事務等 38	藤田保雄 技術 61 事務等 37	高橋善清 技術 62 事務等 37
江口昭一 技術 7 事務等 8	矢口秀喜 技術 7 事務等 8	矢口秀喜 技術 7 事務等 8	丹治 乾 技術 7 事務等 8	丹治 乾 技術 7 事務等 8	遠藤東一 技術 7 事務等 7	大井俊夫 技術 7 事務等 7	大井俊夫 技術 7 事務等 6
寺崎英規 技術 2 事務等 1	寺崎英規 技術 2 事務等 1	内藤捷四郎 技術 2 事務等 1	佐藤正勝 技術 2 事務等 1	佐藤正勝 技術 2 事務等 1	渡辺 弘 技術 2 事務等 1	渡辺 弘 技術 2 事務等 1	高橋秀一 技術 2 事務等 1

2 出先事務所等の変遷

		平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
いわき建設事務所	所長	高島博義 技術 62 事務等 52	高島博義 技術 61 事務等 55	矢吹 満 技術 61 事務等 52	渡辺一雄 技術 61 事務等 49	田母神忠孝 技術 61 事務等 46
	勿来土木事務所 所長	下山田 実 技術 7 事務等 7	下山田 実 技術 6 事務等 7	下山田実 技術 6 事務等 8	上田長寿 技術 6 事務等 8	上田長寿 技術 6 事務等 8
	鮫川水系ダム総合管理事務所 所長	上田長寿 技術 10 事務等 1	上田長寿 技術 10 事務等 1	上田長寿 技術 10 事務等 1	宮内幸治 技術 10 事務等 1	宮内幸治 技術 10 事務等 1
	小玉ダム管理事務所 所長					
	いわき失業対策事業所 所長	小松孝一 技術 8 事務等 23	小松孝一 技術 6 事務等 19	小松孝一 技術 5 事務等 16	下山田 実 技術 5 事務等 12	下山田 実 技術 4 事務等 10
あぶくま高原道路建設事務所	所長					
相馬港湾建設事務所	所長	斎藤健秀 技術 14 事務等 9	斎藤健秀 技術 13 事務等 9	高野勝昭 技術 13 事務等 9	高野勝昭 技術 13 事務等 9	高野勝昭 技術 13 事務等 9
小名浜港湾建設事務所	所長	近内克夫 技術 22 事務等 43	近内克夫 技術 21 事務等 43	近内克夫 技術 21 事務等 42	久保木勝重 技術 21 事務等 41	久保木勝重 技術 20 事務等 39
福島空港管理事務所 (H4. 10. 1～) 福島空港事務所 (平成11年度から)	所長				大越茂俊 技術 7 事務等 4	大越茂俊 技術 7 事務等 4
福島空港建設事務所	所長	大越茂俊 技術 14 事務等 10	大越茂俊 技術 16 事務等 7	大越茂俊 技術 17 事務等 6	大越茂俊 芳賀政勝 平成4年10月1日付 技術 15 事務等 8	芳賀政勝 技術 11 事務等 6
県北流域下水道建設事務所	所長	菅野重雄 技術 9 事務等 4	菅野重雄 技術 11 事務等 4	諸井英樹 技術 12 事務等 4	諸井英樹 技術 12 事務等 4	三野 仁 技術 13 事務等 4
県中流域下水道建設事務所	所長	愛川勝弘 技術 8 事務等 4	渡邊一也 技術 8 事務等 4	渡邊一也 技術 8 事務等 4	渡邊一也 技術 9 事務等 4	笠井紀芳 技術 8 事務等 4
真野ダム建設事務所	所長	渡辺剛基 技術 8 事務等 3				
小玉ダム建設事務所	所長	平井良一 技術 14 事務等 4	石井次男 技術 15 事務等 4	石井次男 技術 15 事務等 4	遠藤正信 技術 15 事務等 4	佐藤金男 技術 13 事務等 4
堀川ダム建設事務所	所長	佐野恒彦 技術 6 事務等 5	佐野恒彦 技術 6 事務等 5	渡辺剛基 技術 8 事務等 5	渡辺剛基 技術 10 事務等 4	渡辺剛基 技術 12 事務等 4
木戸ダム建設事務所	所長					守谷安夫 技術 7 事務等 4
建設技術研究所	所長	田母神忠孝 技術 9 事務等 3	田母神忠孝 技術 9 事務等 2	田母神忠孝 技術 9 事務等 2	佐久間光衛 技術 9 事務等 2	佐久間光衛 技術 9 事務等 2
あづま総合運動公園建設事務所	所長		高野佳久 技術 9 事務等 3	高野佳久 技術 11 事務等 4	高野佳久 技術 13 事務等 6	小林潤一郎 技術 12 事務等 6
いわき失業対策事業所	所長	木野崎裕士 技術 8 事務等 23				

平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
平井良一 技術 64 事務等 42	佐野恒彦 技術 63 事務等 42	渡邊一也 技術 63 事務等 47	渡邊一也 技術 66 事務等 44	諸井英樹 技術 65 事務等 42	諸井英樹 技術 65 事務等 42	滝田久満 技術 62 事務等 41	滝田久満 技術 60 事務等 39
丹治 乾 技術 6 事務等 7	丹治 乾 技術 6 事務等 7	丹治 乾 技術 6 事務等 6	門馬八郎 技術 6 事務等 7	渡辺和栄 技術 6 事務等 7	渡辺和栄 技術 6 事務等 7	渡辺和栄 技術 6 事務等 7	佐藤貞雄 技術 6 事務等 7
宮内幸治 技術 10	宮内幸治 技術 10	宮内幸治 技術 10	斎藤勇治 技術 10	斎藤勇治 技術 10	吉田寿保 技術 10	佐藤文昭 技術 11	佐藤文昭 技術 11
			宮内幸治 技術 2 事務等 1	宮内幸治 技術 2 事務等 1	宮内幸治 技術 2 事務等 1	長澤教夫 技術 2 事務等 1	竹田雅夫 技術 2 事務等 1

下山田 実 技術 4 事務等 8	小松孝一 技術 3 事務等 8
------------------------	-----------------------

	里見修平 技術 5 事務等 4	里見修平 技術 9 事務等 4	長南昌三 技術 15 事務等 5	長南昌三 技術 17 事務等 17	相川博道 技術 23 事務等 19	相川博道 技術 28 事務等 14	北住 博 技術 24 事務等 13
田辺 宏 技術 13 事務等 9	田辺 宏 技術 13 事務等 9	仙波安弘 技術 13 事務等 9	仙波安弘 技術 13 事務等 9	郡司和夫 技術 13 事務等 9	郡司和夫 技術 13 事務等 9	吉田好秀 技術 12 事務等 9	橋本武彦 技術 12 事務等 9
高野勝昭 技術 20 事務等 37	高野勝昭 技術 20 事務等 36	根本 勝 技術 19 事務等 36	根本 勝 技術 22 事務等 34	仙波安弘 技術 21 事務等 33	仙波安弘 技術 19 事務等 32	末永則雄 技術 20 事務等 32	吉田好秀 技術 18 事務等 31
芳賀政勝 技術 8 事務等 5	芳賀政勝 技術 8 事務等 5	高野勝昭 技術 8 事務等 5	高野勝昭 技術 8 事務等 5	橋本忠助 技術 8 事務等 5	橋本忠助 技術 8 事務等 5	本多一男 技術 14 事務等 8	東条健一郎 技術 14 事務等 8
橋本武彦 技術 12 事務等 11	橋本武彦 技術 12 事務等 11	菅野保孝 技術 13 事務等 11	菅野保孝 技術 16 事務等 9	菅野保孝 技術 16 事務等 9	末永則雄 技術 14 事務等 9		
三野 仁 技術 13 事務等 5	坂本照次 技術 12 事務等 5	坂本照次 技術 10 事務等 5	坂本照次 技術 10 事務等 5	鈴木弘泰 技術 10 事務等 4	鈴木弘泰 技術 10 事務等 4	安陪寛治 技術 10 事務等 4	安陪寛治 技術 10 事務等 4
笠井紀芳 技術 7 事務等 4	渡辺 駿 技術 8 事務等 4	渡辺 駿 技術 11 事務等 4	芳賀修二 技術 11 事務等 4	芳賀修二 技術 11 事務等 4	東条健一郎 技術 12 事務等 4	東条健一郎 技術 13 事務等 4	嶋原吉雄 技術 13 事務等 4

佐藤金男 技術 12 事務等 4	武内俊一郎 技術 10 事務等 5	武内俊一郎 技術 6 事務等 5					
小林潤一郎 技術 13 事務等 4	小林潤一郎 技術 14 事務等 4	橋本忠助 技術 14 事務等 5	橋本忠助 技術 14 事務等 5	斉藤敏明 技術 14 事務等 4	斉藤敏明 技術 14 事務等 4	大石光博 技術 12 事務等 4	
守谷安夫 技術 8 事務等 4	斉藤志郎 技術 10 事務等 4	斉藤志郎 技術 10 事務等 4	三浦 定 技術 11 事務等 4	三浦 定 技術 13 事務等 4	三浦 定 技術 14 事務等 4	藁谷伸一 技術 15 事務等 4	大石光博 技術 15 事務等 4
佐藤照雄 技術 9 事務等 2	佐藤照雄 技術 8 事務等 2	本田恵一 技術 8 事務等 2	高野佳久 技術 8 事務等 2	高野佳久 技術 8 事務等 2			
坂本照次 技術 9 事務等 4							

2 出先事務所等の変遷

		平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
企業局	局長					
	次長	横溝秀雄	横溝秀雄	浜津文雄	矢吹 満	渡辺一雄
	業務課長	内藤不二彌	内藤不二彌	佐藤健一	佐藤健一	斎藤健秀
	相馬事業所 所長	茶谷正栄	三野 仁	三野 仁	三野 仁	佐藤利夫
	いわき事業所 所長	藪部昇吉	愛川勝弘	愛川勝弘	愛川勝弘	渡辺 茂
住宅供給公社	理事長				廣川継男	廣川継男
	専務理事		矢吹 満	廣川継男		
	常務理事					
道路公社	理事長	渡辺秀夫	益子恵治	益子恵治	益子恵治	江花 亮
	専務理事					
	常務理事	松崎哲夫	理事 松崎哲夫	理事 横山英夫	理事 横山英夫	理事 沓澤圭次
	裏磐梯総合事務所 所長	高橋正彦	高橋正彦	高橋正彦	坂井幸一	坂井幸一
	甲子管理事務所 所長	官野 寛	官野 寛	官野 寛	官野 寛	官野 寛
あぶくま高原道路管理事務所 所長						
建設技術センター	理事長	岸 安雄	岸 安雄	岸 安雄	岸 安雄	岸 安雄
	副理事長					
	専務理事	渡辺幸夫	渡辺幸夫	渡辺幸夫	渡辺幸夫	吉田 浩
	常務理事					
	試験研究所 所長					
都市公園・緑化	会津支所 所長					
	相双事務所 所長		朝倉泰孝	朝倉泰孝	朝倉泰孝	荒 郁夫
	副理事長				浜津文雄	浜津文雄
下水道公社	常務理事					
	理事長	横山英雄	横山英雄			
	副理事長					
	専務理事					
	常務理事				理事 小山田房夫	理事 小山田房夫
	理事				理事 小山田房夫	理事 小山田房夫
	県北浄化センター 所長					
県中浄化センター 所長						
あだたら清流センター 所長						
大滝根水環境センター 所長						
区画整理協会	理事長					
	課長					
都市基盤整備公社	東北公園事務所 所長	根本省二	根本省二	根本省二	郡司和夫	郡司和夫

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
福島建設事務所 県北建設事務所 (平成6年度から)	所長 佐藤正人 技術 71 事務等 47	菅野光男 技術 69 事務等 47	菅野光男 技術 68 事務等 46	長南昌三 技術 69 事務等 47	佐藤清一 技術 66 事務等 46
	保原土木事務所 所長 小浜秀夫 技術 8 事務等 7	小浜秀夫 技術 9 事務等 8	鈴木邦明 技術 7 事務等 7	鈴木邦明 技術 7 事務等 7	梅津達男 技術 8 事務等 7
	二本松土木事務所 所長 高田豊勝 技術 7 事務等 6	高田豊勝 技術 7 事務等 8	大原 茂 技術 7 事務等 6	大原 茂 技術 7 事務等 6	佐藤則雄 技術 8 事務等 6
郡山建設事務所 県中建設事務所 (平成6年度から)	所長 長南昌三 技術 76 事務等 55	長南昌三 技術 74 事務等 52	秋元正國 技術 73 事務等 51	高橋善清 技術 73 事務等 0	檜野照行 技術 75 事務等 50
	三春土木事務所 所長 大内文男 技術 8 事務等 7	佐々木秀彦 技術 8 事務等 7	宗像和雄 技術 8 事務等 7	宗像和雄 技術 8 事務等 6	芳賀英次 技術 8 事務等 6
	須賀川土木事務所 所長 和田寿美男 技術 7 事務等 7	和田寿美男 技術 7 事務等 7	大堀 誠 技術 7 事務等 7	大堀 誠 技術 7 事務等 7	会田秀一 技術 7 事務等 7
	石川土木事務所 所長 有我修二 技術 7 事務等 7	高橋昌彦 技術 7 事務等 7	高橋昌彦 技術 7 事務等 6	高木信之 技術 7 事務等 6	高木信之 技術 7 事務等 6
白河建設事務所 県南建設事務所 (平成6年度から)	所長 佐藤憲栄 技術 54 事務等 33	矢口秀喜 技術 49 事務等 32	矢口秀喜 技術 47 事務等 31	高橋健一郎 技術 47 事務等 30	大堀幸徳 技術 46 事務等 30
	棚倉土木事務所 所長 渡辺和栄 技術 7 事務等 8	渡辺和栄 技術 7 事務等 7	内山利雄 技術 7 事務等 7	内山利雄 技術 7 事務等 6	佐藤辰夫 技術 7 事務等 6
会津若松建設事務所	所長 橋本忠助 技術 60 事務等 37	芳賀修二 技術 59 事務等 40	藁谷伸一 技術 57 事務等 37	鹿野 誠 技術 57 事務等 37	神田隆雄 技術 55 事務等 35
	宮下土木事務所 所長 佐藤光圀 技術 6 事務等 7	佐藤光圀 技術 6 事務等 8	氏家泰仁 技術 6 事務等 6	氏家泰仁 技術 6 事務等 6	長澤信一 技術 6 事務等 6
	東山ダム管理事務所 所長 折笠栄信 技術 2	折笠栄信 技術 2	折笠栄信 技術 2	滝沢義秋 技術 2	小檜山 健 技術 2
喜多方建設事務所	所長 小林広充 技術 46 事務等 33	本多一男 技術 42 事務等 31	本多一男 技術 42 事務等 29	本多一男 技術 41 事務等 28	大輪芳伸 技術 41 事務等 28
	猪苗代土木事務所 所長 横田道博 技術 8 事務等 7 土湯道路管理担当 4	白井英明 技術 8 事務等 7 土湯道路管理担当 4	白井英明 技術 8 事務等 7	丹野利明 技術 9 事務等 7	丹野利明 技術 9 事務等 7
	日中大峠総合管理事務所 所長 白井康博 技術 6 事務等 1	白井康博 技術 6 事務等 1	赤間春三 技術 6 事務等 1	赤間春三 技術 6 事務等 1	赤間春三 技術 6 事務等 1
田島建設事務所 南会津建設事務所 (平成6年度から)	所長 檜野照行 技術 43 事務等 31	檜野照行 技術 42 事務等 31	神田隆雄 技術 41 事務等 28	神田隆雄 技術 40 事務等 27	小幡雄治 技術 40 事務等 28
	山口土木事務所 所長 佐々木秀彦 技術 8 事務等 7	続橋 淳 技術 8 事務等 7	続橋 淳 技術 8 事務等 8	樋山秀二 技術 8 事務等 8	樋山秀二 技術 8 事務等 6
原町建設事務所 相双建設事務所 (平成6年度から)	所長 高橋善清 技術 63 事務等 37	高木明義 技術 58 事務等 37	高木明義 技術 58 事務等 34	北住 博 技術 57 事務等 34	北住 博 技術 55 事務等 34
	富岡土木事務所 所長 内山利雄 技術 7 事務等 6	内山利雄 技術 7 事務等 6	小松 款 技術 7 事務等 6	小松 款 技術 7 事務等 6	橋本善男 技術 7 事務等 6
	真野ダム管理事務所 所長 高橋秀一 技術 2 事務等 1	高橋秀一 技術 2 事務等 1	藤田健司 技術 2 事務等 1	藤田健司 技術 2 事務等 1	藤田健司 技術 2 事務等 1

平成19年度	平成20年度
高橋善清 技 術 66 事務等 44	高木明義 技 術 65 事務等 42
梅津達男 技 術 8 事務等 7	堀田洋一 技 術 8 事務等 7
佐藤則雄 技 術 8 事務等 6	佐藤幸一 技 術 8 事務等 6
根本博行 技 術 77 事務等 50	阿部悦雄 技 術 75 事務等 51
芳賀英次 技 術 9 事務等 6	島 俊秀 技 術 9 事務等 6
会田秀一 技 術 7 事務等 7	杉 明彦 技 術 7 事務等 7
水野良彦 技 術 7 事務等 6	水野良彦 技 術 7 事務等 6
大堀幸徳 技 術 46 事務等 28	高橋康寛 技 術 45 事務等 28
佐藤辰夫 技 術 7 事務等 6	菅野嘉元 技 術 7 事務等 6
神田隆雄 技 術 55 事務等 34	原 利弘 技 術 53 事務等 34
長澤信一 技 術 6 事務等 6	佐藤岩男 技 術 6 事務等 6
大輪芳伸 技 術 40 事務等 28	沼田典雄 技 術 41 事務等 28
佐藤 滋 技 術 9 事務等 7	佐藤 滋 技 術 9 事務等 7
小檜山 健 技 術 6	佐藤久恵 技 術 6
大内文男 技 術 40 事務等 27	佐久間賢一 技 術 40 事務等 24
立谷直三 技 術 9 事務等 5	立谷直三 技 術 9 事務等 5
遠藤東一 技 術 56 事務等 33	堀内 進 技 術 54 事務等 32
橋本善男 技 術 7 事務等 6	齋藤恭一 技 術 9 事務等 6
菅野寛一朗 技 術 2 事務等 1	菅野寛一朗 技 術 2 事務等 1

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
いわき建設事務所 所長	齋藤敏明 技術 61 事務等 39	佐藤清一 技術 60 事務等 41	藤田保雄 技術 59 事務等 39	高木明義 技術 58 事務等 37	佐藤憲栄 技術 57 事務等 35
勿来土木事務所 所長	佐藤貞雄 技術 7 事務等 7	安孫子辰雄 技術 6 事務等 7	安孫子辰雄 技術 6 事務等 7	佐竹 勝 技術 6 事務等 7	佐竹 勝 技術 6 事務等 6
鮫川水系ダム総合管理事務所 所長	佐藤文昭 技術 11	佐藤文昭 技術 11	齋藤敏美 技術 10	齋藤敏美 技術 10	鈴木邦明 技術 10
小玉ダム管理事務所 所長	竹田雅夫 技術 2 事務等 1	竹田雅夫 技術 2 事務等 1	青木和弘 技術 2 事務等 1	青木和弘 技術 2 事務等 1	齋藤喜市 技術 2 事務等 1

あぶくま高原道路建設事務所 所長	北住 博 技術 23 事務等 10	佐藤國裕 技術 23 事務等 10	佐藤國裕 技術 23 事務等 10	佐久間賢一 技術 23 事務等 11	鈴木 隆 技術 24 事務等 11
相馬港湾建設事務所 所長	高橋康寛 技術 12 事務等 9	高橋康寛 技術 12 事務等 9	小柳秀一 技術 12 事務等 9	小柳秀一 技術 11 事務等 9	有我修二 技術 11 事務等 9
小名浜港湾建設事務所 所長	大堀幸徳 技術 17 事務等 29	阿部悦雄 技術 16 事務等 28	阿部悦雄 技術 16 事務等 27	沼田典雄 技術 16 事務等 27	沼田典雄 技術 16 事務等 27
福島空港管理事務所 福島空港事務所 (平成11年度から)	東条健一郎 技術 13 事務等 8	高橋康文 技術 13 事務等 8	高橋康文 技術 13 事務等 7	齋藤和弘 技術 13 事務等 7	齋藤和弘 技術 13 事務等 7

県北流域下水道建設事務所 所長	根本博行 技術 10 事務等 4	根本博行 技術 10 事務等 5	宗形輝由 技術 10 事務等 5	宗形輝由 技術 10 事務等 5	宗形輝由 技術 10 事務等 5
県中流域下水道建設事務所 所長	嶋原吉雄 技術 12 事務等 4	佐藤徳正 技術 12 事務等 4	佐藤徳正 技術 12 事務等 4	矢部耕平 技術 12 事務等 4	矢部耕平 技術 12 事務等 4

木戸ダム建設事務所 所長	大石光博 技術 15 事務等 4	堀内 進 技術 15 事務等 3	堀内 進 技術 15 事務等 3	大石正廣 技術 15 事務等 3	大石正廣 技術 15 事務等 3
--------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------

平成19年度	平成20年度
阿部悦雄 技 術 57 事務等 33	佐藤國裕 技 術 53 事務等 31
佐竹 勝 技 術 6 事務等 6	遠藤勇三 技 術 6 事務等 6
鈴木邦明 技 術 10	大谷和意 技 術 11
齋藤喜市 技 術 2 事務等 1	鈴木邦明 技 術 2 事務等 1

鈴木 隆 技 術 26 事務等 9	馬上健二 技 術 26 事務等 9
有我修二 技 術 11 事務等 9	和田寿美男 技 術 10 事務等 8
相沢忠典 技 術 16 事務等 28	相沢忠典 技 術 16 事務等 28
宮澤文夫 技 術 13 事務等 7	宮澤文夫 技 術 13 事務等 8

佐藤貞雄 技 術 10 事務等 5	続橋 淳 技 術 10 事務等 5
横田道博 技 術 12 事務等 4	横田道博 技 術 12 事務等 4

大石正廣 技 術 11 事務等 3

		平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
企業局	局長				滝田久満	滝田久満
	総括参事 <small>(平成15年度まで次長)</small>	齋藤志郎	齋藤志郎	滝田久満		
	業務課長 <small>(H20～工業用水道課長)</small>	吉田好秀	吉田好秀	末永則雄	末永則雄	末永則雄
	相馬事業所 所長	橋本善夫	橋本善夫	青戸良夫	青戸良夫	青戸良夫
	いわき事業所 所長	渡部 修	菅野健二	菅野健二	門馬八郎	門馬八郎
住宅供給公社	理事長					
	専務理事	本間 隆				
	常務理事					
	理事					
道路公社	理事長	雨宮宏文	雨宮宏文	里見修平	蛭田公雄	蛭田公雄
	専務理事					渡辺 勉
	常務理事	菅野保孝	菅野保孝	郡司和夫	江口昭一	
	裏磐梯総合事務所 所長	及川 満	及川 満	阿部一雄	阿部一雄	阿部一雄
	甲子管理事務所 所長	穴澤健男	吉田俊夫	吉田俊夫	吉田俊夫	若松信行
	あぶくま高原道路管理事務所 所長	長谷川武男	吉田俊夫	吉田俊夫	吉田俊夫	若松信行
建設技術センター	理事長	坂本晃一	坂本晃一	坂本晃一	里見修平	里見修平
	副理事長					
	専務理事	滝田久満	滝田久満	相川博道	芳賀修二	芳賀修二
	常務理事	郡司和夫	郡司和夫	江口昭一	大石光博	大石光博
	試験研究所 所長	兼帰山敏寛	兼帰山敏寛	植高洋一	植高洋一	津田孝夫
	会津支所 所長	吉田繁男	吉田繁男	加藤秀明	加藤秀明	小池久和
	相双事務所 所長	舟生 寛	舟生 寛	佐藤 隆	佐藤 隆	佐藤 隆
都市公園・緑化協会	副理事長					佐藤正人
	常務理事	根本 勝	橋本忠助	橋本忠助	矢口秀喜	
下水道公社	理事長	平井良一	平井良一	平井良一	蛭田公雄	蛭田公雄
	副理事長				菅野光男	菅野光男
	専務理事					
	常務理事	相川博道	相川博道	芳賀修二	藁谷伸一	吉田好秀
	県北浄化センター 所長	鈴木憲治	谷 正晃	谷 正晃	谷 正晃	谷 正晃
	県中浄化センター 所長	小池 毅	小池 毅	小池 毅	佐々木秀彦	大井俊夫
	あだたら清流センター 所長	紺野一善	本田信栄	伊藤俊一	伊藤俊一	伊藤俊一
	大滝根水環境センター 所長			小池 毅	佐々木秀彦	大井俊夫
区画整理協会	理事長	浅野弘一	浅野弘一	浅野弘一	浅野弘一	浅野弘一
	課長	伊豆重一	伊豆重一	平野 功	平野 功	平野 功
都市基盤整備公団	東北公園事務所 所長	石橋和司	石橋和司	石田正信	石田正信	
ふくしま建築住宅セ	理事長	宗像武久				
出納局	工事検査グループ参事					

平成19年度	平成20年度
理事 藤田保雄	理事 高橋善清
矢部耕平	川井利光
宍戸 勇	宍戸 勇
蛭田公雄	蛭田公雄

秋元正國	秋元正國
渡辺 勉	藤田保雄
	小林広充
堀川安清	堀川安清
若松信行	斎藤武正
若松信行	斎藤武正

津田孝夫
小池久和

佐藤正人	佐藤正人
------	------

秋元正國	秋元正國
滝田久満	滝田久満

吉田好秀	
	大輪芳伸
八巻誠一	植高洋一
大井俊夫	佐藤次好
伊藤俊一	
大井俊夫	佐藤次好
浅野弘一	浅野弘一

菅野健二	菅野健二
------	------

出 典 一 覧

本 編 第一章			
会津鶴ヶ城	ふくしま100年 福島民報社	昭和62年	都市総室
国道121号	ふくしま100年 福島民報社	昭和62年	都市総室
初期の福島県庁	福島県ホームページ		
七日町	写真集 会津若松 P18		福建
隈 畔	ふくしま100年 福島民報社	昭和62年	都市総室
十六橋水門	郡山・田村の歴史 P188		郡山市立図書館
松齢橋	図説 福島市史 P256		福建
三春の町並み	目で見える郡山・田村の100年 P18		福建
伊達橋	福建資料 アルバムNo 1		
湯 川	ふくしま100年 福島民報社	昭和62年	都市総室
小名浜港	みなとのあゆみ 30周年記念誌		港湾課
飯野三春石川線	ふくしま100年 福島民報社	昭和62年	都市総室
国道289号	ふくしま100年 福島民報社	昭和62年	都市総室
二本松安達線	ふくしま100年 福島民報社	昭和62年	都市総室
摺上川			県北建設事務所
阿武隈川	写真集 須賀川の歴史 P188		郡山市立図書館
高田橋			兼子 正氏
高田橋			兼子 正氏
石川鴉子線	ビジュアル 石川町の歴史 P181		郡山市立図書館
中ノ作港	みなとのあゆみ 30周年記念誌		港湾課
新飯野橋	福建資料 アルバムNo 3		
江花川	福建資料 アルバムNo 6		
街路郡山庚担原線			国分貞典氏
現場監督	福建資料 アルバムNo 1		
小名浜港	みなとのあゆみ 30周年記念誌		港湾課
国道121号	目で見える田島町 百年の歩み P120		郡山市立図書館
真船堰堤			谷口暢宏氏
高柴ダム	温交会五十周年記念誌		鹿野 誠
相馬港	みなとのあゆみ 30周年記念誌		港湾課
請戸橋	福建資料 アルバムNo 2		
大川入橋	工事写真 大川入橋橋梁掛替		福建
田島只見線	山口土木史資料		山口土木事務所
杉妻町御山線	福建資料アルバムNo32		
駒止トンネル			道路整備課
東山ダム	福建資料アルバムNo42		
濁 川	福建資料アルバムNo 7		
阿武隈川上流流域下水道	福建資料アルバムNo28		
61災水害	写真集 福島県の災害		河川整備課
福島空港(2000m)			空港施設室
横向大橋			
いわき石川線			
福島空港(2500m)			空港施設室
磐梯吾妻スカイライン			道路公社
県中浄化センター			県中流域建設
滝谷川橋			会津若松建設事務所
木戸ダム			河川整備課
六角川			県北建設事務所
あぶくま高原道路			高速道路室

第一章

県庁	民報新聞社 図説福島県史 福島県図書教材(株) S47	福島市立図書館
富岡土木監督所	目で見る相双・双葉の100年 温交会五十周年記念誌	福島市立図書館 鹿野 誠
若松土木監督所	会津若松建設事務所100周年	会津若松建設事務所
須賀川土木監督所		
福島土木監督所	民報新聞社	上村圭一氏令嬢 国分貞典氏
原町土木監督所	相双建設 事務所開設75周年記念誌	鹿野 誠
田島土木監督所	目で見る田島町 百年の歩み	郡山市立図書館
喜多方土木監督所	温交会五十周年記念誌	鹿野 誠
白河土木監督所		宋戸 勇氏
平土木監督所	福建資料 アルバムNo 3 福建資料 アルバムNo 1	上村圭一氏令嬢
郡山土木監督所	写真集 明治・大正・昭和の郡山	鹿野 誠 国分貞典氏 上村圭一氏令嬢 県中建設事務所 佐藤輝雄氏
猪苗代土木監督所		
三春土木監督所		国分貞典氏
宮下土木監督所		角田伊一氏
棚倉土木監督所	福建資料 アルバムNo 1	
石川土木監督所		矢吹一弥氏
保原土木監督所		
植田土木監督所		
二本松土木監督所	あだち 蚕業技術指導所のあゆみ	安達地域農業改良普及センター 菅野輝雄氏
山口土木監督所	山口土木史資料	山口土木事務所 山口土木事務所

第四章

1	大正8年	高瀬橋	相双建設事務所
2	大正13年	昼曽根橋	相双建設事務所
3	昭和4年	上の橋	道路整備課
4	昭和5年	昭代橋	道路整備課
5	昭和9年	久ノ浜海岸護岸決壊	上村圭一氏令嬢(八戸市)
6		木戸川橋コンクリート打設	上村圭一氏令嬢(八戸市)
7	昭和10年	小浜漁港	港湾課
8		平停車場線コンクリート舗装	上村圭一氏令嬢(八戸市)
9		小川橋床版架設	上村圭一氏令嬢(八戸市)
10	昭和11年	四倉港	港湾課
11	昭和11年	水無川砂防工事	福建資料アルバムNo14
12	昭和12年	会青橋 床版打設	福建資料アルバムNo6
13	昭和15年	国道352号	山口土木史資料
14	昭和18年	上極入橋	福建資料アルバムNo4
15	昭和25年	太田川	国分貞典氏
16	昭和25年	安達ヶ橋 渡橋式	福建資料アルバムNo6
17	昭和26年	江名漁港	上村圭一氏令嬢(八戸市)
18	昭和27年	真船堰堤 ミキサー練り混ぜ	谷口暢宏氏
19	昭和28年	赤川ダム 袖コンクリート打設	福建資料アルバムNo56
20	昭和29年	小名浜港 外防ケーソン進水	福建資料アルバムNo10
21	昭和33年	蟹川橋 桁架設	福建資料アルバムNo26
22		県庁の運動会 リレー	上村圭一氏令嬢(八戸市)
23		県庁の運動会 仮装	上村圭一氏令嬢(八戸市)
24	昭和34年	全建主催野球大会県南予選	上村圭一氏令嬢(八戸市)
25	昭和35年	三森峠道路改良工事	上村圭一氏令嬢(八戸市)
26	昭和36年	小沼崎スノーセット 上部工は木造	福建資料アルバムNo21
27	昭和36年	大窪橋PC桁工場検査	上村圭一氏令嬢(八戸市)
28		三森隧道導抗貫通式	上村圭一氏令嬢(八戸市)
29	昭和38年	柏崎会津若松線	山口土木史資料
30	昭和44年	三島橋渡橋式	上村圭一氏令嬢(八戸市)
31	昭和46年	県庁通り 路面電車廃止直後	福建資料アルバムNo32
32	昭和52年	県中流域下水道幹線 セグメント	福建資料アルバムNo28
33	昭和53年	蟹川橋 梅雨前線豪雨で流失	福建資料アルバムNo59
34		蟹川橋復旧工事 2径間を1ヶ月で竣工	福建資料アルバムNo53
35	昭和57年	国道289号 縞石橋下部工	三金興業 ルバムNo24
36	昭和61年	逢瀬川災害 堤防決壊	河川整備課
37	平成元年	国道289号 山口トンネル	山口土木史資料
38	平成14年	木戸ダム コンクリートプラントJIOCE	河川整備課
39	平成17年	会青橋 床版型枠	会津若松建設事務所
40	平成19年	湯本川 調節池	いわき建設事務所

編集後記

和田寿美男

平成18年8月7日に高橋善清福建会長から福島県土木史発行準備委員会の副委員長を命ぜられた。翌8日に鹿野委員長の号令のもと弁当を食べながら、第1回打ち合わせを行って早3年である。この「福島県の土木行政の歩み」は鹿野委員長が原案・構成及び最終稿の取りまとめ、鈴木秀人君が会の世話役をこなし、各委員が担当分をまとめ鹿野委員長を筆頭に奮闘・努力の賜であると思っております。

各委員の皆様本当にご苦労さまでした。

鈴木秀人

まずは、鹿野委員長本当にご苦労様でした。

一時は「どうなるのかな」という状況でしたが、何とかまとまり、私なりに編集のお手伝いのできたことで、ほんとうに「良かったなー」という思いです。

これまでの鹿野委員長の熱い思いと6人の委員の思いが伝わり、とにかく多くの皆さんに見ていただければ、我々の苦労？が報われます。

猪股慶藏

平成17年、鹿野所長のもと「会津若松建設事務所100周年記念誌」に携ったことが縁で、この度の「歩み」の編集に参加させて頂きました。

今回、年譜を作成した期間は、昭和60年に入庁の私にとって職員生活そのものです。当時勤務していた喜多方建設事務所で施工した、国道115号横向大橋の構造美(水平面内でのアーチ構造)に、非常に感動したことを今でも鮮明に覚えています。

それから20年、美しい橋は今でも古臭くなっていな いことに、また感動しています。

芦野英明

平成18年8月に土木史発行準備委員に任命され、7名で「歩み」への取り組みが始まった。昼食を食べながらの打合せ、旧技術センターからの書類の引越、勤務時間後の台帳室での編集作業やその後の夜食を兼ねた酒飲み等々、時間を見つけての作業でしたが、皆で協力しながら楽しく過ごした3年間でした。やっと「目で見る土木史」の原稿が完成しましたが、残念ながら印刷製本までは至りませんでした。古い写真や年譜など貴重な資料になったと自負しておりますので、いつか冊子になることを願っています。

五十嵐和芳

「やっと出来た？」といった感じでしょうか!!

平成18年度に突然「委嘱状」をいただいてから早3年が過ぎてしまいました。

日の目を見ないでお蔵入りかな？と思っていたので、感慨も一入です。

資料の提供につきまして、都市総室及び道路公社の皆様に色々お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。

多くの会員の皆様に見ていただければ幸いです。

村井弘道

昭和58年、さきの「福島県土木史」編纂に当たり、先輩の故八津尾宗秀氏と建築部門の写真撮影を行うために建替前の郡山消防署の望楼に登ったことが昨日のこのように思い出されます。あれから四半世紀、無我夢中でしたが、着実に歴史は刻まれて来きました。建築物に関しては、今回掲載した全建賞をはじめ、建築学会賞や公共建築賞など多くの受賞がその質の向上と行政の弛まぬ努力を証明しているものと思います。土木行政のさらなる進展のためには先人の歩みをしっかりと見据えることが大切だと思います。多忙を言い訳に委員長をはじめ他の委員の皆様に変御迷惑をお掛けしましたことを心からお詫び申し上げます。

「歩み」発行までの足跡

土木史発行準備委員会発足 2006. 8. 7

委員長 鹿野 誠 (部参事)
副委員長 和田 寿美男 (土木企画G主幹)
委員 鈴木 秀人 (技術管理G主任主査)
猪股 慶藏 (道路整備G主任主査)
芦野 英明 (ダムG主任主査)
五十嵐 和芳 (まちづくり推進G主任主査)
村井 弘道 (建築指導G専門建築技師)

・資料収集依頼

道路公社 大原工務課長
建設技術センター 高橋事業部長
住宅供給公社
下水道公社

・資料提供呼びかけ依頼

温交会 齋藤勝則氏
福島タイムズ社 齋藤貴浩氏
福島民報社 渡辺 浩氏
建設技術協会 菅野保孝氏

・原案作成

第一章 鹿野 誠
第二章
1 五十嵐和芳・鹿野 誠
2 鈴木秀人
3 猪俣慶藏
4 芦野英明
5 五十嵐和芳
6 村井弘道
7 芦野英明
第三章
1 根本長一
2 五十嵐和芳
大原 茂
青戸良夫
第四章
1 鈴木秀人
第五章
1 鹿野 誠
2 鈴木秀人

・編集会議開催

平成18年 8月 8日	「70年検討しよーぜ」	西10F P/チーム室
平成19年 3月 5日	「いかに対処していくべきか」	道路台帳室
平成19年 4月 18日	「協力依頼について」	入 札 室
平成20年 2月 18日	「ゲンコー出来た？」	道路台帳室
平成20年 2月 25日	「写真どれがいー」	道路台帳室
平成21年 5月 14日	「これでどうかな？」	小名浜港湾
平成21年 8月 22日	「いいかな！これで」	みちのく荘